

# GRAPHICATION

グラフィケーション【総目次】

1969—2018

## 一月号 通卷二八号◎特集Ⅱ現代

### \*表紙

月の世界へ——現代とはなにか  
現代ビジネスマンに役立つ情報とは何か  
マキャベリズムの現代的意義  
ビジネスマンかサラリーマンか——われ敢て毒舌を吐く  
落し穴  
現代のビジネス空間

### ●現代語感

東京疎開／ハレンチ／蒸発／昭和元祿

●レジャークラブ拝見

●ゼロックス・サロン

●国際化時代と経営者の役割り……

●エッセイ

●コピー人間 コピー都市

●ミステリー・コーナー  
ディック・フランシス『度胸』

●ビジネス論調

●週休2日制とビジネスマン

●ポケット・エンサイクロペディア

●フラン防衛／メガロポリス／MIS革命

●現代の顔

●ジョン・ケージの横顔

●広告は語る

●あらゆるメディアを通じて……

●私のコレクション

●郷土玩具と西洋人形

●ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

## 二月号 通卷二九号◎特集Ⅱ記録

### \*表紙

記録について

●四つの決定的瞬間——繁栄の基礎

●平家物語と現代

●欲望の記録

●記録 この人間的な行為

湯村輝彦

関根 弘

大野明男

藤原弘達

土岐雄三

粒良千里

浜口隆一

東京飛行クラブ

井深 大×小林節太郎×野田一夫

真鍋 博

脇坂一郎

大和勇三

刀根康尚

編集部

松森 務

相原 亨

中原収一

加太こうじ

田口憲一

木下順二

石川弘義  
東松照明

コンピュータと人間

●現代語感

●スチューデント・パワー／サウナ／ロータリゼーション

●レジャークラブ拝見

●サイクリストの心意気

●ゼロックス・サロン

●資本グループと環境条件の変化

●SFショートショート

●気力発生機

●ミステリー・コーナー

●ジェームス・ハドリー・チェイス『プレイボーイ・スパイ』

●ビジネス論調

●職業人としての女性

●ポケット・エンサイクロペディア

●SST／コンテナ船／知識産業

●現代の顔

●おんなの顔——チャスラフスカ

●広告は語る

●“去年の優勝をこたしもゼロックス”

●私のコレクション

●世界のミニボトル

\*表四 フォトアングル・ビジネス

## 三月号 通卷三〇号◎特集Ⅱ流行

### \*表紙

●nine to five

●流行と欲求

●現代日本文化の行方

●特権の消滅——サラリーマン風俗小史

●サラリーマン漫画

●流行・文明・インテリア

●現代語感

●カラー時代／アングラ／猛烈社員／拒絶反応

●レジャークラブ拝見

●自然への回帰めざす乗馬入門

●ゼロックス・サロン

●大同合併へ3つのステップ

丹羽小弥太

港サイクリングクラブ

鈴木二郎×野田一夫

星 新一

脇坂一郎

三枝佐枝子

虫明重呂無

編集部

越山義勝

河西喜也

味戸ケイコ

石津謙介

石川弘義

栗田 勇

加藤秀俊

飯沢 匡

浜口隆一

東京乗馬倶楽部

林 一夫×野田一夫

● SFショートショート  
歓待

● ミステリー・コーナー  
エド・マクベイン『警官』

● ビジネス論調  
高卒パワー時代来るか

● ポケット・エンサイクロペディア  
MHD発電/IC/サイバネティックス

● 現代の顔  
カプセル思想の創始者 黒川紀章

● 広告は語る  
明るい未来を求めて現実を正しく描く——『二十世紀アワー』

● 私のコレクション  
世界のスプーン

● ゼロックス・ニュース  
\*表四 フォトアングル・ビジネス

**四月号 通巻三二二号◎特集Ⅱ人間関係**

\*表紙  
芝居即人生

組織の中の人間関係  
「抱擁家族」について

新入社員と人間関係  
義理人情のモラル

幹部「三つ」の関係  
\*現代語感

● 核家族/ZD運動/キヤラメル・ママ  
● レジャークラブ拝見

● 原始への郷愁 アーチエリー  
● ゼロックス・サロン

● 商品企業としての経営  
● SFショートショート

● 代理関係  
● ミステリー・コーナー  
パトリシア・モイーズ『殺人ア・ラ・モード』

● ビジネス論調  
● 大学問題と企業  
ポケット・エンサイクロペディア

● ティーチング・マシニング/心誌(サイコグラフ)/シミュレーション  
● 現代の顔  
偶像の彼方へ——ビートルズ

● 広告は語る

筒井康隆

脇坂一郎

樹下太郎

岡田隆彦

編集部

平岩道夫

河西喜也

阿部隆夫

飯沢 匡

加藤秀俊

小島信夫

大和勇三

佐藤忠男

日本アーチエリー協会

素野福次郎×野田一夫

小松左京

脇坂一郎

青地 晨

横尾忠則

「コイ」から既に満七年……

● 私のコレクション  
張子のお面

● ゼロックス・ニュース  
\*表四 フォトアングル・ビジネス

**五月号 通巻三二二号◎特集Ⅱ伝統**

\*表紙  
伝えるということ

逆説的革新  
伝統を初々しくとらえたい

WARM RELATIONS  
藍のゆかた

問屋とスーパ

● 現代語感  
断絶時代の経営者/3V時代/学校無宿

● レジャークラブ拝見  
太古の姿そのままに——蹴鞠

● ゼロックス・サロン  
経営者の考える意志決定とタイミシング

● SFショートショート  
弁慶

● ミステリー・コーナー  
トーマ・ナルスジャック『贋作展覧会』

● ビジネス論調  
国際通貨不安と日本経済

● ポケット・エンサイクロペディア  
スワップ/コボル/未来事業部

● 現代の顔  
無言劇の画家・高松次郎

● 広告は語る  
最近のゼロックスの広告

● 私のコレクション  
記念タバコ

● ゼロックス・ニュース  
\*表四 フォトアングル・ビジネス

**六月号 通巻三四号◎特集Ⅱユートピア**

\*表紙  
ユートピアンのオッサン  
ユートピア精神の復権  
安藤昌益のユートピア

小林太三郎

落合 洋

相原 亨

横尾忠則

安藤鶴夫

片方善治

岡部伊都子

安達瞳子

宇野政雄

蹴鞠保存会

松本 望×野田一夫

関根 弘

脇坂一郎

紅林茂夫

石子順造

八巻俊雄

越山了一

田辺英一

長 新太

長 新太  
山田宗睦  
杉浦明平

サラリーマンとユートピア  
何のための学問・労働か

高度管理社会の陥穽——コンピュータピア批判

現代語感

合格浪人／モビレージ

よこ文字考現学①

Better hall

レジャークラブ拝見

突然生れた大家族のように オートキャンプ

ゼロックス・サロン

情報時代の新しいアプローチ

SFショートショート

ぼくのユートピア 塚の中の不幸

ミステリー・コーナー

ディック・フランシス『飛越』

ビジネス論調

猛烈社員を斬る！

ポケット・エンサイクロペディア

SDR／コングロマリット／コンピュータピア

現代の顔

はだかの人間の実在感——バーブラ・ストライサンド

広告は語る

「ゼロックスのような広告をつくりたいな」

私のコレクション

西洋骨董

ゼロックス・ニュース

＊表四 フォトアングル・ビジネス

田辺英一

古川タク

兼高かおる

多湖 輝

花田清輝

岡田隆彦

加太こうじ

現代の造形表現にみる遊び

遊びと人生

レジャークラブ拝見

海底の神秘に魅せられて

ゼロックス・サロン

30代、40代は21世紀の基礎づくりをしよう

SFショートショート

われらに仕事を与えよ

ミステリー・コーナー

小松左京  
佐藤忠男  
小針現宏

リー・ビー・ヒューズ

日本オートキャンプ協会

北川一栄×野田一夫

寺山修司

脇坂一郎

小林 薫

荻 昌弘

近藤 朔

古賀龍二

小栗虫太郎『二十世紀鉄仮面』

ビジネス論調

問題提起人間の必要性

ポケット・エンサイクロペディア

ファインチューニング／円シフト／炭素繊維

現代の顔

クールなバレリーナ・新井咲子

広告は語る

広告の原則に立ち戻って……

現代語感

マニア亭主／全ブス連

よこ文字考現学②

day

私のコレクション

エジプトの壺

ゼロックス・ニュース

＊表四 フォトアングル・ビジネス

東海村

ゼロックス・サロン

流通産業の一大勢力を目ざす

SFショートショート

闇に生きる

ミステリー・コーナー

ジエームズ・ハドリー・チェイス『ミス・クオンの蓮華』

ビジネス論調

コングロ企業に学ぶもの——反省の鏡として

ポケット・エンサイクロペディア

アローワンス／協業化／契約社員

現代の顔

極限の詩を求めて・天沢退二郎

広告は語る

機械をとりまく人間のドラマ

イメージ・オデッセイ①

脇坂一郎  
城 功

藤井修治

編集部

リー・ビー・ヒューズ

市田聖子

相原 亨

高橋 稔

加藤秀俊

三枝佐枝子

なだいなだ

松永伍一

大野明男

相原 亨

中内 功×野田一夫

都筑道夫

脇坂一郎

田口憲一

入沢康夫

小林三千夫

### 七月号 通巻三五号◎特集Ⅱ遊び

＊表紙

ニュー・ヘブリデスの踊り

遊びと創造性

繩戯考

現代の造形表現にみる遊び

遊びと人生

レジャークラブ拝見

海底の神秘に魅せられて

ゼロックス・サロン

30代、40代は21世紀の基礎づくりをしよう

SFショートショート

われらに仕事を与えよ

ミステリー・コーナー

### 八月号 通巻三六号◎特集Ⅱ生きがい

＊表紙

生きがいについて

職場女性と生きがい

今日もリンゴの苗を

自我信仰の経文

生き甲斐の真贋

＊映像69

東海村

ゼロックス・サロン

流通産業の一大勢力を目ざす

SFショートショート

闇に生きる

ミステリー・コーナー

ジエームズ・ハドリー・チェイス『ミス・クオンの蓮華』

ビジネス論調

コングロ企業に学ぶもの——反省の鏡として

ポケット・エンサイクロペディア

アローワンス／協業化／契約社員

現代の顔

極限の詩を求めて・天沢退二郎

広告は語る

機械をとりまく人間のドラマ

イメージ・オデッセイ①

絵画の芸術性に挑戦する写真

●よこ文字考現学③

Struggle

●私のコレクション

刀剣

●ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

### 九月号 通巻二七号◎特集Ⅱマンガの思想

\*表紙

ベティ・ブウプの国

マンガ礼讃

マンガ・ブームを超えるもの——反マンガの待望

「弱者のほうが強いんだぞ」の思想

戦後マンガ史年表

情報化時代とマンガ

●映像69

サーカス

●ゼロックス・サロン

ソフトウエア 『経済学』

●ビジネス論調

コンピュータ・アレギー患者用テキスト

●広告は語る

もしも、月着陸が失敗したら…

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー①

漫画家

●現代の顔

拡大するマンガ・つげ義春

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ②

写真は思想を圧縮した言葉である

●よこ文字考現学④

A Mama Boy

●まんがギャラリー①

●ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

### 十月号 通巻二八号◎特集Ⅱテレビと人間

\*表紙

ドキュメンタリーⅡ国際的言語

現代文明とテレビ——テレビには何が可能か

アポロ飛行とテレビと最古の佛典

脇坂一郎

リー・ビー・ヒューズ

秋吉 茂

河西喜也

梅田英俊

岡本信治郎

大島 渚

石子順造

草森紳一

編集部

小針暁宏

河西喜也

鈴木俊雄×野田一夫

片方善治

今井虔一

長 新太

赤瀬川原平

読者投稿

脇坂一郎

リー・ビー・ヒューズ

クロイワ・カズ

相原 亨

和田 誠

牛山純一

鎮目恭夫

高橋義孝

創造的テレビタレント論

テレビと人間——「受け手」の問題を中心に

●映像69

テレビ公害

●ゼロックス・サロン

人に影響を与えるもの

●ビジネス論調

その時、彼女たちは——職場の花について

●広告は語る

秒間に発見する新しい価値

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー②

テレビ視聴者代表

●現代の顔

体操選手のように・コント55号

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ③

●科学の勝利を実証する輝かしい伝達

●よこ文字考現学⑤

Gut Level

●まんがギャラリー②

ユーウツな部屋

●ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

### 十一月号 通巻二九号◎特集Ⅱ芸術と技術

\*表紙「チェンヤ・キャット」

時には冷たい機械のように

管理社会と芸術

真贋の問題

幻影と物体の芸術に抗して——現代美術批判

コピー芸術

●映像69

彫刻の森

●ゼロックス・サロン

企業の信条と実践

●ビジネス論調

MISの現状——MISはどう役立っているか

●広告は語る

長期的で地道なとり組み方

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー③

現代芸術家

●現代の顔

佐藤忠男

山本 明

河西喜也

牛尾治朗×野田一夫

上坂冬子

水島 寛

長 新太

虫明亜呂無

読者投稿

脇坂一郎

リー・ビー・ヒューズ

宮沢のりお

河西喜也

岡本信治郎

槌屋治紀

北沢方邦

花田清輝

藤枝晃雄

加藤秀俊

相原 亨

椎名武雄×野田一夫

松平 誠

杉山要三

長 新太

# 1970

- 現在時にかかわりつづける映画作家——ゴダール
- コミュニケーションの芽
- イメージ・オデッセイ④
- 激しい動的なヌード(L・クレルグ)
- よこ文字考現学⑥

天沢退二郎  
読者投稿  
脇坂一郎

- Ancient Art
- まんがギャラリー③
- 荒廃
- ゼロックス・ニュース
- \*表四 フォトアングル・ビジネス

リー・ビー・ヒューズ  
安岡明夫  
相原 亨

## 一九六九年十二月・一九七〇年一月合併号 特集Ⅱコミュニケーション

### 通巻四二号

#### \*表紙

#### ● グラビア

#### 朝市

真に新しいものは何か——断絶の詩

私感「キヨソネ」

ヒューマン・コピの形成

日本人のコミュニケーション生活

● につぼん列島70

#### 恐山

現代の断層——ディスコミュニケーション

● ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー④

#### 建築家

● ビジネス論調

国際化時代の企業とコミュニケーション

● 創造と発見

ヘアー・インディアンとのコミュニケーション生活

● コミュニケーションの芽

● 広告は語る

よりよいコミュニケーションを求めて……

● まんがギャラリー④

#### 狼の時

● ドキュメンタリー・シリーズ〈青春〉

若者の四次元広場——深夜放送

● イメージ・オデッセイ⑤

戦争のなかの真実(R・キャパ)

● ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

成瀬和磨

相原 亨

関根 弘

木村恒久

山田宗睦

多田道太郎

相原 亨

佐藤 毅

長 新太

小林 薫

原ひろ子

読者投稿

編集部

佐々木マキ

萩 駿介

脇坂一郎

河西喜也

井上洋介

SFにおけるロボット

宇宙ロボット

セックス・ロボット考

真説・ロボット工学——人工知能と人間自身の探究の複合化

人間そっくり?

● につぼん列島70

● 終りの始まり

● ゼロックス・サロン

● 貿易自由化への障壁

● ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑤

● ロボット

● ビジネス論調

現代における職業選択の意味

● 広告は語る

● 日々に新しく

● 創造と発見

● 夢の指令部・昼は軍隊

● コミュニケーションの芽

● イメージ・オデッセイ⑥

● 澄みきった透明な世界(サム・ハスキンス)

● まんがギャラリー⑤

● オーイの怪

● ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

佐治敬三×野田一夫

長 新太

大野明男

編集部

赤瀬川原平

読者投稿

脇坂一郎

井上 明

河西喜也

味戸ケイコ

金沢嘉市

小島信夫

矢戸健夫

いぬいたかし

佐藤忠男

## 三月号 通巻四三号◎特集Ⅱ子供の領分

#### \*表紙

子供文化とは何か

恐しい思い出など

オーエンの子ども観——集団保育にふれて

幼児と視覚コミュニケーション

マンガ・映像時代の子ども観

●につぼん列島70  
僻地

感性の復権

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑥

動物たち

●ビジネス論調

システム観の基礎

●コミュニケーションの芽

創造と発見

小さな「種子」

●現代アメリカ美術の展開

「ニューヨークの絵画と彫刻・1940～1970」展

●イメージ・オデッセイ⑦

淋しい旅(R・フランク)

●まんがギャラリー⑥

FRIEND JACK

●ゼロックス・ニュース

\*表四 フォトアングル・ビジネス

四月号 通巻四四号◎特集Ⅱ日本語

\*表紙

●グラフィア

漢字の覚え方

●コンピュータと日本語

日本語分割論

●流行語の新しい意味

現象と意識をつなぐもの

●言語が崩壊する時

庶民の言葉

●につぼん列島70

基地の中の日常——横須賀

●対談・日本文化を考える①

日本語をいかに機械化するか

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑦

正体不明の男

●創造と発見

変らなければならぬのは君をも含めた「ぼくたち」全体だ！

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ⑧

妖しげな幻覚(J・N・ユールスマン)

●まんがギャラリー⑦

現代語感

相原 亨

田中吉六

長 新太

鈴木成裕

読者投稿

あまんきみこ

藤枝晃雄

脇坂一郎

湯村輝彦

河西喜也

湯村輝彦

相原 亨

中島健蔵

多田道太郎

赤塚行雄

山田宗陸

横尾忠則

加太こうじ

河西喜也

梅棹忠夫×加藤秀俊

長 新太

佐藤 信

読者投稿

脇坂一郎

赤瀬川原平

●ドキュメンタリー・シリーズ〈青春〉

ことばとの距離

●ゼロックス通信

\*表四 イメージ&イメージ

富岡多恵子

相原 亨

五月号 通巻四五号◎特集Ⅱグラフィック・アートの冒険

\*表紙

巻頭グラフィア ゼロックスアート

「作品」

「Square」「Rectangle」

「作品」

「きりとり線」「No.6」

「25cc、水、氷その240秒」

イメージから離れて

視覚に対する皮肉な想念

呪術の世界をさまよう

●対談・日本文化を考える②

デザインナー賤民説

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑧

グラフィック・デザインナー

●創造と発見

特撮の華麗なる冒険

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ⑨

きわだつた造形感覚(R・アヴェドン)

●まんがギャラリー⑧

おぼけ

●ゼロックス通信

\*表四 イメージ&イメージ

栗津 潔×加藤秀俊

長 新太

木村恒久

読者投稿

脇坂一郎

阿部隆夫

河西喜也

下谷二助

木村道弘

滝口雅子

多木浩二

中平卓馬

むのたけじ

児玉房子

六月号 通巻四七号◎特集Ⅱ都市と人間

\*表紙

MAXIMUM AMOEBA PLASTIC AMOEBA

都市幻想

「生」の復権をめざすヴェクトル——コミュニケーションナルな相を都市に

見続ける涯に火が…

●農村人の都市観

●につぼん列島70

つくられた昼——地下街

●対談・日本文化を考える③

現代語感

自己破壊する都市

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑨  
ゾウアザラシさん

●創造と発見  
原点と幻点

●コミュニティションの芽  
イメージ・オデッセイ⑩

●「自由」のイメージ探る（F・ハビヒト）  
まんがギャラリー⑨

●ピンクの像  
ゼロックス通信

●表四 イメージ&イメージ

### 七月号 通巻四八号◎特集Ⅱ孤島

●表紙

終末の前に船を漕ぎ出せ——情報化時代の「しま」

奄美・その孤独な広がり  
孤島・ユートピアの消滅

●フェニックスは枯れ：  
●につぼん列島70

離島

●対談・日本文化を考える④  
一億人の島

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑩  
ヘンテコリン群島

●創造と発見  
何処へ——タージ・マハル旅行団

●コミュニティションの芽  
イメージ・オデッセイ⑪

●明るく透明な画面アメリカ的な造形（E・ウェストン）  
まんがギャラリー⑩

●はるばる来たよ  
ゼロックス通信

●表四 イメージ&イメージ

### 八月号 通巻四九号◎特集Ⅱ夢と狂気

●表紙

癡品回収業の神秘  
夢・狂気・書く行為

●話の散歩  
ある訊問

●につぼん列島70

榎 文彦×加藤秀俊

長 新太

●渡辺 眸  
読者投稿

脇坂一郎

井上 明

相原 亨

阿部隆夫

●広野 広  
島尾敏雄

山田宗睦

●佐木隆三  
河西喜也

星 新一×加藤秀俊

長 新太

●小杉武久他  
読者投稿

脇坂一郎

東 君平

相原 亨

●粟津 潔  
赤瀬川原平

天沢退二郎

●小針明宏  
井上光晴

暑い夏

●対談・日本文化を考える⑤  
幻影の時代を生きる

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑪  
バクのヒッピーさん

●創造と発見  
振り返るな友よ！

●コミュニティションの芽  
イメージ・オデッセイ⑫

●精神分裂症的な「女」に対する親密な探求（W・ペイン）  
まんがギャラリー⑪

●ゼロックス通信  
夢

●表四 イメージ&イメージ

### 九月号 通巻五〇号◎特集Ⅱニューロック

●表紙

●グラビア  
ロック・エイジの顔

いま、アメリカで何が起っているか——ロックと文化革命  
ドロップアウトが始まる

●旅について——ジミ・ヘンドリックスに学べ  
音に出合う行為——現代音楽とニューロック

●ドヤ街にロックは響かない  
●につぼん列島70

●ロック・ゼネレーション  
●対談・日本文化を考える⑥

●若もの文化・ロックは何処へ  
●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑫

●オランウータンさん  
●創造と発見

●どうしてみんな自分のことをいわないのかな  
●コミュニティションの芽

●イメージ・オデッセイ⑬  
写真におけるワイーリング（クレメールとラバンヌ）

●まんがギャラリー⑫  
ロック・コミックス

●グラビア  
意識の漂流——ワイーリングの世代

●ゼロックス通信  
●表四 イメージ&イメージ

相原 亨

島崎敏樹×加藤秀俊

長 新太

カシアス内藤  
読者投稿

脇坂一郎

梅田英俊

河西喜也

矢吹申彦

相原 亨

清水俊彦

●佐藤忠男  
刀根康尚

我妻忠光

相原 亨

林 光×加藤秀俊

長 新太

遠藤賢司  
読者投稿

脇坂一郎

古川タク

●渡辺 眸  
児玉房子

●児玉房子

十月号 通巻五二号◎特集Ⅱミニコミ

\*表紙

私たちの小さな新聞——コトバを創るためのたくさんの作業のうちの一つ

ミニコミ——その存在自体に意義がある

民衆の声

農民とミニコミ

全国ミニコミ案内

ルネッサンスよ、興れ

●につぼん列島70

旅役者

●対談・日本文化を考える⑦

市民運動を支えるミニコミ

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑬

ミジンコさん

●創造と発見

生徒が生きていて、言葉が生きていて

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ⑭

報道写真の真髓(E・シュルテス)

●まんがギャラリー⑬

紙芝居夜話

●ゼロックス通信

●アメリカ短信①

白い壁の白いアメリカ

\*表四 イメージ&イメージ

河西捷治

室 謙二

山本 明

宮尾しげを

佐藤藤三郎

編集部

前田俊彦

相原 亨

相原 亨

小林トミ×加藤秀俊

長 新太

長 新太

塚原雄太

読者投稿

脇坂一郎

脇坂一郎

米倉齊加年

米倉齊加年

宮永くに子

宮永くに子

河西喜也

河西喜也

田島征三

編集部

谷川健一

相原 亨

おきなわのハブさん

●創造と発見

琉舞・女踊にふさわしい資質——山田多鶴子

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ⑭

内面的なヴィジョン(G・ウイノブランド)

●まんがギャラリー⑭

オキナワ72

●ゼロックス通信

●アメリカ短信②

マリワナと精神分析と

\*表四 イメージ&イメージ

長 新太

船越義彰

読者投稿

脇坂一郎

脇坂一郎

安岡明夫

安岡明夫

宮永くに子

宮永くに子

河西喜也

十二月号 通巻五四号◎特集Ⅱ市(いち)

\*表紙

市の思想

市と芸能

雑踏中毒症患者

大阪的コミュニケーションの喪失

あそびを集合の媒介として——インスタント・シティ小論

●につぼん列島70

疑似広場の崩壊

●対談・日本文化を考える⑨

市・広場・コミュニティ

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑮

「コウモリ市」のおばさん

●創造と発見

屋台学事始め

●コミュニケーションの芽

●イメージ・オデッセイ⑮

どのピカソの顔よりもピカソ的(アーヴィング・ペン)

●まんがギャラリー⑮

びんの中

●ゼロックス通信

\*表四 イメージ&イメージ

長 新太

谷内こうた

深作光貞

戸井田道三

鈴木志郎康

編集部

多木浩二

多木浩二

児玉房子

児玉房子

田島義博×加藤秀俊

田島義博×加藤秀俊

長 新太

長 新太

望月照彦

読者投稿

脇坂一郎

脇坂一郎

浅賀行雄

浅賀行雄

河西喜也

# 1971

## 一月号 通巻五五号◎特集Ⅱ「ついで」ことの意味

### \*表紙

#### 二重肯定序説

#### 現代写真の悪無限性

#### 芸術に近づくものと離れるもの——写真と現代美術

#### ●状況71

#### 道化の栄光

#### ●映像ジャーナル

#### 「やくざ映画」私感

#### ●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑬

#### マン・レイのメガネ

#### ●花の文化史①

#### ハンノキ

#### ●創造と発見

#### 映像をはぐくむ闇

#### ●イメージ・オデッセイ⑬

#### 漠然としたあいまいさと不安（D・ミチャルズ）

#### ●アメリカ短信③

#### 笑いとペシミズム

#### \*表四 オフ・イメージ

吉田克朗

大塚 豊

柳本尚規

藤枝晃雄

相原 亨

編集部

長 新太

山田宗睦

山本美智代

脇坂一郎

宮永くに子

佐野泰央

近藤弘明

脇坂一郎

守 誠

河西喜也

水上 勉×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

近辻宏煇

脇坂一郎

アメリカ短信④

(W・E・スミス)

脇坂一郎

宮永くに子

佐野泰央

近藤弘明

脇坂一郎

守 誠

河西喜也

水上 勉×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

近辻宏煇

脇坂一郎

アメリカ短信④

(W・E・スミス)

脇坂一郎

## 三月号 通巻五七号◎特集Ⅱ現代子ども論

### \*表紙

#### ガラス窓の向う側

#### \*表紙 オフ・イメージ

#### ●グラビア

#### マザーグースはもういない

#### 私のこども観

#### 集団保育とコミュニケーション

#### こどもにとつて自由とは何か

#### 子供・悪・大人

#### えんがちよ縁起

#### ●状況71

#### 遠い声、遠い部屋

#### ●対談・日本文化を考える⑪

#### 遊びの復権

#### ●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑭

#### 森のこども

#### ●花の文化史③

#### プリバーナル・プラント

#### ●創造と発見

#### 普通学級の中の自閉症児——ジャリ・ジャリ・ギュー

#### ●イメージ・オデッセイ⑯

#### 人間の根源的なものに関する秘めやかな描写（P・ジュースン）

#### 復讐とはなにか——室生犀星の場合

#### ●アメリカ短信⑤

#### サイク・アウト社会

#### \*表四 オフ・イメージ「玩具」

宮永くに子

佐野泰央

多田美波

相原 亨

松田道雄

宍戸健夫

佐藤忠男

野呂重雄

河内 紀

相原 亨

なだいなだ×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

内堀照夫

脇坂一郎

芹沢俊介

宮永くに子

間嶋龍臣

岡本信治郎

北沢方邦

黒井千次

石子順造

武谷三男

鈴木 均

大塚 豊

状況71

伝達伝説註解

情報化社会とSFの間

情報化社会と技術

情報化社会とミニコミ

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

## 四月号 通巻五八号◎特集Ⅱ情報と人間

### \*表紙

#### 情報化社会と神話的思考

#### お伽噺とSFの間

#### 情報化社会とキツチュ——ふたたび狂い咲きの季節を前にして

#### 情報化社会と技術

#### 情報化社会とミニコミ

#### 伝達伝説註解

#### ●状況71

宮永くに子

佐野泰央

多田美波

相原 亨

松田道雄

宍戸健夫

佐藤忠男

野呂重雄

河内 紀

相原 亨

なだいなだ×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

内堀照夫

脇坂一郎

芹沢俊介

宮永くに子

間嶋龍臣

岡本信治郎

北沢方邦

黒井千次

石子順造

武谷三男

鈴木 均

大塚 豊

状況71

伝達伝説註解

情報化社会とSFの間

情報化社会と技術

情報化社会とミニコミ

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

伝達伝説註解

状況71

虚空のメデイア

●対談・日本文化を考える⑫

反情報芸術の可能性

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑱

クモさん

●花の文化史④

カシノキ

●創造と発見

ボクはイージーライター

●イメージ・オデッセイ⑳

視覚言語としての写真(O・シユタイナート)

●アメリカ短信⑥

罪の意識とドラッグ

●表四 オフ・イメージ「細胞」

児玉房子

針生一郎×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

奥野卓司

脇坂一郎

宮永くに子

林 武彦

五月号 通巻五九号◎特集Ⅱ怨霊思想と芸能

●表紙

冥府と現世をつなぐもの

まつりと芸能

悪霊としての「絵金」

南北と現代

怨の一字

●状況71

凶々しい街

●対談・日本文化を考える⑬

遊芸人の思想

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑳

●魍魎さん

●花の文化史⑤

カジノキ

●創造と発見

鼓打ちになりきること

●イメージ・オデッセイ㉑

白人世界におかれた黒人の怒り(L・フリード)

●読者から

●表四 オフ・イメージ「蝶狂い」

小林久太郎

脇坂一郎

田中佐太郎

山田宗睦

長 新太

郡司正勝×加藤秀俊

長 新太

山田宗睦

田中佐太郎

脇坂一郎

小林久太郎

六月号 通巻六〇号◎特集Ⅱ数…偶然性…ゲーム

●表紙

かずかずの数

計量主義と芸術

戦後派の詩人たち——ゲーミングと現実

複雑なんか飛んで行け!

●詩人の数学書鑑賞

でたらのめの世界——偶然の中の必然性

●状況71

競馬場の影

●対談・創造と発見シリーズ①

優勢は劣勢

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー㉑

●数字人

●花の文化史⑥

カシワノキ

●キツチュグるい①

●芸術のボロ

●写真映像月評

●映像における色彩の意味

●続・アメリカ短信①

●未知のアメリカ

●表四 オフ・イメージ「変身図譜」

東 公平

高内壮介

淡中忠郎

児玉房子

内藤国雄×吉田光邦

長 新太

山田宗睦

石子順造

脇坂一郎

宮永くに子

小林久太郎

七月号 通巻六一号◎特集Ⅱ方言・土俗語

●表紙

言語とコミュニティ

●方言語の可能性と限界

方言・平時の乱

農民のこぼ

テツと金

●民衆の中の二つの言語

●状況71

荒廃の夏

●対談・創造と発見シリーズ②

●地域語ゲリラ論

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー㉒

おやふこーもん

●花の文化史⑦

アオイ

●キツチュグるい②

●名画——公認された視線の東

●写真映像月評

●昏迷の中に立つ主題——川田喜久治写真集『聖なる世界』他

●続・アメリカ短信②

●レストランで

●表四 オフ・イメージ「はみだした部分」

北津青介×白鳥邦夫

長 新太

山田宗睦

石子順造

脇坂一郎

宮永くに子

佐野泰央

八月号 通巻六二号◎特集Ⅱ自然と人工

\*表紙

自然の戦略的迷彩

自然と人工——エコロジーとシステム

自然への回帰

自然と人間生態系

現代文明と人間の環境

オーロピルにて

●状況71

滅亡の予兆

●対談・創造と発見シリーズ③

追われゆく農民たち

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑲

●森林さん

●花の文化史⑧

ヒョウタン

●キツチュくるい③

仏像——場所の標識

●写真映像月評

報道写真の衰弱

●続・アメリカ短信③

●はみだし者の歌——ボブ・ディラン

\*表四 「アアグー」①

関根伸夫

木村恒久

合田周平

本間長世

宮地伝三郎

今和次郎

斎藤司郎

児玉房子

薄井 清×森下豊昭

長 新太

山田宗睦

石子順造

脇坂一郎

宮永くに子

湯村輝彦・木村道弘

人間の模造は可能か？

●写真映像月評

映像の無駄づかい

●続・アメリカ短信④

空間的未知と時間的未知

\*表四 「アアグー」②

石子順造

脇坂一郎

宮永くに子

湯村輝彦・木村道弘

十月号 通巻六四号◎特集Ⅱユートピアへ

\*表紙

スウェーデンのタージ・マハル旅行団

旅とユートピア

ヒッピーの方法

想像から創造へ

●戦争・音楽・麻薬——《ユートピアQ&A一九八一》より

●《ユートピアQ&A一九八一》との出発

●タージ・マハル旅行団Ⅱスウェーデン日誌

●状況71

文明に背を向けて

●対談・創造と発見シリーズ⑤

●音楽と遊戯性

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑲

●オブラートさん

●花の文化史⑩

●テンナンシヨウ

●キツチュくるい⑤

●美顔整形

●映像月評

●《私》の意識をこえる現実のありよう——“わが南京大虐殺”と“もう一つの国”

●読者から

\*表四 「アアグー」③

湯村輝彦・木村道弘

十一月号 通巻六五号◎特集Ⅱ視覚と観念

\*表紙

芸術と言語

おぼろげな眼差しを通して

●インタビュー

●無関係とトータリテイ

●彗星と重力——《視覚Ⅱ観念》の等号を求めて

●《1分間に1000マイルのスピードで動く地球号という宇宙船に乗って……》というR・バックミンスター・フラー氏の小ぢんまりと美しいドームでの演奏を終えて

柳本尚規

齊藤司郎

中尾ハジメ

深作光貞

小林はくどう

タージ・マハル旅行団

齊藤司郎

謙二

長 新太

山田宗睦

石子順造

加納光於

針生一郎

杉浦康平

高松次郎

松岡正剛

小杉武久

鈴木慶則

大島 渚

関山和夫

上笙一郎

植草甚一

編集部

大西赤人

草森紳一

相原 亨

鈴木慶則×赤瀬川原平

長 新太

山田宗睦

●マンガの精神

●落語にみる日本人の諧謔性

●アウトロウの軌跡——宮武外骨のこと

●パラピン紙のことから「フリーク・アウト」的なものへ

●人形映画の笑い

●やほり野におけ：

●ふくよかな歌舞伎の風刺

●状況71

●月光仮面は誰でしょう

●対談・創造と発見シリーズ④

●絵画の制度を超えて

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー⑲

●彌次喜多さん

●花の文化史⑨

●ササ

●キツチュくるい④

物を見る眼のちがい——第七回パリ青年ビエンナーレを見て

●状況71

空転する視覚

●対談・創造と発見シリーズ⑥

視覚と観念

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー②⑥

観念さん

●花の文化史⑪

カツラノキ

●キツチュグるい⑥

看板絵——聖と俗

●ふらんす雑記①

量塊と論理

●映像月評

パロディの思想——『センチメンタルな旅』と『現代語感』

●表四 「アアグー」④

岡田隆彦

吉田克朗

長 新太

山田宗睦

石子順造

川崎 澁

柳本尚規

木村道弘

中平卓馬

湯村輝彦・木村道弘

アフリカ文化の可能性

モロッコ・絵はがきの風景

●ヘンテコおじさんの童話ふうインタビュー②⑦

アフリカさん

第三世界の思想——アフリカの場合

●状況71

黒いトリックスターたち

●日本人にとってアフリカとは何か

●対談・創造と発見シリーズ⑦

ジャンボ！アフリカ

●花の文化史⑫

クスノキ

●キツチュグるい⑦

噫々！山紫水明

●ふらんす雑記②

回教寺院と解放闘争

●映像月評

映画紙とフェティシズム——白川義員のアルプス写真の場合

●表四 「アアグー」⑤

羽仁 進

中平卓馬

長 新太

土屋 哲

羽仁 進

米山俊直

山田宗睦

山田宗睦

石子順造

川崎 澁

柳本尚規

木村道弘

湯村輝彦・木村道弘

# 1972

## 一月号 通巻六七号◎特集Ⅱシンボル

＊表紙

シンボルの原像

ビルの壁は赤く塗ろう！

シンボルへの反逆

ある確認

アンチ・シンボルのに

中出貞二郎・旗・旗のボッキについて

●残像72

弛緩する畏

●対談・創造と発見シリーズ⑧

ドロップ・イン宣言

●冒険タンコちゃん日本をゆく①

シンボル島にあらわれる

●花の文化史⑬

タタエノキ

●キツチュグるい⑧

汎神論者のほがらかな絶望

田原総一朗×鈴木 均

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

木村恒久

安永寿延

清水哲男

内村剛介

佐藤忠男

秋山 清

白石かずこ

児玉房子

田原総一朗×鈴木 均

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

## 二月号 通巻六八号◎特集Ⅱ古代風景

＊表紙

出雲神話と古代空間

●古代風景断面——産霊二尊考

凹面鏡の中の古代風景

●古代幻想

●古代人にとって自然とは何であったか

●記紀体系による日本神話の時空構造

●DISCOVER大和盆地——地殻運動と国見儀礼

●残像72

●神話の想像力

●対談・創造と発見シリーズ⑨

鈴木志郎康

川崎 澁

相原 亨

相原 亨

滝口修造

戸井田道三

吉野 裕

松岡正剛

長谷川龍生

中尾佐助

伊藤清司・杉浦康平他

田中 基

相原 亨

相原 亨

タカラ貝とビロウの木  
●冒険タンコちゃん日本をゆく②  
オリンピックにあらわれる

●花の文化史⑭  
ウメノキ

●キツチュグるい⑨  
造花——科なくて咲く

●映像月評  
観念を拒絶する映像

●ふらんす雑記④  
ヘンデル讃

\*表四 ぴんなつぷ

吉野裕子×藤森栄一

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

鈴木志郎康

川崎 澁  
児玉房子

三月号 通巻六九号◎特集Ⅱ日本人のパーソナリティ

\*表紙  
ある性の死  
義理と人情

日本人の美意識  
甘えと毛づくろい——日本人のパーソナリティ

●残像72  
黄色い笑い

●対談・創造と発見シリーズ⑩  
日本人の子ども観

●冒険タンコちゃん日本をゆく③  
オオサカで人情に泣く

●花の文化史⑮  
ツバキ

●キツチュグるい⑩  
お化けと遊びのレクリエイティブティ

●映像月評  
作意の彼方に

●ふらんす雑記⑤  
ノートルダム寺院

\*表四 ぴんなつぷ

桐島洋子×羽仁 進

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

鈴木志郎康

川崎 澁  
河西喜也

東洋的機械観

●残像72  
教育機器の悪夢

●対談・創造と発見シリーズ⑪  
機械と人間

●冒険タンコちゃん日本をゆく④  
人形と話す

●花の文化史⑯  
サクラ

●キツチュグるい⑪  
テレビCMの演劇性——処女のようなあばずれ

●映像月評  
文章化できない映像表現——ブニュエル「哀しみのトリスターナ」

●ふらんす雑記⑥  
ヴァンセンヌの森

\*表四 ぴんなつぷ

吉田光邦

児玉房子

三村健治×谷川俊太郎

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

虫明亜呂無

川崎 澁  
相原 亨

五月号 通巻七一号◎特集Ⅱ地獄の思想

\*表紙  
地獄芝居  
現代の飢餓

地獄——奈落について  
ジャンパー

死と再生の観念  
鬼の復権

●残像72  
闇の中の猿

●対談・創造と発見シリーズ⑫  
地獄の舞踏

●冒険タンコちゃん日本をゆく⑤  
天国と極楽

●花の文化史⑰  
イタドリ

●キツチュグるい⑫  
まず「瞼の母」を犯せ

●映像月評  
ストラビンスキーの発想から

●モスクワからの手紙①  
世界の過保護児・日本人

\*表四 ぴんなつぷ

大坂日出男

郡司正勝

長谷川竜生

古沢俊美

井上光晴

谷川健一

馬場あき子

児玉房子

笠井 叡×衛 紀生

富岡多恵子

山田宗睦

石子順造

虫明亜呂無  
高木百合香  
児玉房子

四月号 通巻七〇号◎特集Ⅱ人間機械論

\*表紙

サイバネティクス革命の妖怪  
メフィストフェレスの罫  
ロボット時代の芸術あるいは肉体時代の想像力  
人間機械論の周辺

山口勝弘

鎮目恭夫

北沢方邦

赤瀬川原平  
吉田夏彦

六月号 通巻七二号◎特集Ⅱ遊びの空間

\*表紙

現代遊戯論ノート

空間とのつきあい

レジャー空間の虚像

日本人の空間的想像力

映画・演劇における空間の彼岸性

残像72

ホモ・サピエンスの反逆

対談・現代の発見①

文革とデザイン

冒険タンコちゃん日本をゆく⑥

木と紙のなかに住む

花の文化史⑱

ヤマブキ

イメージのレトリック①

記号世界の構造

映像月評

シューバとジプシー・ローズの恍惚

モスクワからの手紙②

タクシー考

\*表四 ぴんなつぷ

堀内正和

宮内 康

黒井千次

後藤和彦

海野 弘

渡辺武信

田村シゲル

山田慶児×木村恒久

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

虫明亜呂無

高木百合香

河西喜也

谷川晃一

小原秀雄

北沢方邦

日高敏隆

香原志勢

児玉房子

水原洋城×長 新太

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

田原総一郎

モスクワ文化地図

\*表四 ぴんなつぷ

八月号 通巻七四号◎特集Ⅱ映画眼・映画言語

\*表紙

亡ぶべくして亡ぶもの、映画

水俣病患者さんのストックホルム旅情

日常の中の劇的空間

アジテイションとしての映画は可能か？

映画眼から映像言語へ——ジガ・ヴェルトフと中井正一

残像72

さすらいの映画産業

対談・現代の発見③

夢魔的映画論

冒険タンコちゃん日本をゆく⑧

映画こそ人生

花の文化史⑳

ヤマユリ

イメージのレトリック③

黒い短冊

映像月評

空白のブラウ管

モスクワからの手紙④

子供たちの夏

\*表四 ぴんなつぷ

高木百合香

相原 亨

石岡瑛子

内村剛介

土本典昭

岡田芳郎

中平卓馬

今村太平

北井一夫

天沢退二郎×大和屋竺

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

田原総一郎

高木百合香

破井度モオ

菅木志雄

金 鶴泳

姜 舜

森崎和江

宋 秋月

松本昌次

児玉房子

高 史明×津村 喬

富岡多恵子

山田宗睦

七月号 通巻七三号◎特集Ⅱ攻撃と擬態

\*表紙「龍」

動物機械観の彼方へ——本能と「刷り込み」

野性の復権

攻撃と擬態——その逆説

人類進化と攻撃性

残像72

動物たちの死

対談・現代の発見②

サルに入れ歯

冒険タンコちゃん日本をゆく⑦

日本語会話を学ぶ

花の文化史⑲

フジ

イメージのレトリック②

絵葉書——スキヤンダラスな暗示

映像月評

汚辱のひらき直り

モスクワからの手紙③

九月号 通巻七五号◎特集Ⅱ日本の中の朝鮮

\*表紙

カタルシスを求めて

消えた閃光——埋もれたままの詩の鳥たちに

朝鮮の夏・雑感——朝鮮の歌謡・民謡によせて

さむち

ピョンヤンの街にて

残像72

まなざしの地図

対談・現代の発見④

「在日」の思想

冒険タンコちゃん日本をゆく⑨

コーリアン・バーベキューを食べる

花の文化史㉑

ハルニレ

イメージのレトリック④

高木百合香

相原 亨

石岡瑛子

内村剛介

土本典昭

岡田芳郎

中平卓馬

今村太平

北井一夫

天沢退二郎×大和屋竺

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

田原総一郎

高木百合香

破井度モオ

菅木志雄

金 鶴泳

姜 舜

森崎和江

宋 秋月

松本昌次

児玉房子

高 史明×津村 喬

富岡多恵子

山田宗睦

- 「旗」の神話
- 映像月評
- ポルノのポルノによるポルノのためのポルノ
- モスクワからの手紙⑤
- ロシア式と日本式
- \*表四 ぴんなつぷ

十月号 通巻七六号◎特集Ⅱパズル・図形・集合

- \*表紙
- 集合・構造・群
- 数学的思考と現代芸術
- エッシャー空間の謎
- 数学はいかにメッセージたりうるか
- 鼻なし福笑い
- 残像72
- 熱い砂の記憶
- 対談・現代の発見⑤
- 「ムダの数学」論
- 冒険タンコちゃん日本をゆく⑩
- 算盤と九九にコーサンする
- 花の文化史②②
- エゾヨモギ
- イメージのレトリック⑤
- プロップ・アート①——イコノロジー
- 映像月評
- 滅亡の予感と写真
- モスクワからの手紙⑥
- ロシアより愛をこめて
- \*表四 ぴんなつぷ

多木浩二

田原総一朗

高木百合香

河西喜也

下谷千尋

遠山 啓

高内壮介

岩成達也

森 毅

井出 建

田村シゲル

幸村真佐男×中原佑介

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

大辻清司

高木百合香

相原 亨

赤瀬川原平

戸井田道三

関根 弘

福田定良

山本 明

野添憲治

- 残像72
- 希望という名の……
- 対談・現代の発見⑥
- 肉声のコミュニケーション
- 冒険タンコちゃん日本をゆく⑪
- ゴローとはいったいだれだろう
- 花の文化史②③
- キツリフネ
- イメージのレトリック⑥
- プロップ・アート②——パロディー
- 映像月評
- 屍臭のただよい
- 読者からの手紙
- \*表四 ぴんなつぷ

佐藤 信×浅川マキ

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

大辻清司

稲越功一

田村シゲル

藤竹 暁

長州一二

柳本尚規

室 謙二

宮永國子

浅井敬三

児玉房子

米山俊直×山口 宏

富岡多恵子

山田宗睦

多木浩二

大辻清司

河西喜也

十二月号 通巻七八号◎特集Ⅱアメリカのビジネス

- \*表紙
- アメリカの夢は終わった——若ものたちの企業観
- アメリカのビジネス、二つの顔
- ジーンズと自由——あらかじめ認められた場所の論理
- 二匹の猫のように——アメリカの旅から
- カリフォルニアの海岸通りで
- 企業不信の中の模索
- 残像72
- ある出発
- 対談・現代の発見⑦
- もう一つのアメリカ
- 冒険タンコちゃん日本をゆく⑫
- なんにもわからない
- 花の文化史②④
- イナウノキ
- イメージのレトリック⑦
- 観念装置としての模型
- 映像月評
- そして地球の上には誰も居なくなつた
- 読者からの手紙
- \*表四 ぴんなつぷ

十一月号 通巻七十七号◎特集Ⅱ歌謡曲の周辺

- \*表紙
- 日本の歌謡風土
- シンデレラの夢
- オンナと歌謡曲
- 替え歌で現代をうたえるか
- 老ジャコ之歌

# 1973

## 一月号 通巻七九号◎特集Ⅱいるどり文明

### \*表紙

自然色の造反

色彩という——メッセージとしての色

ロスアンゼルス・ブルース

コミュニケーションと色彩

色彩から推理する高松塚女性群像壁画

色彩・頭脳と光のヴァイブレーション

●SCENE73

凶兆

●対談・現代の発見⑧

●昏迷する色彩文明

●まんがジャーナル①

●ちゆうにんぐ

●ことばの宇宙

●緑色広告

●黒い九月

●花の文化史②⑤

●エノキ

●イメージのレトリック⑧

●シルエット

●映像月評

●夢みる選挙ポスター

●アメリカⅡ昨日・今日・明日①

●悲しい小さな町で

\*表四 ポートレート

## 二月号 通巻八〇号◎特集Ⅱ日本海文化・その二

### \*表紙

東北無残

餅は餅屋さんに

幻の辺境文化——出雲から

●SCENE73

●崩壊感覚

●対談・現代の発見⑨

●地方を考える

●まんがジャーナル②

●日本列島を洗う波

武満

徹×粟津 潔

久里洋二

金内一郎

脇坂一郎

山田宗睦

多木浩二

木村恒久

室 謙二

木村千昌

榎倉康二

編集部

白鳥邦夫

脇坂一郎

兎玉房子

守 誠×井出孫六

梅田英俊

●ことばの宇宙

●日本海文化圏

●花の文化史②⑥

●マキ

●イメージのレトリック⑨

●化粧の意味論

●映像月評

●「見る行為」への侵犯

●アメリカⅡ昨日・今日・明日②

●武器と自由

\*表四 ポートレート

## 三月号 通巻八一号◎特集Ⅱインド

### \*表紙

●鼎談

●インドの文字・インドの空間

●インド音楽の可能性

●哲学インド無常

●インド自然学余剰 三宿三徳荘縁起譚

●日本人のインド観——日本人にとってインドとは何か

●ストゥーパ伝説

●SCENE73

●涅槃

●対談・現代の発見⑩

●インド——やさしさへの旅

●まんがジャーナル③

●インド?

●ことばの宇宙

●アンタッチャブル

●マントラのマントラ

●花の文化史②⑦

●シイ

●イメージのレトリック⑩

●メタ言語としての「色」

●映像月評

●キヤパは二度死ぬ

●アメリカⅡ昨日・今日・明日③

●メキシコへ

小泉文夫×杉浦康平×小杉武久

一柳 慧

三沢憲司

松岡正剛

石田保昭

松山 巖

渡辺 眸

夫馬基彦×渡辺 眸

古川タク

脇坂一郎

齊藤奎三

山田宗睦

多木浩二

木村恒久

室 謙二

飯田 鉄

山田宗睦

多木浩二

木村恒久

室 謙二

村松武司

山田宗睦

多木浩二

\*表四 ポートレート

榎本敏雄

四月号 通巻八二号◎特集Ⅱ教育と評価

\*表紙

交換不能のコミュニケーション  
相互評価と自己発見

二村裕子  
羽仁 進

暗灰色の表紙の教科書のこと

福田定良

私にとつての柳下村塾

井出孫六

教育と計量化

倉田令二郎

● SCENE 73

佐藤忠男

夢魔

田村シゲル

●対談・現代の発見⑪

名取弘文×宮原昭夫

デモシカ先生、奮戦記

榎岡かずお

●まんがジャーナル④

塚原雄太

まだ剝れるうちはいい

富岡多恵子

●ことばの宇宙

山田宗睦

夜間中学の中の夜間小学校

多木浩二

先生のお気に入り

佐野美津男

●花の文化史⑳

室 謙二

ナギ

神田一澄

●イメージのレトリック⑪

木村恒久

閉じこめられた過去

多田道太郎

●映像月評

小沢信男

蒸気機関車頻発の理由

鈴木志郎康

●アメリカⅡ昨日・今日・明日④

今井俊博

何よりだめなアメリカ

田村紀雄

\*表四 ポートレート

相原 亨

五月号 通巻八三号◎特集Ⅱうわさ・デマ・ゴシップ

\*表紙

うわさの失墜

木村恒久

三面記事考

多田道太郎

噂の花を咲かせよう

鈴木志郎康

子供の縁のない郊外僻地——ある端コミの喪失

今井俊博

噂の集団、噂のメカニズム

田村紀雄

● SCENE 73

相原 亨

虐殺

相原 亨

●対談・現代の発見⑫

村木良彦×加藤哲郎

「うわさ」の虚と実

水木しげる

●まんがジャーナル⑤

水木しげる

●ことばの宇宙

水木しげる

禁じられることもありますし、あまりお勧めできないこともございます。

噂の存在

長 新太  
金内 一郎

●花の文化史⑳

山田宗睦

アセビ

山田宗睦

●イメージのレトリック⑫

多木浩二

統計グラフ

多木浩二

●映像月評

佐野美津男

未確認飛行物体の思想

佐野美津男

●アメリカⅡ昨日・今日・明日⑤

室 謙二

アメリカで会った日本人

福永一興

\*表四 ポートレート

福永一興

六月号 通巻八四号◎特集Ⅱレオナルド・ダ・ヴィンチ

\*表紙

秩序でなく混沌が：レオナルドの反人間主義

中村 宏  
中原佑介

ルネッサンスと万能人

杉浦明平

レオナルドの科学と科学論

高内壮介

レオナルド・ダ・ヴィンチの半狂乱の生涯

筒井康隆

現代科学とレオナルド——ピカソとダビンチの対比をめぐって

鎮目恭夫

● SCENE 73

柳本尚規

ヨーロッパ感傷

柳本尚規

●対談・現代の発見⑬

小野健一×岡田隆彦

レオナルドの自然観

小野健一×岡田隆彦

●まんがジャーナル⑥

鈴木慶則

見える音

鈴木慶則

●ことばの宇宙

松岡正剛

レオナルド自然学ノート

松岡正剛

●花の文化史⑳

山田宗睦

ヤナギ

山田宗睦

●イメージのレトリック⑬

多木浩二

ピンナップ——性の記号

多木浩二

●映像月評

佐野美津男

映像内文学についての考察

佐野美津男

●アメリカⅡ昨日・今日・明日⑥

室 謙二

旅の終わりに

田中長徳

\*表四 ポートレート

田中長徳

七月号 通巻八五号◎特集Ⅱ旅へ

\*表紙

つげ義春・秋葉街道流れ旅

つげ義春  
つげ義春

● SCENE 73

つげ義春／北井一夫／大崎紀夫

祭りのあとさき

●対談・現代の発見⑭

終末への旅

●まんがジャーナル⑦

WHERE ARE YOU GOING?

●ブーメランの目

虚構としての旅

●花の文化史⑳

アヤメグサ

●イメージのレトリック⑭

ピクトグラムの世界〔一〕

●映像月評

一六〇〇CCの自動車の広告に青き海原と白いカモメの大群

●アフリカだより①

ここは地の果てナイジェリア

\*表四 ポートレート

北井一夫

松田 修×山崎昌夫

井坂克二

松永伍一

山田宗睦

多木浩二

片岡義男

土屋 哲

齊藤陽一

九月号 通巻八七号◎特集Ⅱあいまいさの文化論

\*表紙

日本「まあまあ文化」論

××新の顔

イイ加減のすすめ

「あいまい」をめぐる自己批判

●SCENE73

恐山の男

●対談・現代の発見⑭

恐竜時代を生きる

●まんがジャーナル⑨

あいまい

●ブーメランの目

「ダー」と「ニエツト」

●花の文化史⑳

トチノキ

●イメージのレトリック⑭

「古さ」への傾斜

●映像月評

女がひとり、多少ともアニユイなふてくされの表情でカフェ・テラスのテーブルに頬づえをついて

●アフリカだより③

貧しさからの脱出

\*表四 ポートレート

本田真吾

金 達寿

大島 渚

福田定良

川崎 淡

土田ヒロミ

黒井千次×花柳幻舟

赤塚不二夫×長谷邦夫

守 誠

山田宗睦

多木浩二

片岡義男

土屋 哲

柳本尚規

八月号 通巻八六号◎特集Ⅱ関係の哲学を求めて

\*表紙

座談会

交通人の誕生——関係の総体としての人間

セックスイメージの氾濫の中で

「デラシネ気分」と「にせ」の関係について

遊民の復権

●SCENE73

女たち

●対談・現代の発見⑭

女にとって自立とは何か

●まんがジャーナル⑧

新郎、新婦に関係者の披露宴

●ブーメランの目

この写真に、あなたが何を見たか、私には不明です。

●花の文化史⑳

あぢさゐ

●イメージのレトリック⑭

連続写真

●映像月評

リヴァイバル映画と劣情の一時

●アフリカだより②

熱いアフリカのエネルギー

\*表四 ポートレート

石子順造×鈴木 均×安永寿延

上野昂志

山口文憲

宮内 康

潮田登久子

原ひろ子×柴田道子

秋 竜山

土田ヒロミ

山田宗睦

多木浩二

片岡義男

土屋 哲

柿木 栄

十月号 通巻八八号◎特集Ⅱナンセンス

\*表紙

いま、ぼくたちの表現としてのナンセンスは……

ナンセンスの系譜

ナンセンスとカタストロフィー

バスター・キートン

●SCENE73

虚空遍歴

通俗の構造

ナンセンスの魅力——上方演芸の笑い

●まんがジャーナル⑩

お月見

●ブーメランの目

子どもとナンセンス

●花の文化史⑳

ネムノキ

林 恭三

佐藤 信×小林信彦

飯沢 匡

岩成達也

天沢退二郎

黒田康夫

佐伯隆幸

香川登志緒

赤瀬川原平

佐野美津男

山田宗睦

●イメージのレトリック⑬  
ホンコン・フラワー

●映像月評

●戦後民主主義二十八年目の成果?——「結婚への扉」

●アフリカだより④

●アデ氏の生活と意見〔1〕

●表紙 ポートレート

多木浩二

山本 明

土屋 哲  
堀 和正

●「邂逅」としてのテレビ

●アフリカだより⑤

●アデ氏の生活と意見〔2〕

●表紙 ポートレート

山本 明

土屋 哲  
田村シゲル

長 新太  
栗田 勇  
秋山 清  
長 新太

## 十二月号 通巻九〇号◎特集Ⅱスペイン

●表紙

●西欧の没落とスペインの役割

●私の「スペイン革命」

●ヘンテコおじさん、バスでスペインをゆく

●SCENE73

●ラ・マンチャの風

●対談・現代の発見⑬

●逆光のスペイン

●まんがジャーナル⑫

●ショーとの共存

●ブーメランの目

●路地裏の魔性

●花の文化史⑩

●マユミ

●イメージのレトリック⑬

●カタログ

●映像月評

●テレビ——茶の間のご機嫌とり

●アフリカだより⑥

●人間の国

●表紙 ポートレート

長田 弘×中平卓馬

上山 工

村田栄一

山田宗睦

多木浩二

山本 明

土屋 哲  
河西喜也

## 十一月号 通巻八九号◎特集Ⅱもう一つの宇宙

●表紙

●空飛ぶ円盤は裏宇宙からやってくる

●古代の宇宙像

●異次元への旅

●土人形

●妖怪の国

●SCENE73

●凍結した未来

●対談・現代の発見⑬

●宇宙的「死」をめぐって

●まんがジャーナル⑪

●おかあさん

●ブーメランの目

●ポロックと宇宙

●花の文化史⑩

●ヒガンバナ

●イメージのレトリック⑬

●痕跡

●映像月評

岩井 寛×松岡正剛

及川正通

藤枝晃雄

山田宗睦

多木浩二

# 1974

## 一月号 通巻九一号◎特集Ⅱ科学精神

●表紙

●対談

●等身大の科学

●蘭学における科学思想

●反科学・反技術思潮批判

●date-line 74

●棧橋

●人民のための、人民による、人民がする、人民の科学

長谷川真紀男

ものべながおき×字井 純

佐藤昌介

渡辺一衛

柳本尚規  
前田俊彦

●名もなき民衆の影——安藤昌益における科学

●ナンセンス通り①

●刈りにくい科学思想の持主の頭

●Random Dice

●科学的好奇心欠乏症

●グラフィック・コミュニケーションの系譜①

●皮を剥いたら何のこる——グラフィズム「表層のモデルノロジオ」

●イメージのレトリック⑩

●ミッキー・マウスの奇跡

松本健一

井上洋介

藤森栄一

栗津 潔

多木浩二

- 映像月評  
「私」性としての写真
- ミシガンの森から①  
アパートの訪問者
- \*表四 トランスポートーション①

## 二月号 通巻九二号◎特集Ⅱ 警女

### \*表紙

長岡警女旅日記  
勇みと哀愁——津軽じよんから節考

date-line 74

門付けの日々

● 対談・現代の発見⑨

● 警女——やさしさの共同体

● ナンセンス通り②

寒施行

● Random Dice

自然を対象としない自然な科学を

● グラフィック・コミュニケーションの系譜②

まなざしの縁——装飾の語る空間的意味

● イメージのレトリック②①

新聞のもうひとつのことば

● 映像月評

「シュル・バナリスム」をめぐる

● ミシガンの森から②

● ネット無用論

\*表四 トランスポートーション②

桑原甲子雄

塚本洋三

柳本尚規

斎藤義重

橋本照嵩

長部日出雄

橋本照嵩

松永伍一×森 忠彦

勝又 進

奥野健男

海野 弘

多木浩二

桑原甲子雄

塚本洋三

柳本尚規

- 世界を描く——地図・空間描写の実像と虚像
- 映像月評  
奇妙なカタルシス——「三閉伊」写真展
- ミシガンの森から③  
動物とつきあう法
- \*表四 トランスポートーション③

## 四月号 通巻九四号◎特集Ⅱ 子ども社会の復権

### \*表紙

子ども集団は何処へいったか

暗澹たる日々

汝の幼き日に——感受する（からだ）たちを

遊びの回復と管理の発想

● date-line 74

こつちむいて！

● 対談・現代の発見②

子ども社会の復権

● ナンセンス通り④

オー・チルドレン

● Random Dice

いたずらの科学精神

● グラフィック・コミュニケーションの系譜④

遊びとしてのデザイン

● 映像月評

かくして、政治言語は水増しされながらも映画を……

● ゼロックス・ナレッジ・インダより

\*表四 トランスポートーション④

佐々木高明

桑原甲子雄

塚本洋三

柳本尚規

高橋兵衛

竹内常一

佐藤忠男

つるまささちこ

名取弘文

児玉房子

村田栄一×斎藤次郎

佐々木マキ

戸塚 廉

多田道太郎

蓮実重彦

柳本尚規

## 三月号 通巻九三号◎特集Ⅱ メディアとしての衣裳

### \*表紙

メディアとしての衣裳

制服——性と権力

ハイド氏からジキル氏へ

現代人の服装心理

● date-line 74

タージ・マハル

● 対談・現代の発見⑩

エロスなんて何処にあるの？

● ナンセンス通り③

● Random Dice

「土法」の思想が欠落した最近の農村社会での科学・技術

● グラフィック・コミュニケーションの系譜③

山口はるみ

戸井田道三

片岡啓治

日向あき子

宮本忠雄

田村シゲル

片岡義男×鈴木いづみ

マッド・アマノ

むのたけじ

- 映像月評  
奇妙なカタルシス——「三閉伊」写真展
- ミシガンの森から③  
動物とつきあう法
- \*表四 トランスポートーション③

## 五月号 通巻九五号◎特集Ⅱ 身体・しぐさ・演技

### \*表紙

ハーポ・マルクスとブレヒト——或いは「特権的身ぶり」

表現としてのからだ

陰のコミュニケーション

● date-line 74

たそがれの国

● 対談・現代の発見⑫

テレビの身ぶり

● ナンセンス通り⑤

旅の二人

● Random Dice

物質文明

佐々木高明

桑原甲子雄

塚本洋三

柳本尚規

高橋兵衛

竹内常一

佐藤忠男

つるまささちこ

名取弘文

児玉房子

村田栄一×斎藤次郎

佐々木マキ

戸塚 廉

多田道太郎

蓮実重彦

柳本尚規

## 五月号 通巻九五号◎特集Ⅱ 身体・しぐさ・演技

### \*表紙

ハーポ・マルクスとブレヒト——或いは「特権的身ぶり」

表現としてのからだ

陰のコミュニケーション

● date-line 74

たそがれの国

● 対談・現代の発見⑫

テレビの身ぶり

● ナンセンス通り⑤

旅の二人

● Random Dice

物質文明

木村光佑

山口昌男

竹内敏晴

松田 修

津村 喬

黒田康夫

龍村 仁×岡庭 昇

鈴木翁二

高内壮介

●グラフィック・コミュニケーションの系譜⑤  
絵文字の民俗

●映像月評

●刺激的な『メカスの映画日記』

●ミシガンの森から④

公園で：

●表四 トランスポーターション⑤

### 六月号 通巻九六号◎特集Ⅱ都市の身ぶり

●表紙

都市の身振り

疑似コミュニケーションへの訣別

広告の公共化から政治の広告化へ——物と言葉の節約に広告は巻きこまれるな

新宿摩天楼の足もと

●date-line 74

●午前11時13分の影

●対談・現代の発見②③

●都市空間の変容

●ナンセンス通り⑥

●東京名所図絵 銀座通り煉瓦造

●Random Dice

●消費者にとって科学とは何か？

●グラフィック・コミュニケーションの系譜⑥

うっし絵奇談

●映像月評

●みんなでいそいそとブニユエルを観に行こう

●ミシガンの森から⑤

●自然の値打ち

●表四 トランスポーターション⑥

### 七月号 通巻九七号◎特集Ⅱジュール・ヴェルヌ

●表紙

●ヴェルヌ——実体名詞の宇宙

●ヴェルヌの予言的発明

●ヴェルヌとアガルタ

●極小ジュール・ヴェルヌ論——子どもの読物と想像力

●近眼と早寝は円盤に会えない

●ノーチラス号出航記

●date-line 74

●海へ

●対談・現代の発見②④

竹内利美

蓮実重彦

塚本洋三

柳本尚規

湯村輝彦

多木浩二

山本 明

中島 誠

関根 弘

土田ヒロミ

田村隆一×広末 保

花輪和一

野村かつ子

結城孫三郎

蓮実重彦

塚本洋三

柳本尚規

加納光於

曾根元吉

中原佑介

黒沼 健

佐野美津男

杉浦 茂

花輪莞爾

門田 修

科学とファンタジー

●ナンセンス通り⑦

●地底探検1974

●Random Dice

●「科学史」総括のすすめ

●グラフィック・コミュニケーションの系譜⑦

●マンガ——その俗悪性とアクチュアリティ

●映像月評

●映画の表情から写真へ

●ミシガンの森から⑥

●オットセイたち

●表四 断片①

### 八月号 通巻九八号特集Ⅱ眼と精神

●表紙

●大地図の発想——グラフィズムにおける知覚系の変換

●視覚の周辺——イメージ・図・しるし・言葉

●ソクラテスのプロセス話法から

●date-line 74

●地図

●映画「キャロル」を撮り終わって

●コピイ、コピイ、コピイ！

●ナンセンス通り⑧

●マンガ・マッサージ

●Random Dice

●超能力でなく遊びの確保を！

●グラフィック・コミュニケーションの系譜⑧

●記念的映像へ帰る——写真とコミュニケーション

●映像月評

●写真への旅

●ミシガンの森から⑦

●裏庭の「珍事件」

●表四 断片②

### 九月号 通巻九九号特集Ⅱネパール

●表紙

●東方巡礼を誘う聖なる劇場空間

●土の匂いに誘われる旅人たち

●ヒマラヤの風のように……

●未知なる世界の扉——私のネパール

●date-line 74

●道

都筑道夫×福島正実

松本零士

森 毅

石子順造

東松照明

塚本洋三

復写集団ゲリバラ5

野田哲也

杉浦康平

多木浩二

日向あき子

児玉房子

龍村 仁

小野耕世

古川タク

鎮目恭夫

桑原甲子雄

東松照明

塚本洋三

復写集団ゲリバラ5

前田常作

夫馬基彦

大村次郷

渡辺 眸

斎藤司郎

渡辺 眸

- 対談・現代の発見⑤  
ニルヴァーナへの道
- ナンセンス通り⑨  
「近ごろ、ここらあたりの人間も毒気が多くなったなあ」
- Random Dice  
エセ科学とファシズム
- グラフィック・コミュニケーションの系譜⑨  
鉄塔の下の浮世絵
- 映像月評  
双方向テレビのメッセージ
- ミシガンの森から⑧  
幻のスカンク
- 表四 断片③  
複写集団ゲリバラ5

青木 保×阿奈井文彦

岩本久則

室 謙二

大森忠行

萩原朔美

塚本洋三

複写集団ゲリバラ5

菅木志雄

## 十月号 通巻一〇〇号特集Ⅱ藤森栄一の世界

### ● 表紙

● 対談  
在野の学問とは何か

● 藤森栄一から受け継いだもの

● ガランドウとデク——諏訪アジュールからの断片

● 藤森君の学問

● date-line 74

● 蛇眼

● 藤森栄一、生活者としての足あと

● 藤森栄一の在野精神

● ナンセンス通り⑩

● ん!?

● Random Dice

● もう一人の空海

● グラフィック・コミュニケーションの系譜⑩

● ナチス・ドイツの「記念切手」

● 映像月評

● 女の自立と意識変革——ビデオとウーマン・リブ

● ミシガンの森から⑨

● 自然の味

● 表四 断片④

複写集団ゲリバラ5

## 十一月号 通巻一〇一号◎特集Ⅱ動物たちとの出会い

### ● 表紙

● 根室の原野から

● 中央アルプスにニホンカモシカを追って

● カアー子、飛びなさい!

梶山俊夫

高田 勝

宮崎 学

稲垣悦子

思いだすままに——犬のこと、猫のこと  
札掛太郎のこと  
蛇との出会い

● date-line 74

● 午睡

● 対談・現代の発見⑥

● 日本人の動物観

● ナンセンス通り⑪

● おれだおれだムツゴロウだ

● Random Dice

● いわゆる科学精神とは何か

● グラフィック・コミュニケーションの系譜⑪

● 動物イメージと様式

● 映像月評

● 一体、どこがウオーホールなのか——商業映画にとりこまれる個人映画

● ミシガンの森から⑩

● 遙かな水平線

● 表四 断片⑤

複写集団ゲリバラ5

塚本洋三

萩原朔美

矢柳 剛

清水俊彦

広野 広

ガリバー

長谷川時夫

潮田 文

土田ヒロミ

● date-line 74

● 南半球

● 対談・現代の発見⑦

● 冬を迎える地球

● ナンセンス通り⑫

● チャップリンもびつくり

● Random Dice

● 取戻さなければならぬ科学

● グラフィック・コミュニケーションの系譜⑫

● 祈りの文字——文字の原イメージ

● 映像月評

● なにげない視線／やわらかな息づかい

● ミシガンの森から⑪

● 長い長い冬

中平卓馬

坂本賢三

葩島庸二

複写集団ゲリバラ5

あまんきみこ

高野凱夫

椋 鳩十

平地 勲

小原秀雄×谷川健一

東 君平

日高敏隆

谷川晃一

## 十二月号 通巻一〇二号◎特集Ⅱ地球を考える

### ● 表紙

● グローバルな時代の織りなす芸術風景

● 漂泊をつづける島から

● 作品「ボディ・2」のラフ・スケッチより

● 人恋しさの空間

● 地球をめぐる観念の渦

● date-line 74

● 南半球

● 対談・現代の発見⑦

● 冬を迎える地球

● ナンセンス通り⑫

● チャップリンもびつくり

● Random Dice

● 取戻さなければならぬ科学

● グラフィック・コミュニケーションの系譜⑫

● 祈りの文字——文字の原イメージ

● 映像月評

● なにげない視線／やわらかな息づかい

● ミシガンの森から⑪

● 長い長い冬

塚本洋三

複写集団ゲリバラ5

# 1975

## 一月号 通巻一〇三号◎特集Ⅱ現代ファッション考

### \*表紙

ノスタルジーの彼方へ  
もう一つの戦後  
流行はくり返すか?——三〇年代の憂愁  
アール・デコの再来  
通りからのながめ

●COSMIC RAY 75

日の果て

●対談・現代の発見<sup>28</sup>

ハンフリー・ボガートはもうおらへんのや

●ナンセンス通り<sup>13</sup>

笑って!

●列島通信

他人顔の札幌

●日本人と色彩<sup>1</sup>

言葉の色とつや

●映像月評

テレビ消しなさい?

●パサジェ・ド・パリ<sup>1</sup>

コマンド・ジャポネ

\*表四 記憶<sup>1</sup>

福田定良×富岡多恵子

つのだ・さとし

更科源蔵

戸井田道三

宮田 修

山口文憲

稲越功一

吉原英雄

上野昂志

森南海子

秋山 清

藤枝晃雄

吉増剛造

伊藤 昊

●日本人と色彩<sup>2</sup>

古代と夢の色

●映像月評

四角い箱との正しいつき合い方

●パサジェ・ド・パリ<sup>2</sup>

パリ日本通り

\*表四 記憶<sup>2</sup>

三月号 通巻一〇五号◎特集Ⅱスポーツ・コミュニケーション

### \*表紙

スポーツ・コミュニケーション

スポーツにおける戦後

神々の競技——呪術と芸能の間

スピードの修羅——肉体表現としてのスポーツ

●ナンセンス通り<sup>15</sup>

スポーツマン・ダメおやじ

●COSMIC RAY 75

エマーソン・フィッツバルディ

●対談・現代の発見<sup>29</sup>

健全なる精神は健全なる肉体に宿る、か?

スポーツ新聞のなかのスポーツ

スポーツ漫画の新しい流れ

●列島通信

出稼ぎ村異変

●日本人と色彩<sup>3</sup>

相撲図絵

●映像月評

四角い箱の向う側の人間

●パサジェ・ド・パリ<sup>3</sup>

パリ・モードなんてどこにあるの?

\*表四 記憶<sup>3</sup>

戸井田道三

宮田 修

山口文憲

稲越功一

上条喬久

多田道太郎

江藤文夫

小笠原恭子

篠田正浩

古谷三敏

田村シゲル

岳 真也×富永茂樹

清水哲男

斉藤次郎

野添憲治

戸井田道三

宮田 修

山口文憲

稲越功一

## 二月号 通巻一〇四号◎特集Ⅱ民衆的学問としての古代史

### \*表紙

ヤポネシア古代学の提唱  
発音からみた日本古代語  
大和から朝鮮へ——古代日朝関係史  
縄文中期農耕論をめぐって  
重層する縄文と弥生

●COSMIC RAY 75

ヒッタイトの丘

先史芸術と想像力

日本人の原意識を探る

●ナンセンス通り<sup>14</sup>

古代文化入門

●列島通信

三角形の美学と「笏谷」の石

吉田克朗

鈴木武樹

大野 晋

金 達寿

国分直一

奥野健男

大村次郷

宇佐美英治

谷川健一

木葉井悦子

小野忠弘

## 四月号 通巻一〇六号◎特集Ⅱ少女マンガの世界

### \*表紙

少女マンガ——日本女性の集合無意識表現

少女マンガの国境

少女マンガ論——少女心理分析編

なぜ少女マンガなのか?

野中ユリ

石川弘義

山元清多

井口ふぢみ

上野昂志

微少女

戦後少女マンガ年表

●COSMIC RAY 75

アフタヌーン

●対談・現代の発見⑩

少女マンガの世界

●ナンセンス通り⑯

少女漫画 ああ、キラキラピカピカ

●列島通信

遊びをせんとや生まれけむ——幸福学園の思想

●日本人と色彩④

お水屋さんごっこ

●ゼロックスナレッジ・インダより

●パサジェ・ド・パリ④

三色旗の前身

●表四 たそがれ病①

滝口雅子  
石子順造・長谷川正信

山崎 博

金子光晴×関根 弘

井上洋介

萩原朔美

戸井田道三

山口文憲

田村シゲル

五月号 通巻一〇七号●特集Ⅱ里

●表紙

最上川、里の渡し舟

●COSMIC RAY 75

米の渡し（山形県鮭川村）

●対談・同時代から①

里の思想

●ナンセンス通り⑯

映画館の中にて／曲者

●列島通信

茨木市安威

●日本人と色彩⑤

旅の記憶

●映像月評

謎の巨容を計測する試み——〈薔薇のスタビスキー〉

●パサジェ・ド・パリ⑤

砂糖の味

●表四 たそがれ病②

つげ義春・北井一夫・大崎紀夫

北井一夫

前田俊彦×井出孫六

永島慎二

富士正晴

戸井田道三

山崎昌夫

山口文憲

田村シゲル

六月号 通巻一〇八号●特集Ⅱ都市の色彩

●表紙

プラスチック・シティから

カラー・ワールド・ペインティング——色彩による場の絵画

●表四 たそがれ病②

柳本尚規

多木浩二

藤枝晃雄

井上光晴

田村紀雄

帝国主義の似姿としての劇場

●COSMIC RAY 75

日没

●対談・同時代から②

街の色気

●ナンセンス通り⑯

「ニュー」

●列島通信

同世代の精神風土を探る

●日本人と色彩⑥

緞帳の余白

●映像月評

映画神話の解体——佐藤信・作「キネマと探偵」

●パサジェ・ド・パリ⑥

パリの五月に翻る旗は

●表四 たそがれ病③

佐伯隆幸

飯田 鉄

金子光晴×関根 弘

長 新太

萩原朔美

戸井田道三

山崎昌夫

山口文憲

田村シゲル

七月号 通巻一〇九号●特集Ⅱ迷宮としてのエジプト

●表紙

エジプトの生と死

墓に満天の星が瞬いていた——「死者の町」撮影日誌から

●対談

エジプトの色彩

彩壁画片とカルトウーシユの発見——マルカタ遺跡の第四次発掘調査

●COSMIC RAY 75

帰らざるもの

神話と呪術のなかの科学

永遠を記念する巨大な測定器

●ナンセンス通り⑯

祖霊と共に住む、墓地の町

●日本人と色彩⑦

すだれごしに見る

●映像月評

人間性と非人間性の未来

●パサジェ・ド・パリ⑦

スケベニンゲン

●表四 オブザベーション①

八月号 通巻一一〇号●特集Ⅱ時間

●表紙

時は過ぎ行く

大村次郷

栗田 勇

大村次郷

吉村作治

川村喜一

大村次郷

平田 寛

岡田隆彦

水木しげる

戸井田道三

山崎昌夫

山口文憲

山崎 博

高松次郎

山内恭彦

絵画と無時間  
時間の聖と俗——エリアーデの時間論  
時間と狂気  
新宿駅「北口」から大木戸・四谷方向へ一軒——街の中の時間の表徴

●COSMIC RAY75

淀んだ時間

●対談・同時代から③

●時間と近代科学思想

●ナンセンス通り⑩

●列島通信

●反戦米兵と「ほびっと」、そして韓国

●日本人と色彩⑧

●褪せた緋色

●映像月評

●印刷された街の人々

●パサジェ・ド・パリ⑧

●リスボンへの帰省バス

●表四 オブザーベーション②

## 九月号 通巻一一二号◎特集Ⅱ食事文化

●表紙

●対談

●現代食事考

●梅ぼしと旅行者の孤独

●味の三角形

●料理は芸術か——料理人の美学と芸について

●食事とコミュニケーション

●COSMIC RAY75

●ニューヨークの昼食

●生活の中の匂い

●食事と道具

●ナンセンス通り⑩

●ジ・エンド

●列島通信

●湯布院に住む

●日本人と色彩⑨

●目で食べる料理

●映像月評

●印刷された貧乏

中原佑介  
久米 博

宮本忠雄

山崎昌夫

川島敏生

村上陽一郎×高橋悠治

榎岡かずお

富田裕明

戸井田道三

赤瀬川原平

山口文憲

山崎 博

南 博×山本益博

室 謙二

深作光貞

江原 恵

岩田慶治

土田ヒロミ

中井英夫

多木浩二

梅田英俊

山田脩二

戸井田道三

赤瀬川原平

山崎 博

## 十月号 通巻一一三号◎特集Ⅱ雑誌考

●表紙

●雑誌の精神

●雑誌——わが学び

●イエロー・ジャーナリズム小論——「团团珍聞」と読者参加

●カストリ雑誌の栄光と終焉

●大なる幻影——「写真週報」の世界

●生きものとしての雑誌づくり

●ああ、マガジン・フォー・メン

●COSMIC RAY75

●波止場

●対談・同時代から④

●雑誌空間とフェティシズム

●近代日本大衆雑誌略年表

●ナンセンス通り⑩

●剣豪絵草紙 岩見重太郎

●列島通信

●裏通りの京都

●日本人と色彩⑩

●雑誌考

●映像月評

●資本主義の映る窓

●パサジェ・ド・パリ⑨

●フランス人とバカンス

●表四 現代博物館——植物①

## 十一月号 通巻一一四号◎特集Ⅱ日本人の笑い

●表紙

●笑いのコミュニケーション——笑わせると笑われる

●座談会

●旅と笑い

●考えるより笑おうか

●エロチックな話は生きつづけ……

●COSMIC RAY75

●フェース・ツー・フェース

●便器に囲まれたレニー・ブルース

●引退試合

●“笑い”の二重性

●ナンセンス通り⑩

●笑いことば

●列島通信

植草甚一

外山滋比古

佐藤忠男

前田 愛

山本 明

小野雄一

山本益博

横内 淳

田村シゲル

清水哲男×津野海太郎

編集部

花輪和一

木下長宏

戸井田道三

赤瀬川原平

山口文憲

川島敏生

古川タク

江藤文夫

松田 修×ヘルベルト・E・プルチョウ×中村哲郎

富士正晴

野口武徳

英 隆

小野耕世

大西赤人

岡庭 昇

赤瀬川原平

船越義彰

# 1976

## 一月号 通巻一一五号◎特集Ⅱテレビ文化

### \*表紙

#### ●座談会

テレビに何ができるか  
内なる「現在」へ向けて

テレビの見方・テレビの味方——テレビが3倍面白くなる法

#### ●座談会

「テレビ離れ」を考える

#### ●遊動風景76

晴のちくもり

光学的ホーム・ドラマ考

彼はぼくたちと共に年老いた……

テレビバカ

どうせ浮世だ テレビ・TVでええやんか

テレビCMの光と影

テレビにおける「大衆参加」とは何か

●童話・どんでんまぐり①

影

●続・イメージのレトリック①

パッケージ

●映像月評

神の領域への侵犯

●ライプツィヒからの手紙①

肉食人種のまなざし

●日本人と色彩⑪  
笑いの記号

●映像月評

歴史が逆もどりする戦慄——ハーツ・アンド・マインズ

●パサジェ・ド・パリ⑩

パリのニッポン人

\*表四 現代博物辞典—植物②

## 十二月号 通巻一一四号◎特集Ⅱヒッタイト

### \*表紙

まぼろしのヒッタイト

ヒッタイトの鉄

●COSMIC RAY 75

戸井田道三

阿奈井文彦

山口文憲

川島敏生

李 禹煥

大村幸弘

立川昭二

白い谷

●対談・同時代から⑤

ヒッタイトの謎

●ナンセンス通り⑭

わアー大きいなあ

●列島通信

金木犀

●日本人と色彩⑫

無意識のデザイン

●映像月評

「人間狩り」解禁——ダーティハンター

\*表四 現代博物辞典—植物③

大村次郷

セダット・アルプ×ハイリー・エルテム

オグラトク

椋 鳩十

戸井田道三

阿奈井文彦

川島敏生

\*表四 旅の手帖① ポルトガル

## 二月号 通巻一一六号◎特集Ⅱ下町

### \*表紙「近所」

下町文化の消滅と再生

路地は相変わらず静かだった……

下町のドン・キホーテ

ケットバシの町の子どもたち——昭和三〇年尾久

下町に花咲く

場末の感情

●遊動風景76

川のほとり

●対談・同時代から⑥

下町気質

●童話・どんでんまぐり②

おやすばあさん

●続・イメージのレトリック②

組合せ術

●映像月評

しわくちやの名刺

●ライプツィヒからの手紙②

プラハへの旅

\*表四 旅の手帖② スペイン

児玉房子

荒木経惟

西山松之助

鈴木清順

福田定良

名取弘文

海野 弘

山崎昌夫

北井一夫

早乙女勝元×水木洋子

梅田英俊

多木浩二

氏田 宏

青木幸子

児玉房子

三月号 通卷一一七号◎特集II探偵小説

＊表紙

推理小説ブームと『探偵小説』の復活

カフカと探偵小説

洞窟の美学——探偵小説とは何か

寸劇ユリイカを発見したことがありますか——推理小説と数字と詩

名探偵覚え書き

側近の情——サラリーマンとミステリー

アンケート／私の好きな推理小説ベスト5

都市と犯罪——黒から白への転回

遊動風景76

Gilbert & George

●対談・同時代から⑦

推理小説の可能性

●続・イメージのレトリック③

繰り返し

●童話・どんでんまぐり③

天才ザル

●映像月評

沖繩の心

●ライプツィヒからの手紙③

安定の世代

＊表四 旅の手帖③ パリ

下谷二助

権田萬治

粉川哲夫

中井英夫

岩成達也

脇坂一郎

内村剛介

岩川 隆

加里バー

佐木隆三×小林久三

多木浩二

梅田英俊

氏田 宏

青木幸子

児玉房子

東松照明

大野 カ×松本 亮×室 謙二

吉岡 忍

島尾伸三

島尾伸三

鶴見良行

梅田英俊

多木浩二

氏田 宏

加納吾朗

＊表四 旅情①

五月号 通卷一一九号◎特集IIおもちゃ

＊表紙

玩具の両義性について

玩具の白魔術

玩具と言語

「極私的」戦後おもちゃの世界

A CLOCKWORK RABBIT

オマケ考

●対談・同時代から⑧

人間と玩具

●童話・どんでんまぐり⑤

いなくなつた人形

●続・イメージのレトリック⑤

変身

●映像月評

決裂への道——トルーマン対マッカーサー

●イスラームの国から②

バックシーシクください

＊表四 旅情②

潮田登久子

福田繁雄

海野 弘

種村季弘

遠丸 立

野上 暁

鴨沢祐仁

岳 真也

鎮目恭夫×藤沢英昭

梅田英俊

多木浩二

吉川勇一

加納吾朗

潮田登久子

倉俣史朗

津野海太郎

戸井田道三

寺山修司

坂崎重盛

上野昂志

田代竜一

六月号 通卷一二〇号◎特集II都市と劇場

＊表紙

都市を逆包囲する劇場——イレコの構造

茶の間と棧敷

偶然性の演劇——世界はぼくのドアの裏側で鼓動する

「帽子」の空間論

〈新宿文化〉は何処へいった？

●遊動風景76

寓話

●対談・同時代から⑨

都市の劇場空間

●童話・どんでんまぐり⑥

眼鏡をかけた犬

●続・イメージのレトリック⑥

場所のイメージ

●映像月評

テレビ——〈像〉による現実の疎外①

●イスラームの国から③

誰だって「ヘソ踊り」

＊表四 旅情③

長谷川堯×津村 喬

梅田英俊

多木浩二

岡庭 昇

加納吾朗

潮田登久子

四月号 通卷一一八号◎特集II東南アジアの大衆文化

＊表紙

座談会

東南アジアの大衆文化

●遊動風景76

南の日

バンダラ・セリ・ベガワンの映画館で

日本と東南アジア——マンガ比較の試み

●童話・どんでんまぐり④

手紙

●続・イメージのレトリック④

対

●映像月評

テレビ制作者の主体性

●イスラームの国から①

「安心」な都

東松照明

大野 カ×松本 亮×室 謙二

吉岡 忍

島尾伸三

島尾伸三

鶴見良行

梅田英俊

多木浩二

氏田 宏

加納吾朗

潮田登久子

倉俣史朗

津野海太郎

戸井田道三

寺山修司

坂崎重盛

上野昂志

田代竜一

長谷川堯×津村 喬

梅田英俊

多木浩二

岡庭 昇

加納吾朗

潮田登久子

潮田登久子

七月号 通巻二二二号◎特集Ⅱヒマラヤの民話

\*表紙

ネパール山間の民話  
大きな池の話

オノサト・トシノブ

岩村 昇

再話・岩村 昇

再話・岩村 昇

再話・加藤千代

再話・加藤千代

乞食の息子と美人妻  
遊動風景76

大村次郷

●対談・同時代から⑩

ヒマラヤ文化と民話

加藤千代×寺田鎮子

●童話・どんでんまぐり⑦

お地藏さんと石盗人

梅田英俊

●続・イメージのレトリック⑦

転用

多木浩二

●映像月評

テレビ——〈像〉による現実の疎外②

岡庭 昇

●イスラームの国から④

豚と戦争

加納吾朗

\*表四 うつくしい国①

田村彰英

八月号 通巻二二三号◎特集Ⅱ大衆文学にみる悪人像

\*表紙

●対談

大衆文学の中の悪人像

尾崎秀樹×佐野美津男

現代的日本の理想的悪人像——わかるかな？ わかんねエだろうなア

赤瀬川原平

曹操悪人論と政治

中野美代子

悪が美となるとき——「盗賊論」の周辺

歌舞伎の〈悪〉——ピカロとエロス

神山圭介

毒婦物のすすめ

小苺米覗

●童話・どんでんまぐり⑧

涙の池

梅田英俊

●続・イメージのレトリック⑧

ステレオタイプ

多木浩二

●映像月評

ニュース番組はなぜ面白くないか

佐怒賀三夫

●イスラームの国から⑤

地中海の都へゆく

加納吾朗

\*表四 うつくしい国②

田村彰英

九月号 通巻二二三号◎特集Ⅱ観客論

\*表紙

観客、その参加と管理の逆説

「視る」ことの魔

「観客」ありき

●対談

「きみの花がほしくてきたんだよ」——踊り子と観客の間

水原登美×鈴木 均

情動感染集団——見世物のばあいとテレビのばあい

野崎 茂

●遊動風景76

白夜の窓

河西喜也

近代観客の成立

何 初彦

おどろきの発見——観客の側からの映画へ

松田政男

●童話・どんでんまぐり⑨

消えた公園

梅田英俊

●続・イメージのレトリック⑨

スケール

多木浩二

●映像月評

日本的インテリゲンチアの諦観——「落日燃ゆ」

南 俊子

●イスラームの国から⑥

断食の月来たる

加納吾朗

\*表四 うつくしい国③

田村彰英

十月号 通巻二二四号◎特集Ⅱ歌の思想

\*表紙

うたの宿命——救いと呪いの交錯

篠山紀信

流行歌の一つの始まり

松永伍一

歌と集団

作田啓一

歌謡曲へ

福田定良

ロックンロールは、少年の救命ブイだ

富岡多恵子

●遊動風景76

片岡義男

過ぎた日

森 真一

●対談・同時代から⑪

複製化時代の歌状況

桜井 順×斎藤次郎

●童話・どんでんまぐり⑩

日かげ色の虫

梅田英俊

●続・イメージのレトリック⑩

トラック・アート

多木浩二

●映像月評

「視聴者は神様」……ではない

鳴海景介

●イスラームの国から⑦

交通戦争カイロ版

加納吾朗

\*表四 南半球

土田ヒロミ

十一月号 通卷一二五号◎特集Ⅱ極北の旅

\*表紙

〈極〉志向についての覚え書

辞世考

●座談会

●極北の旅——一万二千キロ

●遊動風景76

●北帰行

●外的漂流から内的漂流へ

●奈落の旅人たち——寿地区のひとつと

●童話・どんでんまぐり⑪

●ノロさ

●続・イメージのレトリック⑪

●ものの集り

●映像月評

●歴史をみつめる醒めた目

●イスラームの国から⑧

●ダマスカスの「透明人間」

\*表四 海峡

植村直己×川島四郎×小谷正一

粟津 潔

山崎昌夫

佐佐木幸綱

滝川恵清

矢代静一

野本三吉

梅田英俊

多木浩二

佐怒賀三夫

加納吾朗

土田ヒロミ

十二月号 通卷一二八号◎特集Ⅱ大衆文化としての写真

\*表紙

●対談・同時代から⑫

●大衆文化としての写真

●虚構と現実の類似性

●ポップアートと写真

●色彩の奴隷

●遊動風景76

●たそがれ病

●ピンナップ考——イメージの自我が貼られている

●生きられる写真、生きることへの写真を

●日時計の影

●童話・どんでんまぐり⑫

●ふくろ

●続・イメージのレトリック⑫

●フォトモンタージュと写真

●イスラームの国から⑨

●イスラーム文明何処へ

\*表四 都市

桑原甲子雄×脇坂一郎

木村恒久

石崎浩一郎

清水哲男

田村彰英

鈴木志郎康

矢田 卓

種村季弘

梅田英俊

多木浩二

加納吾朗

土田ヒロミ

潮田 文

1977

一月号 通卷一二七号◎特集Ⅱ意匠としての富士山

\*表紙

●シンボルとしての富士——その聖と俗

●富士——暗愚の風景論

●日本人と富士山

●富士山の修験道

●moderato 77

●富士その他

●富士山は本当に在るのか?

●靡け、この山

●対談・同時代から⑬

●意匠としての富士山

●凶像のフォークロア①

●古代壁画

●現代美術断章——コンセプトチュアル以後①

●パフォーマンス「1」

●映像月評

●マン・レイの学生

W・A・グローター

山崎 博

田中 基

中村 宏×松本健一

小苺米覗

藤枝晃雄

柳本尚規

鈴木慶則

安永寿延

坂崎重盛

杉浦明平

五来 重

山崎 博

田中 基

中村 宏×松本健一

小苺米覗

藤枝晃雄

柳本尚規

二月号 通卷一二八号◎特集Ⅱヒロイン

\*表紙

●ヒロインは去り、女たちの無名の肉体が浮上する

●「ゴシック・ロマンス」とヒロイン

●明治、大正のヒロイン

●戦後ヒロインの系譜

●媚と甘えの変型——少女マンガのヒロインたち

●〈ヒロイン史〉関連年表

●moderato 77

●Hey! Baby

●対談・同時代から⑭

●大衆文化とヒロイン

●凶像のフォークロア②

●聖母子像

粉川哲夫

川島敏生

野中ユリ

上野昂志

由良君美

加太こうじ

藤久ミネ

小沢遼子

編集部

潮田登久子

佐藤忠男×菅 孝行

小苺米覗

小苺米覗

●現代美術断章——コンセプチュアル以後②  
パフォーマンス「2」

●映像月評

●習性になったスタイルの切断

●アメリカ混成文化の旅②

●ニュー Yorker の吝嗇

\*表四 現代博物館——鈹物②

### 三月号 通巻二二九号●特集II 漫画家族

\*表紙

姑・舅

三味線猫のなげき

見えない家族

トビ

アンタイトルド

家族のいる風景

●対談・同時代から⑬

●ダメおじさんと漫画家族

●凶像のフオークロア③

●訶梨帝母像

●現代美術断章——コンセプチュアル以後③

●パフォーマンス「3」

●映像月評

●記録写真の衰退状況の中から

●アメリカ混成文化の旅③

●文化産業としてのブロードウェイ

\*表四 現代博物館——鈹物③

### 四月号 通巻二三〇号●特集II いま子どもたちは

\*表紙

●対談・同時代から⑯

●塾と学校に何が可能か

●はにかまない子供たち

●子どもの自殺

●カドバンたちのさんすう塾から

●moderato 77

●ポルトの夏

●教育過熱時代の子ども雑誌

●私は小鳥になりたかったのになぜ人間になっちゃったの？

●私の友達たち

●まちから まち かぜふけば

●凶像のフオークロア④

藤枝晃雄

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

長 新太

勝又 進

水木しげる

赤瀬川原平

岩本久則

久里洋二

滝田ゆう

北 杜夫×小野耕世

小菊米覗

藤枝晃雄

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

倉田 浩他

遠山 啓×遠藤豊吉

別役 実

佐野美津男

斎藤次郎

河西喜也

野上 暁

塚原雄太

羽仁未央

岡野南子

●観音図——または夢の凶像のこと

●現代美術断章——コンセプチュアル以後④

●パフォーマンス「4」

●映像月評

●われらの外なるニッポン

●アメリカ混成文化の旅④

●“連帯”への技術と能力

\*表四 インド①

### 五月号 通巻二三一号●特集II 本の周辺

\*表紙

●座談会

●本の周辺——見ることと読むこと

●石の本、紙の本、電気の本

●パノラマと『舞姫』

●moderato 77

●祭のあと

●収集の弁証法

●書物は生き残れるか？

●凶像のフオークロア⑤

●スフィンクス——または再び夢の凶像のこと

●現代美術断章——コンセプチュアル以後⑤

●平面「1」

●映像月評

●一九七七年現在からの旅

●アメリカ混成文化の旅⑤

●見えない街

\*表四 インド②

### 六月号 通巻二三二号●特集II 迷路・影

\*表紙

●対談 迷路空間——解きたいものをめぐって

●都市の猟犬たち

●都市の犯罪(あるいは光と影)

●ギリシア神話と迷宮

●moderato 77

●悪夢

●迷路としての地獄

●トポロジー空間と現代社会——歴史的ながめ

●地下室あるいは馬

●対談・同時代から⑰

小菊米覗

藤枝晃雄

松田政男

粉川哲夫

黒田康夫

上矢 津

種村季弘×大輪盛登×野崎 茂

多木浩二

前田 愛

英 隆

久保 覚

中平卓馬

小菊米覗

藤枝晃雄

松田政男

粉川哲夫

黒田康夫

吉田克朗

中村雄二郎×多木浩二

海野 弘

秋山 駿

高橋英夫

田中長徳

松山俊太郎

野口 広

河合隼雄

都市・夢・迷路

● 凶像のフォークロア⑥

ミノスの牡牛——または迷宮の意味のこと

● 映像月評

神と獣のあいだで

● アメリカ混成文化の旅⑥

ニューヨーク火事場顛末記

\*表四 インド③

赤瀬川原平×宮内 康

小芥米暁

松田政男

粉川哲夫

黒田康夫

七月号 通卷一三三三号◎特集Ⅱ崔承喜

\*表紙

● 対談

崔承喜——アジア的なものをめぐって

少年期のタブ——朝鮮人の象徴

「半島」の舞姫

母の母のそのまた母の

無援の女のエネルギー

● moderato 77

サーカス

自分史の中の崔承喜

朝鮮の民衆文化と崔承喜

古い新聞広告の切り抜きから

● 凶像のフォークロア⑦

地獄変——または他者の世界のこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑥

平面「2」

● 映像月評

世界を変動させてひろがるコドモ意識の地下茎

● アメリカ混成文化の旅⑦

クレイジー・ニューヨーク

\*表四 道

光吉夏弥×尾崎宏次

村松武司

久保 覚

高嶋雄三郎

李 礼仙

飯田 鉄

金 達寿

曹 龍達

津野海太郎

小芥米暁

藤枝晃雄

岡本 博

粉川哲夫

渡辺 眸

八月号 通卷一三四四号◎特集Ⅱニューヨーク・グラフィティ

\*表紙「ソーホーの画廊で」

● 対談・同時代から⑱

「サムシング・ニュー」の町

ペインテッド・ニューヨーク

ニューヨークで落書きが目についたとき

● moderato 77

虹色のくに

摩天楼の谷間から

ニューヨーク、あるいは表層的世界の想像力について

粉川哲夫×坂本正治

川崎真理

植草甚一

田村彰英

戸村 浩

真壁智治

● 映像月評

世界を変動させてひろがるコドモ意識の地下茎

● アメリカ混成文化の旅⑦

クレイジー・ニューヨーク

\*表四 道

● moderato 77

虹色のくに

摩天楼の谷間から

ニューヨーク、あるいは表層的世界の想像力について

● 凶像のフォークロア⑧

死の舞踏——または民衆のタナトマニアのこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑦

平面「3」

● 映像月評

「あんたの戦争とオレの戦争は目的がちがうんだ」

● メイド・イン・ニューヨーク①

デ・ニーロとニューヨークっ子

\*表四 浅草

九月号 通卷一三五五号◎特集Ⅱ酒

\*表紙

● 対談

酒呑みの哲学的考察

● 凶像のフォークロア⑨

愚者の船——または祝祭のアレゴリーのこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑧

平面④

● 映像月評

ビッグ・ストーリーへの期待

● メイド・イン・ニューヨーク②

ロフトと日本人

\*表四 宗右衛門町

● moderato 77

ミラノの幻影

コレククションに見る反ノアの原則——ハプスブルグから角砂糖まで

● 対談・同時代から⑲

酒呑みの哲学的考察

● 凶像のフォークロア⑨

愚者の船——または祝祭のアレゴリーのこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑧

平面④

● 映像月評

ビッグ・ストーリーへの期待

● メイド・イン・ニューヨーク②

ロフトと日本人

\*表四 宗右衛門町

● moderato 77

ミラノの幻影

コレククションに見る反ノアの原則——ハプスブルグから角砂糖まで

● 対談・同時代から⑲

酒呑みの哲学的考察

● 凶像のフォークロア⑨

愚者の船——または祝祭のアレゴリーのこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑧

平面④

福田定良×嵐山光三郎

小芥米暁

藤枝晃雄

岡本 博

村上むつ子

児玉房子

北井一夫

安永寿延

野添憲治

田村隆一

阿奈井文彦

山崎昌夫

大崎紀夫

小芥米暁

藤枝晃雄

岡本 博

村上むつ子

児玉房子

木村恒久

福島 章

由良君美

好村富士彦

川本三郎

中川道夫

谷川晃一

収集ほど素敵なショーモーはない——あるいは小児的性器いじりとコレクションの關係

● 凶像のフォークロア⑩

● 謝肉祭と四旬節の戦い——または「さかさまの世界」のこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑨

● 平面「5」

● 映像月評

● ノスタルジイの構造

● メイド・イン・ニューヨーク③

● 当世アメリカ若者氣質

● 表四 三沢郊外

坂崎重盛

小芥米暁

藤枝晃雄

稲川方人

村上むつ子

児玉房子

東 君平

小林信彦×山田宏一

編集部

高平哲郎

関根 弘

山根貞男

上野昂志

田代竜一

佐藤 信

山田洋次×岡本 博

小芥米暁

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑩

● ドローイング

● 映像月評

● スペクタクルの欠如

● メイド・イン・ニューヨーク④

● 表四 ドリームランド

藤枝晃雄

稲川方人

村上むつ子

児玉房子

浅井慎平

田村紀雄×中井ひろ子×久保博子

小泉卓史

中谷倫人

斎藤康恵

藤竹 暁

山口文憲

築地 仁

中平邦彦

大橋一範

小芥米暁

藤枝晃雄

稲川方人

児玉房子

# 1978

一月号 通卷一三九号◎特集Ⅱ科学は何処へ？

● 表紙

● 対談・同時代から②

● 科学と精神

● 風車の論理

● 遊びと科学技術

● 科学技術と人間——情報工学の立場から

● catch 78

● メディテーション

堀内正和

野間 宏×岩井 寛

中山 茂

奥野健男

坂井利之

田中長徳

● 技術革新はヒトを食う

● 「どうして？」を超えて

● 科学と想像力

● 凶像のフォークロア⑬

● 歌舞伎の限取——またはもうひとつの自我のこと

● 都市の神話学——一九二〇年代の影①

● ハリウッドになぜ探偵が多いか

● グラフィケーション・アベニュー

● 子どもの眼

鎌田 慧

大西 赤人

堀源 一郎

小芥米暁

海野 弘

今江祥智

## 十一月号 通卷一三七号◎特集Ⅱ日本の喜劇映画

● 表紙

● 対談

● 喜劇映画の系譜——エノケンから寅さんまで

● 日本の喜劇映画略年譜

● ぼくらの喜劇

● ファルスの精神

● 喜劇映画にみる収束の論理

● 自然「性」を犯すもの——ポルノ映画の笑い

● moderato 77

● ああ、サクラ！

● コメディアン、いない

● 対談・同時代から②

● 笑いとは批評精神

● 凶像のフォークロア⑪

● 豊国祭礼図——または合戦とのアナロジーのこと

東 君平

小林信彦×山田宏一

編集部

高平哲郎

関根 弘

山根貞男

上野昂志

田代竜一

佐藤 信

山田洋次×岡本 博

小芥米暁

## 十二月号 通卷一三八号◎特集Ⅱタウン誌

● 表紙

● 座談会

● タウン誌のエネルギー

● ミニコミ文化の盛衰とタウン誌

● 東京の人よさようなら——京都より愛をこめて

● 津軽の風土の中で

● 噂と界限の回復

● 「ぴあ」は七色に塗られて……——カタログ文化批判

● moderato 77

● 海辺から

● 関西のタウン誌と若者

● 市民生活の新しい担い手、タウン誌

● 凶像のフォークロア⑫

● 洛中洛外図——または都市の「自画像」のこと

● 現代美術断章——コンセプトチュアル以後⑪

● 物体と平面

● 映像月評

● 編纂者の意図こえる写真——「日本現代写真史一九四五—七〇」

● 表四 神戸・元町

田村紀雄×中井ひろ子×久保博子

小泉卓史

中谷倫人

斎藤康恵

藤竹 暁

山口文憲

築地 仁

中平邦彦

大橋一範

小芥米暁

藤枝晃雄

稲川方人

児玉房子

- 香港逍遙記①  
“慕情”の島
- \*表四 赤のイメージ①

山口文憲  
普後 均

- 香港逍遙記③  
借りものの名前
- \*表四 赤のイメージ③

山口文憲  
普後 均

## 二月号 通巻一四〇号◎特集Ⅱものの移動と文化交流

### \*表紙

- 対談・同時代から⑳

李 禹煥

### 国際化と土着

鶴見良行×見田宗介

### 異文化の中の生活感覚

青木 保

### 百戯の道——シルクロードとサーカス

久保 覚

### モンゴル人とのつきあいから——もう一つのビジネス・コミュニケーション

守 誠

### ●catch 78

### 異国の花

大村次郷

### 通商の道・文化の道

長澤和俊

### タマゴ石と石子順造——タマシイのシルクロードをとおって

室 謙二

### ●凶像のフオークロア⑭

小菟米暁

### ●花下美人図——または浮世絵の世界感覚のこと

海野 弘

### ●都市の神話学——一九二〇年代の影②

今江祥智

### ●カリフォルニアの鉄はおいしいか

今江祥智

### ●グラフィケーション・アベニュー

今江祥智

### ●立ち場の問題

今江祥智

### ●香港逍遙記②

山口文憲

### \*表四 “彩色電視”屋で

山口文憲

### \*表四 赤のイメージ②

普後 均

## 三月号 通巻一四二号◎特集Ⅱ複製文化の現在

### \*表紙

### ●座談会

山田宗睦×今野 勉×野崎 茂

### ●コピー・文明・人間

戸井田道三

### ●うつるに随伴する何か

吉田夏彦

### ●複製をめぐって

吉田夏彦

### ●catch 78

今江祥智

### ●カラー・マインド

今江祥智

### ●複製の精神病理

今江祥智

### ●“まじめ”な複製と“ふまじめ”な複製

今江祥智

### ●凶像のフオークロア⑮

今江祥智

### ●絵馬——または忘れられた文化の痕跡のこと

今江祥智

### ●都市の神話学——一九二〇年代の影③

今江祥智

### ●さらばチャイナタウン

今江祥智

### ●グラフィケーション・アベニュー

今江祥智

### ●子どもがいる風景

今江祥智

## 四月号 通巻一四二号◎特集Ⅱことばと身振り

### \*表紙

- 対談・同時代から⑳

堀 浩哉

### ●身振りと文明

中村雄二郎×小泉文夫

### ●思想としての風俗と身振り語

石川弘義

### ●日本語と身振り

田中克彦

### ●都市・空間・身振り

多木浩二

### ●catch 78

普後 均

### ●遊泳

普後 均

### ●身振りとことば——感受と親和力との間で

つるまぎさちこ

### ●ことば・肉體・芸・作者

廣末 保

### ●凶像のフオークロア⑮

小菟米暁

### ●南部首曆——または生活史の断層のこと

海野 弘

### ●都市の神話学——一九二〇年代の影④

今江祥智

### ●カポネのキャデラックきたる

今江祥智

### ●グラフィケーション・アベニュー

今江祥智

### ●“絵本もどき”の愉しみ

今江祥智

### ●香港逍遙記④

山口文憲

### ●日本語と広東語

山口文憲

### \*表四 海岸に似せる

田村彰英

## 五月号 通巻一四三号◎特集Ⅱ親と子

### \*表紙

- 対談・同時代から⑳

長 新太

### ●父親を語る

青木雨彦×樋口恵子

### ●日本人の親子関係——核家族化によって失ったもの

河合隼雄

### ●子どもの自殺について

平田武靖

### ●浮浪の父か、定着のパパか

佐野美津男

### ●catch 78

今江祥智

### ●海へ

今江祥智

### ●太宰治と「義」の精神

今江祥智

### ●見えない父親

今江祥智

### ●ゼログラフィの冒険①

今江祥智

### ●カメラとゼロックスによるダイレクト・プリントフォトまたは、

近眼の複

### ●写機と遠視のレンズ

山崎 博

### ●鏡の国

今江祥智

### ●百貨店の愉しみ

今江祥智

### ●都市の神話学——一九二〇年代の影⑤

今江祥智

- 踊るタキシードを見たか
- グラフィケーション・アベニュー
- ワルシャワの記憶
- ニムオロだより①
- 雷シギの鳴く頃
- \*表四 草に似せる

海野 弘  
神山圭介  
高田 勝  
田村彰英

## 六月号 通巻一四四号◎特集Ⅱ教えることと学ぶこと

### \*表紙

- インタビュー・時代を掘る
- 授業の可能性について
- プディングであるかどうかは食べてみなければわからない——寺子屋教室の七年

高松次郎

- 私の大学体験と自主講座
- 文学伝習所の思想

井上光晴

### ● catch 78

### 教室

ムラの教育法

個人と個人とがたがいにきたえ合う赤門塾の八年間

●ゼログラフィイの冒険②

ピラミッドの内部空間に何が起こったか

●鏡の国

装幀の「文体」

●都市の神話学——一九二〇年代の影⑥

ショーほどすてきなショー売はない

●グラフィケーション・アベニュー

●ニムオロだより②

●湿原

\*表四 水に似せる

戸村 浩  
今江祥智

海野 弘  
神山圭介

高田 勝  
田村彰英

## 七月号 通巻一四五号◎特集Ⅱ夢

### \*表紙

夢の想像力

再現された夢

三人姉妹のまなざし——賢治童話におけるエロスと夢

●対談・同時代から②⑥

●夢の棲む場所

● catch 78

●ガラス・夢

もう一つの「スター・ウォーズ」

川島敏生  
近藤純夫

黒井千次×鈴木志郎康

天沢退二郎

高橋英夫

宮本忠雄

梅田英俊

●ゼログラフィイの冒険③

「楽園に似せる」

●鏡の国

「夕鶴」のレイアウト

●都市の神話学——一九二〇年代の影⑦

今宵は宮殿にてムーヴィーを

●グラフィケーション・アベニュー

人間愛憎の影の部分を描く——映画『事件』

●ニムオロだより③

●シゲさんとヤマドリ

\*表四 暮色①

## 八月号 通巻一四六号◎特集Ⅱ伝えること [I]

### \*表紙

●対談・同時代から②⑦

戦争体験をどう伝えるか

絵本作家・八島太郎の世界

モデル・チェンジの思想について

● catch 78

記憶の「南」

親が子に伝えるもの

「つたえること」のこと

ヒロシマ 1945-1978

●ゼログラフィイの冒険④

●押し葉とコピー

●鏡の国

●映画漫歩

●都市の神話学——一九二〇年代の影⑧

翔べ、鳩よ、ギャングの友よ

●グラフィケーション・アベニュー

●自主映画の現在

●ニムオロだより④

\*表四 暮色②

\*表四 暮色②

## 九月号 通巻一四七号◎特集Ⅱ伝えること [II]

### \*表紙

「うつる」と「伝える」

職人の技術教育

四阿から歌が聞えてきた

現代における商人文化の伝承

草花遊びの伝承

田村彰英

今江祥智

海野 弘

神山圭介

高田 勝

英 隆

梶山俊夫

澤地久枝×山中 恒

藤本祐子

井出孫六

島尾伸三

大田昌秀

国分太郎

土田ヒロミ

野中ユリ

今江祥智

海野 弘

柳町光男

高田 勝

英 隆

菅木志雄

戸井田道三

且原純夫

大村次郷

大野 力

邊見泰子

● catch 78

海路

● 対談・同時代から⑳

● 民話の思想

● ゼログラフィーの冒険⑤

● 流れる時間を断ち切って

● 鏡の国

● 映画雑誌散歩

● 都市の神話学——一九二〇年代の影⑨

● ベッシー、黒い病院はもうすぐだ

● グラフイケーション・アベニュー

● 素材としてのリアリティー

● ニムオロだより⑤

● 原野の首領・ハシブトガラス

● \*表四 暮色③

\*表紙

母なる水、母なる土

● アジア学の可能性

● バングラデシュの男の子の教育——村の事例

● 中国の若ものたち

● 対談・同時代から㉑

● アジア演劇の可能性

● catch 78

● 女船客

● 子どもたちはアジアで何を見たか

● Delinkage, Not Linkage

● ゼログラフィーの冒険⑥

● 日記としてのゼロックス

● 鏡の国

● 『トリゴラス』讃

● 都市の神話学——一九二〇年代の影⑩

● ころがつてく石ころみたいだ

● グラフイケーション・アベニュー

● 肉体の生理を通して語られるもの

● ニムオロだより⑥

● バード・ウオッチャーとバーダー

● \*表四 点景①

\*表紙

益田勝実×辺見じゅん

森 裕貴

今江祥智

海野 弘

柳町光男

高田 勝

英 隆

山崎 博

佐々木マキ

● 座談会

● 子どもの空間

● 百科事典、子どものための？

● 子どもに向かうものと場へ

● catch 78

● 宝島

● あやとり考

● 科学技術と遊び

● ゼログラフィーの冒険⑦

● 子供道

● 鏡の国

● できました！

● 都市の神話学——一九二〇年代の影⑪

● 娼婦よ赤い灯を消せ

● グラフイケーション・アベニュー

● カメラの向うの現実——テレビ的映画と映画のテレビ

● ニムオロだより⑦

● 白鳥

● \*表四 点景②

\*表紙

「若さを新しさへ」の模索——戦後のムラの変貌と若者の意識

● 宿の思想——緑のふるさとと若ものたち

● マツリの前に

● 歴史的援農から町づくりへ——「土とくらしの互助会」の六年

● 由布院だより——神様と契約した分だけつくろうという気の長い足跡

● catch 78

● あの夕陽

● 対談・同時代から⑳

● いま、ふるさととは——地方を考える

● ゼログラフィーの冒険⑧

● ゼロックスと写真機

● 鏡の国

● 外からの眺め

● 都市の神話学——一九二〇年代の影⑫

● アロハ、アメリカ！

● グラフイケーション・アベニュー

● 嗚呼！おまわりさん

● \*表四 点景③

村田栄一×大村虔一×志々目彰

津野海太郎

及部克人

黒田康夫

野口 広

鎮目恭夫

島尾伸三

今江祥智

海野 弘

上野昂志

高田 勝

山崎 博

# 1979

## 一月号 通巻一五二号◎特集Ⅱことばと想像力

### \*表紙

●対談・同時代から①  
かたりべ文化論

子ども語の行方

ことばと想像力

ことば・歌・身ぶり

●視座79

家族

話しことばのエネルギー

二つのことばの流れのなかに

悪口の効用——日本語の活性化のために

●ゼログラフィイの冒険⑨

コピイのマチエール

●ガリバーの飛行船

ほほえみの造形

●原っぱ文化論①

幻燈

●グラフィケーション・アベニュー

可愛がられて死ぬよりはまし

●ニューヨーク up & down①

マンハッタン無宿

\*表四 住処①

二村裕子

外山滋比古×川崎 洋

斎藤次郎

長谷川宏

東由多加

門田 修

田中克彦

李 銀子

星野 命

松本秋則

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

安土修三

灰谷健次郎

荒井 勉

名取弘文

福地幸造

白鳥邦夫

佐野美津男

永井 宏

遠藤豊吉×森下計二

森 真一

●ガリバーの飛行船

パック時代の教科書

●原っぱ文化論②

見世物

●グラフィケーション・アベニュー

同じドラマを作るなら……

●ニューヨーク up & down②

この街で安く暮らす方法

\*表四 住処②

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

鈴木康司

加賀乙彦×清水哲男

山田宗睦

別役 実

鎮目恭夫

田村彰英

原ひろ子

桂 小南

イルーシカ

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

吉田克朗

斎藤次郎

山根貞男

●ガリバーの飛行船

パック時代の教科書

●原っぱ文化論②

見世物

●グラフィケーション・アベニュー

同じドラマを作るなら……

●ニューヨーク up & down②

この街で安く暮らす方法

\*表四 住処②

## 三月号 通巻一五三号◎特集Ⅱしつけ

### \*表紙

●対談・同時代から③

現代若者論

「やさしさ」の仮面

現代の家族と「しつけ」

●わが「男の子育て」への反省

●視座79

たそがれ病・その後

しつけと「合力」

芸のしつけ

●ゼログラフィイの冒険⑩

回顧的でなく

●ガリバーの飛行船

李さんとの対話

●原っぱ文化論③

蓄音器とレコード

●グラフィケーション・アベニュー

物語としての「事件」

●ニューヨーク up & down③

サムワン・イズ・デッド

\*表四 住処③

## 四月号 通巻一五四号◎特集Ⅱアニメーション文化

### \*表紙

魔術から遠くはなれて

アニメが日本映画の頹廃を撃つ——アクションとしての映画の力

●対談・同時代から④

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

鈴木康司

加賀乙彦×清水哲男

山田宗睦

別役 実

鎮目恭夫

田村彰英

原ひろ子

桂 小南

イルーシカ

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

吉田克朗

斎藤次郎

山根貞男

加賀乙彦×清水哲男

山田宗睦

別役 実

鎮目恭夫

田村彰英

原ひろ子

桂 小南

イルーシカ

村田栄一

加太こうじ

上野昂志

粉川哲夫

門田 修

吉田克朗

斎藤次郎

山根貞男

アニメーション文化の現在  
新しい映画空間を求めて

●視座79

哀愁のニューヨーク

ブルックリン最終出口を求めた男——アニメ界の異端児ラルフ・バクシの挑戦

●ゼログラフィイの冒険⑫

アリス・イン・アニメランド

記憶

●ガリバーの飛行船

子どもの好きな場所

●原っぱ文化論④

芝居

●グラフィケーション・アベニュー

写真史書への興味

●ニューヨーク up & down④

石川弘義×小室加代子  
山下 宏

田辺幸雄

小野耕世

海野 弘

安土修三

村田栄一

加太こうじ

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

六月号 通巻一五八号◎特集Ⅱ個と集団  
\*表紙

●対談・同時代から③⑥

個と集団をめぐって

集団のためか自分のためか

「人の和」再考——その問題点と可能性

●視座79

寺院にて

男性文化と女性文化の間で…

ある学習サークルの話

町工場のうちそと

●ゼログラフィイの冒険⑭

サウンド・エフェクターとしてのカラーコピー

●ガリバーの飛行船

約束

●原っぱ文化論⑥

看板

●グラフィケーション・アベニュー

写し、写される双方のかなしき

●ニューヨーク up & down⑥

「存在の家」の子供たち

\*表紙 沖繩③

神島二郎×鶴見和子

日高敏隆

濱口恵俊

永橋和雄

副田義也

福田定良

小関智弘

永井 宏

村田栄一

加太こうじ

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

長 新太

神島二郎×鶴見和子

日高敏隆

濱口恵俊

永橋和雄

副田義也

福田定良

小関智弘

永井 宏

村田栄一

加太こうじ

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

七月号 通巻一五七号◎特集Ⅱ南島文化論  
\*表紙

●対談・同時代から③⑦

南島文化論

島の平和

うちなあんちゅの怒りと沈黙

ネソマニア考

●視座79

マーシャルの人とくらし

常世の島のヤソパッチ

レゲエを考えることはぼくたちの音楽の現状や行方を考えることだ

●原っぱ文化論⑦

花火

●ゼログラフィイの冒険⑮

一つの石の表面の展開とその立体模型

●ガリバーの飛行船

インベーターあらわる

●グラフィケーション・アベニュー

図按みを享楽する——下谷仁助っのださとしマエダヒオミ

島尾敏雄×辰濃和男

鈴木 均

知念正真

加藤秀俊

島田興生

今井美沙子

田川 律

加太こうじ

白岩登三靖

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

比嘉康雄

島尾敏雄×辰濃和男

鈴木 均

知念正真

加藤秀俊

島田興生

今井美沙子

田川 律

加太こうじ

白岩登三靖

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

田原桂一

前田 愛×多木浩二

小芥米暁

赤塚不二夫

イルーシカ

福島 章

村上陽一郎

加太こうじ

浜口行雄

村田栄一

柳本尚規

粉川哲夫

川島敏生

- ニューヨーク up & down⑦  
「汚れ」についての文化感覚

\*表紙 ACTION①

粉川哲夫  
Diego Blanco

八月号 通巻一五八号◎特集Ⅱ科学と芸術

\*表紙

巨大科学時代と対抗文化

● インタビュー

もう一つの音楽文化を求めて——科学技術と音楽

カシとナラ

科学を芸術化するイメージ

歩みよる二つの領域

● 視座79

非住空間

「偶然」の惑星

● 原っぱ文化論⑧

活動写真

● ゼログラフィーの冒険⑬

機械と仲良くする法

● ガリバーの飛行船

父の姿

● グラフィケーション・アベニュー

「アメリカン・ファイティ」が合言葉だった

● ニューヨーク up & down⑧

日本式入浴法

\*表紙 ACTION②

粉川哲夫  
Diego Blanco

九月号 通巻一五九号◎特集Ⅱ都市と犯罪

\*表紙

● 対談・同時代から⑳

テレビ時代の犯罪意識

都市と犯罪

江戸のアンダーワールド

憎悪と復讐のドラマ

● 視座79

ベルリンへの旅

ヒーローなんて知らないよ

文化と犯罪

● 原っぱ文化論⑨

チンドン屋

● ゼログラフィーの冒険⑰

群れの中で

上矢 津  
渡辺一衛

高橋悠治

山内恭彦

山野浩一

板根厳夫

山崎 博

Diego Blanco

加太こうじ

SARCHIN & Friends

村田栄一

榎本了彦

粉川哲夫

日和崎尊夫

秋山 駿×福島 章

小沢信男

俵 元昭

柳町光男

中川道夫

三橋 修

小田 晋

加太こうじ

普後 均

● ガリバーの飛行船

ロマネスクの回廊

● グラフィケーション・アベニュー

見ることの注意事項——木村恒久作品集『キムラカメラ』

● ニューヨーク up & down⑨

\*表紙 ACTION③

粉川哲夫  
Diego Blanco

十月号 通巻一六〇号◎特集Ⅱ神話と現代

\*表紙

伝承されるもの——ヒッタイト神話を追って

叙事詩のあけぼの——ギルガメシュ讃

● 視座79

トルコの吟遊詩人たち

● 対談・同時代から⑳

神話と現代

● ゼログラフィーの冒険⑱

出発

● ガリバーの飛行船

ファラオの視線

● 原っぱ文化論⑩

紙芝居

● グラフィケーション・アベニュー

根こぎにされた青年の孤独と鬱屈——柳町光男監督『一九歳の地図』

● ニューヨーク up & down⑩

ドヤ街のライフ・スタイル

\*表紙 パレスピア①

\*表紙 ACTION④

粉川哲夫  
小瀧達郎

十一月号 通巻一六一号◎特集Ⅱ地方の時代とテレビ

\*表紙

● 対談・同時代から④⑩

地方の時代とテレビ

地域メディアとしてのテレビは……——ローカルニュースのつくり方の変化を中心に

忘れられた島——沖繩からの報告

ローカルの現場から

● 視座79

寺泊あたり・冬

U局に何が可能か

U局の現在と未来

かそけき民の……

SARCHIN & Friends

木村豆介×鳥山 拓

野崎 茂

鈴木 均

徳山裕経

柳本尚規

萩原朔美

寺本一郎

磯野恭子

村田栄一

榎本了彦

粉川哲夫

Diego Blanco

大村次郷

大村幸弘

松永伍一

大村次郷

山田宗睦×小苺米暁

本田真吾

村田栄一

加太こうじ

松本健一

粉川哲夫

小瀧達郎

# 1980

●原っぱ文化論①  
立食い

●ゼログラフィイの冒険⑱

●ルビー色のセロファン・ゼリー

●ガリバーの飛行船

●大人になったら何をしたい？

●グラフィケーション・アベニュー

●一回かぎりの成功——クロード・ガニオン監督の『Keiko』

●ニューヨーク up & down⑩

●多様化するテレビ・ラジオ局

●表四 パレスピア②

## 十二月号 通巻一六二号◎特集Ⅱ柳宗悦

＊表紙

●対談・同時代から④

ウイリアム・モリスと柳宗悦

民俗と民芸の距離

「悲哀の美」論をめぐって

加太こうじ

田中ルミ

村田栄一

松本健一

粉川哲夫

小瀧達郎

藤本巧・平野甲賀

小野二郎×久保 覚

益田勝実

小林佑子

開かれた保守主義者——柳宗悦

●視座79

壺屋界限

フォーク・アートと民芸——柳宗悦ノート

手仕事と現代

●ゼログラフィイの冒険⑳

裏側の視点

●ガリバーの飛行船

●屈折力をもつた望遠鏡を

●原っぱ文化論⑫

大道芸

●グラフィケーション・アベニュー

「現代」を表現した秀作——東陽一監督『もう頼づえはつかない』

●ニューヨーク up & down⑫

●違反の領域

●表四 パレスピア③

幼方直吉

児玉房子

海野 弘

水尾比呂志

吉田克朗

村田栄一

加太こうじ

松本健一

粉川哲夫

小瀧達郎

## 一月号 通巻一六三号◎特集Ⅱ市の思想

＊表紙

●対談・同時代から⑫

市の思想

市の魅力

ロシア定期市のフォークロア

市と芸能

●PAN80

●女たちの朝

市とコミュニケーション

アビジャンのバナナ市場

●レッサーアートの栄光①

●トイ・ブックスの周辺——エドモンド・エヴァンズのこと

●ゼログラフィイの冒険⑫

●コピイは背にかぎる

●ガリバーの飛行船

●がくげいかいのはじまり

●夢の隣に住む人々①

山口さん夫婦

原 健

広末 保×網野善彦

岡部伊都子

坂内徳明

久保 覚

英 隆

北見俊夫

原口武彦

小野二郎

上矢 津

村田栄一

長谷川集平

●グラフィケーション・アベニュー  
鮮麗な火花に化けていた——寺島彰由「I——作品集」  
●ニューヨーク up & down⑬  
●本のスーパーマーケット  
●表四 薄明①

荒川洋治

粉川哲夫

柳本尚規

## 二月号 通巻一六四号◎特集Ⅱ翻訳文化論

＊表紙

●対談・同時代から⑬

●翻訳文化論

●日本語の国際性

●近代科学と翻訳

●翻訳機械をめぐって

●PAN80

●ルナティック・ランドスケープ

●民俗的イメージの構造——アウエハントの『鯨絵』の場合

●「フアック」の現象学——アメリカ語の言語的身ぶり

●レッサーアートの栄光②

●十九世紀の版画工房——W・J・リントンのことなど

ガール・レホーヴィッチ

小田島雄志×富岡多恵子

柳父 章

中山 茂

坂井利之

永田陽一

佐藤信夫

粉川哲夫

小野二郎

- ゼログラフィイの冒険<sup>22</sup>  
色彩の裏側・鏡の裏側
- ガリバーの飛行船  
管理を拒否する建築
- 夢の隣に住む人々<sup>2</sup>  
平川くん
- グラフィケーション・アベニュー  
見えない写真の構造——藤原新也『印度拾年』
- ニューヨーク up & down<sup>14</sup>  
つり銭のアメリカ
- \*表四 薄明<sup>2</sup>

中西夏之  
村田栄一  
長谷川集平  
荒川洋治

### 三月号 通卷一六五号◎特集IIグラフィズムの現在

#### \*表紙

- 本の野蛮状態のさきへ  
デザインはいかに状況とかわるか
- インタビュ

- 近代グラフィズムの軌跡  
パロディばかりが何故もてる——戦後ポスター史私的雑感
- 対談・同時代から<sup>44</sup>  
絵本はどこへ行くかとしてののか

- PAN80  
新中国式図画  
「現在」の標識
- 「マガジン」黄金時代の図解
- レッサールートの栄光<sup>3</sup>
- クレインの装飾性
- ゼログラフィイの冒険<sup>23</sup>  
文字
- ガリバーの飛行船  
トランプの力
- 夢の隣に住む人々<sup>3</sup>  
未知子ちゃん
- グラフィケーション・アベニュー  
あたたかな写眼——地方の同人芸誌から
- ニューヨーク up & down<sup>15</sup>  
大道芸人がつくる街
- \*表四 薄明<sup>3</sup>

長 新太×長谷川集平

戸村 浩  
津野海太郎  
平野甲賀

多川精一  
森 啓

中川道夫  
多木浩二  
野上 暁

小野二郎  
山崎 博

村田栄一

長谷川集平

荒川洋治  
粉川哲夫  
柳本尚規

児玉房子

- 韓国国歌・日本の歌  
鶴の翔ぶ日——一九八〇・韓国  
歌は我が語学教師  
恨みのうた・抵抗のうた
- PAN80  
遠くで汽笛が聞こえる……  
韓国ニュー・ミュージックの新しい風——ソン・チャンシクとキム・テゴン

三橋一夫×草野妙子

阿奈井文彦  
金 学鉉

児玉房子

吉岡 攻  
木村栄文

小野二郎

沖 啓介

村田栄一

長谷川集平

中野 収

粉川哲夫  
柳本尚規

本田真吾

### 五月号 通卷一六七号◎特集II家族論

#### \*表紙

- 対談・同時代から<sup>46</sup>  
家族は崩壊しているか  
ニュー・ファミリー以後——現代若ものの家族意識
- 「家族」は思想の基盤となりうるか  
夫婦の崩壊と家族への執着
- PAN80  
パリ郊外・私と他人たち  
性的自然の露出  
家族のいる風景
- レッサールートの栄光<sup>5</sup>
- ミュージック・ホールの誕生
- ゼログラフィイの冒険<sup>25</sup>  
ブクブク
- ガリバーの飛行船  
飛行船、ピット・イン
- 夢の隣に住む人々<sup>5</sup>  
相沢夫人

黒井千次×別役 実

石川弘義  
大島 渚  
荒川幾男

児玉房子

芹沢俊介  
上野昂志

小野二郎

吉田めぐ

村田栄一

長谷川集平

### 四月号 通卷一六六号◎特集II韓国歌謡論

#### \*表紙

- 対談・同時代から<sup>45</sup>

- グラフィケーション・アベニュー  
長時間ドラマのテレビ的表現とは何か
- ナイロビダより①  
ケニアの現実
- \*表四 アンチ・エレクトロニズム①

### 六月号 通巻二六八号◎特集Ⅱ家庭科

#### \*表紙

- 対談・同時代から④  
家庭科を考える
- 家政科から生活科学への脱皮
- 輪郭のない家庭科教育
- 家事は必要悪なのか

#### ● PAN80

廃墟より

子どもに木を削らすこと——教材としてのバードカービング

● レッサーアートの栄光⑥

● ミュージック・ホルルの天才 マリー・ロイド

● ゼログラフィーの冒険②⑥

● マチエールの魅力

● ガリバーの飛行船

● 自分の空

● 夢の隣に住む人々⑥

● ジュン

● グラフィケーション・アベニュー

● 媒体としての西田敏行

● ナイロビダより②

● 数珠玉教室から

\*表四 アンチ・エレクトロニズム②

中野 収  
日高博子  
松岡桂吉

下谷二助

名取弘文×田川 律

宇井 純  
子安美知子  
藤原房子

小瀧達郎

且原純夫

小野二郎

原 健

村田栄一

長谷川集平

中野 収

日高博子  
松岡桂吉

### 七月号 通巻二六九号◎特集Ⅱ新しい女たち

#### \*表紙

● 女たちの肖像

● 新しい女たち

● 女が女であること

● 「女たちの肖像」メモワール——一九八〇・パリ

● レッサーアートの栄光⑦

● ブロードサイド物語

● ゼログラフィーの冒険②⑦

● いけません「もう目がしみてきた」

● ゴリさんと子どもたち①

● 六年一組ゴロツキ一家・学級まつり

- 夢の隣に住む人々⑦
- 瀬田真理子さん
- グラフィケーション・アベニュー
- 呪われた戦争、呪われた友情
- ナイロビダより③

\*表四 アンチ・エレクトロニズム③

### 八月号 通巻二七〇号◎特集Ⅱ中高生はいま

#### \*表紙

- スタマティのクレイジー・ニューヨーク①
- カフェ・ファイブル・ファブル
- 対談・同時代から④⑧

● 甘えと反抗——現代若もの風俗考

● 鳥の勝手——脱学校の意識

● 中高校生の親としての「内向の世代」

● 集団管理体制下の中学生

● PAN80

● 日記から

● 出合いの渦——広場をめざす高校生たち

● 夢と現実のねじれの中で

● レッサーアートの栄光⑧

● チャップ・ブックの伝統

● ゼログラフィーの冒険②⑧

● 「蝶々女」に捧げる最後のロマンチックな詩

● 「ゴリさんと子どもたち」②

● 「教師はつらいよ」

● 夢の隣に住む人々⑧

● やつくん

● グラフィケーション・アベニュー

● 呪われた革命、呪われたヒーロー

● ナイロビダより④

● マダラカ・デー

\*表四 1980・パリ①

長谷川集平

松田政男

日高博子

松岡桂吉

松本 晏

粉川哲夫

福島 章×中野 収

佐々木賢

後藤明生

根本昌宥

柳本尚規

保坂展人

斎藤次郎

小野二郎

デイエゴ・ブロンコ

森下計二

長谷川集平

松田政男

日高博子

イルーシカ

### 九月号 通巻二七一号◎特集Ⅱ住い・広場・コミュニティ

#### \*表紙

● スタマティのクレイジー・ニューヨーク②

● 芸人をつくる街

● 対談・同時代から④⑨

● 広場をめぐる

● バルコン・広場・蝶

山田脩二

粉川哲夫

玉野井芳郎×庄幸司郎

米沢 慧

2DKはいかにして生まれたか——強いられた住居空間の軌跡  
周辺文化論

● PAN 80

日本村から

広場としてのテレビジョン

広場の周辺

● レッサーアートの栄光⑨

● 端物印刷物の世界

● ゼログラフイーの冒険⑳

パセリ

● ゴリさんと子どもたち③

● パロディ桃太郎

● 夢の隣に住む人々⑨

● リカばあちゃん

● グラフイケーション・アベニュー

● 呪われた怪獣、呪われた時代

● ナイロビだより⑤

● 厳しい進路の決定

● \*表四 1980・パリ②

### 十月号 通巻一七二号◎特集Ⅱからだと身体表現

\*表紙

● スタマテイのクレイジー・ニューヨーク③

● “ラジ・カセ”族の生態

● 対談・同時代から⑤⑩

● からだとところ

● “話体”は可能か

● インタビュー

● アール・ポップと身体

● 身体映像は数量化の傾向にある

● PAN 80

夏のなごり

● “スポーツ気分”をめぐる

● 子どもの身体表現と文化

● 借りものの音楽と身体表現

● レッサーアートの栄光⑩

● スタッフォードシヤ人形のユーモア

● ゼログラフイーの冒険⑳

● 紙婦人

● ゴリさんと子どもたち④

● はみだし移動教室

● 夢の隣に住む人々⑩

井出 建

山田脩二

山田脩二

山田脩二

粉川哲夫

海野 弘

小野二郎

松本 昶

松本 昶

森下計二

森下計二

長谷川集平

長谷川集平

松田政男

松田政男

日高博子

日高博子

イルーシカ

イルーシカ

サイトウマコト

粉川哲夫

粉川哲夫

岡庭 昇

岡庭 昇

谷川晃一

谷川晃一

鈴木志郎康

鈴木志郎康

田中栄一

田中栄一

室 謙二

室 謙二

山下恒男

山下恒男

田川 律

田川 律

小野二郎

小野二郎

伊藤佐智子

伊藤佐智子

森下計二

森下計二

浦桐鱒三氏

● グラフイケーション・アベニュー

● デザインの衰退を問う(1)

● ナイロビだより⑥

● ケニアの小学生

● \*表四 ワンダーランド①

長谷川集平

真壁智治

真壁智治

日高博子

日高博子

中川道夫

中川道夫

伊藤佐智子

伊藤佐智子

粉川哲夫

粉川哲夫

石川弘義×岩男寿美子

多木浩二

多木浩二

日高六郎

尾辻克彦

尾辻克彦

犬田 充

犬田 充

米沢 慧

米沢 慧

小野二郎

小野二郎

ロマン・スロコンベ

森下計二

森下計二

長谷川集平

長谷川集平

真壁智治

真壁智治

日高博子

日高博子

中川道夫

中川道夫

G・ウイリアムス

粉川哲夫

藤竹 暁×村田栄一

郷 静子

桑原甲子雄

大谷 勲

荒木経惟

# 1981

- PAN 80  
ポストカード  
張家の記念写真  
毛沢東との記念写真
- レッサーアートの栄光<sup>12</sup>  
リンデイスフアーン福音書——彩飾写本の原型(1)  
ドラ・マールの肖像
- ゼログラフィーの冒険<sup>32</sup>
- G・ウイリアムス  
張世一  
井出孫六  
小野二郎
- リシャール・ブルノー

- ゴリさんと子どもたち<sup>6</sup>  
生いたちの記
- 夢の隣に住む人々<sup>12</sup>  
源さん
- グラフイケーション・アベニュー  
デザインの衰退を問う(3)
- \*表四 ワンダーランド<sup>3</sup>
- 森下計二  
長谷川集平  
真壁智治  
中川道夫

## 一月号 通巻一七五号◎特集II宗教

### \*表紙

- スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>6</sup>  
断絶としてのセックス
- 対談・同時代から<sup>53</sup>  
不合理ゆえに我信ず  
科学的「寛容の書簡」  
擬似宗教現象の中の若者たち  
いま、なぜ宗教なのか

- 桑山忠明  
粉川哲夫

### ● nueva 81

熱風・女たちの街

現代に生きる親鸞

祖霊と母の権威——沖繩の信仰形態と家族

宗教と教育——子ども観をめぐって

● レッサーアートの栄光<sup>13</sup>

● 彩飾文字——エディトリアル・デザインの原点

● ゼログラフィーの冒険<sup>33</sup>

● Y氏とM氏とO氏の座談

● ゴリさんと子どもたち<sup>7</sup>

● 流産ごっこ

● 夢の隣に住む人々<sup>13</sup>

● グラフイケーション・アベニュー

● テレビの風景(1)

● ナイロビだより<sup>8</sup>

● 日本人の子らコンザ小学校を訪問

\*表四 感度25の風景<sup>1</sup>

- 長谷川集平  
鳥山 拓  
日高博子  
田村彰英

## 二月号 通巻一七六号◎特集IIアトリエの子どもたち

### \*表紙

- スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>7</sup>  
ホイツスル  
落書き教室から
- レッサーアートの栄光<sup>14</sup>  
カリカチュアとイラストレーションの間——ジョージ・クルックシャンクのこと
- ゼログラフィーの冒険<sup>34</sup>  
色見本帖の背中
- ゴリさんと子どもたち<sup>8</sup>  
おとな告発かるた
- 夢の隣に住む人々<sup>14</sup>  
谷ちゃん
- グラフイケーション・アベニュー
- テレビの風景(2)
- ナイロビだより<sup>9</sup>
- インターナショナルスクール訪問
- \*表四 感度25の風景<sup>2</sup>

- ぎべまきと  
粉川哲夫  
梅田英俊

## 三月号 通巻一七七号◎特集II子どもの深層

### \*表紙

- スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>8</sup>  
祭りの演出者たち
- 対談・同時代から<sup>54</sup>  
子どもとは何か  
子どもと差別意識  
子どもにとって自然とは何か  
「笑い」とその「生活感覚」

- 長 新太  
粉川哲夫

なだいなだ×佐野美津男

山下恒男

斎藤次郎

別役 実

### ● nueva 81

アルファベットの街  
人間関係を育むもの  
性はきたないか?——不純異性交遊の周辺

● レッサーアートの栄光<sup>15</sup>  
イギリス大衆漫画事始

● ゼログラフィーの冒険<sup>35</sup>  
ゴリさんと子どもたち<sup>9</sup>

● バレントイン賛歌  
夢の隣に住む人々<sup>15</sup>

● 田島のばあさん  
グラフィケーション・アベニュー

● テレビの風景(3)  
ナイロビだより<sup>10</sup>

● ピーターとポール、ナイロビに行く  
\*表四 感度25の風景<sup>3</sup>

### 四月号 通巻一七八号◎特集II 家族とは何か

\*表紙

● スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>9</sup>  
ロッキー・ホラー・シヨ

● 対談・同時代から<sup>55</sup>  
テレビドラマの中の家族像

● 密室の中の親と子  
心の家族  
ファミリーの解体と支配  
生命科学と家族革命

● nueva 81  
漂流民・バジャウの結婚式で  
新しい家族関係——アメリカ離婚事情  
家族という価値

● レッサーアートの栄光<sup>16</sup>  
ベーコン・エッグの背景

● ゼログラフィーの冒険<sup>36</sup>  
「電気版画」

● ゴリさんと子どもたち<sup>10</sup>  
なぜ、赤飯炊くの

● 夢の隣に住む人々<sup>16</sup>  
女の子と男の子

● グラフィケーション・アベニュー  
写真の辺境(1)——限りなくタダに近いイメージ  
ナイロビだより<sup>11</sup>

● 若い学者のタマゴたち

安土修三  
岩井 寛  
吉岡 忍

小野二郎  
イルーシカ

森下計二

長谷川集平

鳥山 拓

日高博子  
田村彰英

堀 浩哉

粉川哲夫

向田邦子×藤久ミネ  
安永寿延  
阿部 昭  
粉川哲夫  
鎮目恭夫

門田 修  
岩男寿美子  
杉山光信

小野二郎

下谷二助

森下計二

長谷川集平

小野雄一

日高博子

\*表四 感度25の風景<sup>4</sup>

### 五月号 通巻一七九号◎特集II ことば感覚

\*表紙

● スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>10</sup>  
競争社会に生きる

● 対談・同時代から<sup>56</sup>  
現代人のことば感覚  
翻訳文化の中のことば  
男ことば・女ことば  
機械語と自然語

● nueva 81  
祭りの日

● ホーホケキョ——流行語の曲り角  
生活語としての方言  
写真と語り

● ケニアの子どもたちの言語生活  
ゼログラフィーの冒険<sup>37</sup>  
オリジナルとコピー

● ゴリさんと子どもたち<sup>11</sup>  
替え歌「ふるさと」

● グラフィケーション・アベニュー  
写真の辺境(2)——色のついた記憶  
上海晃々悠々<sup>1</sup>  
上海結婚事情

\*表四 感度25の風景<sup>5</sup>

### 六月号 通巻一八〇号◎特集II 食事文化の現在

\*表紙

● スタマティのクレイジー・ニューヨーク<sup>11</sup>  
タイムズ・スクウェア フラヌールのいない街

● 対談・同時代から<sup>57</sup>  
食物と想像力  
ホンモノ・ニセモノの料理文化  
食の国際化と味覚  
私小説「パンと米」

● nueva 81  
熱い道

● “料理は科学である”——パテ屋の九年  
レジャーとしての食事  
ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な<sup>1</sup>  
こどもつぼさの文化

種村季弘×高山英男  
江原 恵  
大塚 滋  
杉浦明平

粉川哲夫

大村次郷  
林のり子  
藤竹 暁

福田定良

菅木志雄  
粉川哲夫

柳父 章×荒川洋治  
外山滋比古  
寿岳章子  
和田英一

小瀧達郎  
山本 明  
野添憲治  
柳本尚規  
日高博子  
鈴木慶則  
森下計二  
小野雄一  
平島成夫  
田村彰英

- ゼログラフイーの冒険<sup>38</sup>
- キネティック・アートのように
- ゴリさんと子どもたち<sup>12</sup>
- なんとなくパロッテル
- 佐保利流数学巷談<sup>1</sup>
- 解けないから謎
- グラフィケーション・アベニュー
- 写真の辺境(3)——写真よ眠れ
- 上海晃々悠々<sup>2</sup>
- 淮劇をめぐる二つの眼差し
- 表四 感度25の風景<sup>6</sup>

七月号 通巻一八一号◎特集Ⅱ住まい

- 表紙
- スタマテイのクレイジー・ニューヨーク<sup>12</sup>
- ステップ!ステップ!
- 対談・同時代から<sup>58</sup>
- 日本人と住まい
- 住居か倉庫か?
- 中流意識と住宅
- 暮し方の中の「近代」
- 社会に連鎖して住むことへの契機
- nueva 81
- 雪に似せる
- ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な<sup>2</sup>
- サムライ・デモクラシー
- ゼログラフイーの冒険<sup>39</sup>
- 漆黒の色調を求めて
- ゴリさんと子どもたち<sup>13</sup>
- 子どもそつちのけ家庭訪問
- 佐保利流数学巷談<sup>2</sup>
- 教育に時効を
- グラフィケーション・アベニュー
- 絵本未満(1)
- 上海晃々悠々<sup>3</sup>
- 小朱騒動顛末記
- 表四 漂う・都市<sup>1</sup>

二村裕子  
森下計二  
森 毅  
小野雄一  
平島成夫  
田村彰英  
二村裕子  
粉川哲夫  
秋岡芳夫×日下公人  
加藤秀俊  
岸本重陳  
柏木 博  
松山 巖  
田村彰英  
福田定良  
高橋雅之  
森下計二  
森 毅  
長谷川集平  
平島成夫  
谷口 雅  
川俣 正  
粉川哲夫

- 対談・同時代から<sup>59</sup>
- ものづくりの哲学は何処へ
- コンピュータ社会と労働
- 熟年・仕事・生きがい
- 感覚人間と理屈人間
- 転職考——私的モノローグをまじえて
- nueva 81
- スカイウエイ
- 若ものたちの労働観
- 「夢多き女たち」の職業意識
- ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な<sup>3</sup>
- 「日本人つて、いやね」
- ゼログラフイーの冒険<sup>40</sup>
- 一九九一年の日本人の肖像
- ゴリさんと子どもたち<sup>14</sup>
- 野性派教師
- 佐保利流数学巷談<sup>3</sup>
- ブタへの義理だて
- グラフィケーション・アベニュー
- 絵本未満(2)
- 上海晃々悠々<sup>4</sup>
- 小徐の結婚式
- 表四 漂う・都市<sup>2</sup>

九月号 通巻一八三号◎特集Ⅱ喫茶店文化

- 表紙
- スタマテイのクレイジー・ニューヨーク<sup>14</sup>
- つり革と南京錠
- 対談・同時代から<sup>60</sup>
- 文学カフェの周辺
- 第三空間としての喫茶店
- 喫茶店の系譜——カフェ・ハネ、茶館、チャイ・ハナ
- 茶屋へ行けばその町の鼓動が聞こえる
- nueva 81
- 過ぎた日
- 東京における「水茶屋・ミルクホール・喫茶店」
- 「窓際」でもいい、その微笑みあれば……
- 寄せては返す波をながめつつけるようにジャズ喫茶のシートに坐りつづけていた
- ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な<sup>4</sup>
- 快樂主義の哲学
- ゼログラフイーの冒険<sup>41</sup>

小関智弘×内橋克人  
吉田夏彦  
磯村英一  
グレゴリー・クラーク  
加藤尚文  
森 真一  
池田信一  
小室加代子  
福田定良  
濱口行雄  
森下計二  
森 毅  
長谷川集平  
平島成夫  
谷口 雅  
柴田 誠  
粉川哲夫  
菊盛英夫×粉川哲夫  
荒川幾男  
松原正毅  
大村次郷  
高田英子  
加太こうじ  
小関三平  
坂崎重盛  
福田定良

液体の氾濫

●ゴリさんと子どもたち<sup>15</sup>

給食と飽食

●佐保利流数学巷談<sup>4</sup>

スレスレの思想

●グラフィケーション・アベニュー

●絵本未満(3)

●上海晃々悠々<sup>5</sup>

大陸の夏

\*表四 漂う・都市<sup>3</sup>

牛腸茂雄

森下計二

森 毅

長谷川集平

平島成夫

谷口 雅

一原有徳

粉川哲夫

津野海太郎×吉岡 忍

紀田順一郎

室 謙二

かわなかのぶひろ

長谷川集平

福田定良

ナムーラ・ミチヨ

森下計二

森 毅

平島成夫

小瀧達郎

湯村輝彦

粉川哲夫

廣末 保×宮田 登

笹川 巖

阿部謹也

柴田南雄

●nueva 81

ヴァレージの皮膚感覚

現代人の休日にもみる退行と創造

人生を二度生きたる

●ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な<sup>6</sup>

宗論

●ゼログラフィイの冒険<sup>43</sup>

コピイは、ハリボテであるということ

●ゴリさんと子どもたち<sup>17</sup>

よい子、悪い子、ふつうの子

●佐保利流数学巷談<sup>6</sup>

道の渡り方

●グラフィケーション・アベニュー

映画的日本

●上海晃々悠々<sup>7</sup>

日本人たちの上海

\*表四 広場の午后<sup>2</sup>

安齋重男

宮本忠雄

村田栄一

福田定良

川俣 正

森下計二

森 毅

小山正純

平島成夫

小瀧達郎

木村恒久

粉川哲夫

木村恒久

粉川哲夫

●上海晃々悠々⑧  
混沌の底に……

平島成夫

\*表四 広場の午後③

小瀧達郎

# 1982

## 一月号 通巻一八七号◎特集Ⅱパフォーマンス

\*表紙

●インタビュ―

美術と演劇の間で……

パフォーマンスの現象学

〈汎リズム論〉へ——パフォーマンス考

新しい認識と解釈の武器——ヴィデオ・パフォーマンス

●ATLAS 82

greening

パフォーマンス——脱領域の試み

パフォーマンス／脱パフォーマンス

●ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な⑧

ピエロの条件

●ゼログラフィ―の冒険④⑤

ゼロックス・カラー・コピアとの出会い

●ゴリさんと子どもたち⑩

ピンク度一〇〇%ゴリちゃんマン

●佐保利流数学巷談⑧

死に体の共通一次

●グラフィケーション・アベニュー

●ジャパネスクな風景(1)

●上海晃々悠々⑨

●学生たちの憂鬱

\*表四 リフレクション①

山崎 博

ロバート・ウイルソン

粉川哲夫

中村雄二郎

山本圭吾

山崎 博

市川 雅

藤枝晃雄

福田定良

根本寿幸

森下計二

森 毅

森 毅

柏木 博

平島成夫

谷内仙司

## 二月号 通巻一八八号◎特集Ⅱアジアの漫画

\*表紙

連環画の情念と人民日報漫画増刊の諷刺——現代中国漫画事情

「三毛流浪記」より

開かれたテキストとしての漫画——「三毛流浪記」のこと

●韓国のマンガ——コバウおじさん以前・以後

●タイの旅から

「カンボン・ボーイ」「タウン・ボーイ」より

●ラットのこと

小野耕生

張 楽平

上野昂志

鶴園 裕

平野甲賀

ラット

荻島早苗

●ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な⑨

●哲学のモト・文化のモト

●ゼログラフィ―の冒険④⑥

●元気な一人の青年がオレンジ・ジュースを飲んでいる

●ゴリさんと子どもたち⑩

●チビッコばるちざん

●佐保利流数学巷談⑨

●平和のおそろしさ

●グラフィケーション・アベニュー

●ジャパネスクな風景(2)

●上海晃々悠々⑩

●監獄訪問記

福田定良

駿東 宏

森下計二

森 毅

森 毅

柏木 博

平島成夫

谷内仙司

児玉房子

児玉房子

竹内常一×阿部 進×及部克人

児玉房子

児玉房子

児玉房子

福田定良

木村恒久

平野公子

森 毅

森 毅

柏木 博

平島成夫

谷内仙司

三月号 通巻一八九号◎特集Ⅱ子どもの広場

\*表紙

●鼎談・同時代から⑬

●子どもの広場はどこに

●グラフィ―

●とびだせ！子どもたち

●「学校化」社会の中で

●ナンテツガクのすすめ——落語的な、あまりに落語的な⑩

●面白半分

●ゼログラフィ―の冒険④⑦

●二〇年代のデザイン感覚

●げんこつよりあめ玉

●不安と無気力

●グラフィケーション・アベニュー

平野甲賀

張 楽平

上野昂志

鶴園 裕

平野甲賀

ラット

荻島早苗

小野耕生

張 楽平

上野昂志

鶴園 裕

平野甲賀

ラット

荻島早苗

張 楽平

上野昂志

鶴園 裕

平野甲賀

# 【隔月刊に変更】

## 六月号 通巻一九〇号◎特集Ⅱモデル・模型

### ＊表紙

技術開発における相似模型と創造力

●対談・技術と人間①

先端技術と模型思考

モデル論

天体と模型

「細工は流々、仕上げはごろうじろ」

現代美術と模型

模型の哲学

●ATLAS 82

フラッシング

四種の地下街模型

子どもにとつての模型と原型

「もの」にすぎない物体の意味について

当たりをつけると一挙に見える

●ひぐらし帖①

映画会

●佐保利流数学巷談①

コンピュータピアの悪夢

●アジア・グラフィティ①

ポスター——そのピラの女たちとは、聖なる時の中で出会った。

●仕事の道・技術の道①

町工場の磁界

●空間劇場①

火の空間

●グラフィケーション・アベニュー

「映画」歴史を見る眼——アンジェイ・ワイダ 「鉄の男」

「本」「小さいものの文化」を探る試み——故・瀬田貞二氏の仕事

●やぶにらみテクノ世間噺①

ロボットはどこまで人間に忠実か？

＊表四

エーリッヒ・ハルトマン

江守一郎

石井威望×村上陽一郎

吉川弘之

堀源一郎

新宮 晋

中原佑介

宇波 彰

佐々木光

岩成達也

野上 暁

安土修三

川俣 正

岩田健三郎

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

大村次郷

小関智弘

小関智弘

海野 弘

物性科学における「超」の現在  
粉体工学入門——ミクロの構築技術が超高性能と精度を創出する  
ミクロ極限技術と人間  
動物の超能力を「超」えるもの  
華嚴経の宇宙

LIGHT FLOWER

●ATLAS 82

ニューヨーク・ノクターン

「超」と「スーパード」の考現学

●佐保利流数学巷談⑫

学校に人権はない

●アジア・グラフィティ②

古い——古い師たちの前には、いつも真剣なまなざしがあつた。

●仕事の道・技術の道②

環の思想

●空間劇場②

水の空間

●グラフィケーション・アベニュー

「写真」メディアとしてではなく——写真として

●やぶにらみテクノ世間噺②

まもなくバスがまいります

＊表四

中嶋貞雄  
三輪茂雄  
吉岡 斉  
小原秀雄  
松山俊太郎  
川島敏生

ゾイ・レオナード

石川弘義

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

森 毅

## 十月号 通巻一九二号◎特集Ⅱソフト思考

### ＊表紙

〈表二〉ドローイング／「COUNT DOWN」より

ミシカル・マン・マンス

ソフトウエア技術の現状——日本型知的生産体系をめざして

●対談・技術と人間③

日本人の道具観・機械観

●インタビュ

きのうよりは今日のために

●ATLAS 82

「夢の総量は空気であった」

宮沢賢治とサイエンス・サーカス

ソフト・テクノロジーク

●ポスト・サービス社会と技術

●ひぐらし帖②

木葉書

●佐保利流数学巷談⑬

P P S 通信

田中靖夫

赤木昭夫

安田寿明

戸田盛和

梅谷陽二

泉 真也×石井威望

倉俣史朗

田村彰英

室 謙二

槌屋治紀

粉川哲夫

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

岩田健三郎

## 八月号 通巻一九一号◎特集Ⅱ超の世界

### ＊表紙

〈表二〉ドローイング

ミクロとマクロ

●対談・技術と人間②

素材革命と「超」の世界

G・S・セトルス

宇佐美圭司

西島和彦

牧野 昇×石井威望

牧野 昇×石井威望

佐々木 光

編集部

編集部

編集部

編集部

編集部

編集部

編集部

編集部

編集部

国家のことは私なり

●アジア・グラフィティ③

●聖画——吉祥文様に彩られた仏足

●仕事の道・技術の道③

●顔の見えるところで仕事をする

●空間劇場③

●木の空間

●グラフィケーション・アベニュー

●「本」——活字が持つ力の原点

●やぶにらみテクノ世間噺③

●ポスト・モダンって何？

## 十二月号 通巻一九三三号 ●特集Ⅱカン・直観・創造力

＊表紙

〈表二〉Three spheres I (三つの球面)

●対談・技術と人間④

●創造工学のすすめ

いま、理科教育は……

右脳からの視点

直観と運動感覚

六〇%資料、四〇%カン

森 毅

大村次郷

小関智弘

海野 弘

津野海太郎

田村彰英

小瀧達郎  
エッシャー

中山正和×渡辺 茂

道家達将

千葉康則

江沢 洋

近藤唯之

模倣と創造——文明開化の建築に見る

●ATLAS 82

●A GLANCE

●インタビュー

●コンピュータ時代のカン

●イルミナティックなシンサ・ビジョン

●《往復書簡》まず、何から始めるか①

●仮装の思想

●日常的な時間を断ちきる行為

●佐保利流数学巷談⑭

●過適応と不適応

●アジア・グラフィティ④

●シンボル——聖鳥ガルーダの遙かなる旅路

●仕事の道・技術の道④

●雑草のしたたかさ

●空間劇場④

●風の空間

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」浪費と節約のシステム

●やぶにらみテクノ世間噺④

●がんばれ8ミリ映画！

＊表四

村松貞次郎

ゾイ・レオナード

星野芳郎

木村恒久

村田栄一

里見 実

森 毅

大村次郷

小関智弘

海野 弘

柏木 博

編集部  
小瀧達郎

# 1983

## 二月号 通巻一九四号 ●特集Ⅱ環境と人間

＊表紙

〈表二〉「食景」

●対談・技術と人間⑤

●自然・情報・環境

●環境問題はどう変ったか

●水と共に生きる

●ニュー・テクノロジーと精神世界

●マイコン少年の現在

●分子生物学者と環境

●都市の川・ふるさととの川

●ATLAS 83

●ミクロネシアから  
インタビュー

●都市の中にムラを——均質空間を壊す

清水 博×渡辺 茂

友永剛太郎

室田 武

小田 晋

児玉房子

米本昌平

森下郁子

島田興生

原 広司

藤井 耿

エロ

●《往復書簡》まず、何から始めるか②

●ガウディの学校

●ガウディ・反近代の夢

●佐保利流数学巷談⑮

●嗅覚の時代

●アジア・グラフィティ⑤

●ポルノ——裏本、それは神が零落した姿である

●仕事の道・技術の道⑤

●東京——山形、見えない道

●空間劇場⑤

●岩の空間

●グラフィケーション・アベニュー

●「写真」「写真のコレクション」をめぐる

＊表四

村田栄一

里見 実

森 毅

大村次郷

小関智弘

海野 弘

石原悦郎

小瀧達郎

四月号 通巻一九五号◎特集Ⅱコミュニケーション

＊表紙

〈表二〉ベルとティンターによる光線通話装置

●対談・技術と人間⑥

川畑正大×渡辺 茂

●双方向コミュニケーション

野崎 茂

●異星人とのコミュニケーション

石原藤夫

●国際政治とコミュニケーション

矢野 暢

●推理小説風にみた美術館とのコミュニケーション

酒井忠康

●文字から画像へ——イメージ・プロセッシングの現在

柏木恭忠

●コミュニケーションの新しい波——フランスの自由ラジオ動向

コリーヌ・ベエ

●ATLAS 83

小瀧達郎

●ロンドン・タウンから

鎮目恭夫

●インタビュ

森 毅

●技術者が哲学する時代

大村次郷

●《往復書簡》まず、何から始めるか③

村田栄一

●ヨーロッパの教師たち——フレネとシユタイナー

里見 実

●民衆的な文化創造の力学を

森 毅

●佐保利流数学巷談⑩

大村次郷

●平等のなかの差別

小関智弘

●アジア・グラフィティ⑥

海野 弘

●ゲーム——群れて遊ぶ男たち

長谷川集平

●仕事の道・技術の道⑥

編集部

●労働者にならなかつた青年の話

辻 康男

●空間劇場⑥

編集部

●土の空間

辻 康男

●グラフィケーション・アベニュー

長谷川集平

●「映画」「E.T.」異論

長谷川集平

●やぶにらみテクノ世間噺⑤

長谷川集平

●手づくり電波メディアの時代

長谷川集平

＊表紙

編集部

●六月号

辻 康男

●通巻一九六号◎特集Ⅱ科学技術——アメリカと日本

辻 康男

＊表紙

藤井 耿

●〈表二〉「MAD SCIENTIST」

藤井 耿

●座談会

藤井 耿

●科学技術——アメリカと日本

藤井 耿

●基礎科学をめぐるアメリカと日本の相違

藤井 耿

●公の科学私の科学

藤井 耿

●夢とコンピューター空間

藤井 耿

●向坊 隆×岡本道雄×石坂誠一×橋本久義

藤井 耿

●日経サイエンス編集部

藤井 耿

●中山 茂

藤井 耿

●室 謙二

藤井 耿

ATLAS 83

劇場

●映画宮殿の闇に坐つて

杉本博司

●インタビュ

海野 弘

●コンピュータで遊んじやおう——米国文科系学生電算機教育事情

加賀美鉄雄

●《往復書簡》まず、何から始めるか④

加賀美鉄雄

●ロマネスクと現代

村田栄一

●粗い石と粗い声

里見 実

●アジア・グラフィティ⑦

大村次郷

●神像——神像、それは神と人との掛け橋であつた

大村次郷

●ニューヨーク情報環境論①

大村次郷

●「ジェントリファイケーション」化が進む

粉川哲夫

●ヨーロッパ科学への道①

粉川哲夫

●セーヌの橋の上

赤木昭夫

●グラフィケーション・アベニュー

赤木昭夫

●〔住宅〕ドーマー窓から見える風景

赤木昭夫

●やぶにらみテクノ世間噺⑥

赤木昭夫

●外からみると日本人はロボットにみえる？

赤木昭夫

＊表紙

赤木昭夫

●八月号

赤木昭夫

●通巻一九七号◎特集Ⅱ生命とは何か

赤木昭夫

＊表紙

赤木昭夫

●〈表二〉「マドンナ」

赤木昭夫

●いま、なぜ総合人間学か——医の倫理をたて直すために

赤木昭夫

●ライフ・サイエンスと生命観

赤木昭夫

●最初の生命

赤木昭夫

●生体情報とゆらぎ

赤木昭夫

●対談・技術と人間⑦

赤木昭夫

●バイオエシックスとは何か——生命と科学技術をめぐって

赤木昭夫

●L・L・ホワイトとホロニズム

赤木昭夫

●発生工学の現在——クローンマウスの周辺

赤木昭夫

●生命操作時代の精神病理——とくに「クローン妄想」をめぐって

赤木昭夫

●ATLAS 83

赤木昭夫

●極地の人々

赤木昭夫

●先端技術便利不利考①

赤木昭夫

●キャブテン・システム

赤木昭夫

●インタビュ

赤木昭夫

●子を持つことの天国と地獄——体外受精をめぐる

赤木昭夫

●ヨーロッパ科学への道②

赤木昭夫

●この世界の原点

赤木昭夫

●坂上正道×中村桂子

赤木昭夫

●金子 務

赤木昭夫

●大沢仲昭

赤木昭夫

●宮本忠雄

赤木昭夫

# 1984

二月号 通巻二〇〇号◎特集Ⅱ住まいと環境

\*表紙

〈表二〉銀座ネットワーク84——4会場のうちの1。銀座オルフェ(宝石店)川俣正

- アジア・グラフィティ⑧  
護符——戸口の上に色あせた蛇の民画が
- 《往復書簡》まず、何から始めるか⑤  
スペイン・アナキストたちの肖像
- ユートピアを仮構する試み
- ニューヨーク情報環境論②  
アメリカン・ウェイ・オブ・ライフ
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」個電時代の家族と暴力
- やぶにらみテクノ世間⑦  
ボタン式機械のおぞましき

\*表四

十月号 通巻一九八号◎特集Ⅱ専門・非専門

\*表紙「フォルム六本木アネックス」で

〈表二〉「Temperance」(部分)

- 対談・技術と人間⑧  
科学技術と大衆参加——専門家と非専門家  
不思議な笛吹き男——アマチュア時代の寓話  
コンピューター・ソフト開発におけるアマチュアの可能性  
技術開発とアマチュアの発想
- 文科と理科の協力——学際研究について
- ATLAS 83  
雲を追う
- アマチュアリズム考
- 先端技術便利不利考②  
ビデオディスク
- インタビュー  
人ありて科学技術
- アジア・グラフィティ⑨  
菓子——甘さの回廊
- まず、何から始めるか⑥  
対談/身振り・ことばをとり戻す試み

大村次郷  
村田栄一  
里見実  
粉川哲夫  
柏木博  
編集部  
津田孝二  
田村彰英  
ブリュール  
中岡哲郎×中山茂  
赤木昭夫  
脇英世  
木村秀政  
太田次郎  
谷口雅  
福田定良  
星野芳郎  
今野由梨  
大村次郷  
村田栄一×里見実

- ニューヨーク情報環境論③  
ホームレス・ピープルは何処へ
- グラフィケーション・アベニュー  
「写真」写真について語るとは「世界」について語ることだ
- やぶにらみテクノ世間⑧  
もう一つの時間の流れが確実に存在している……

\*表四

十二月号 通巻一九九号◎特集Ⅱからだ考

\*表紙

〈表二〉

- 対談・技術と人間⑨  
病氣・医療・からだ  
からだの一部としての人工心臓  
センサーとは何か——センサーとしてのからだ  
痛みを通してみた人間  
もう一つの「クレオパトラの鼻」
- ATLAS 83  
LONDON DAILY LIFE  
いま、なぜ身体なのか
- 先端技術便利不利考③  
コンピューター編集
- インタビュー  
新産業革命期の玉突きゲーム
- アジア・グラフィティ⑩  
味覚——カレーの裏側に沢山の香辛料がある
- ヨーロッパ科学への道③  
ゴシックの心象風景
- ニューヨーク情報環境論④  
ケーブル・テレビジョンの可能性
- グラフィケーション・アベニュー  
「建築」住宅の閨房化が進む——ワンルーム・マンション考

\*表四

白岩登三靖  
建石修志  
中川米造×村上陽一郎  
藤正巖  
高橋清  
柳田尚  
香原志勢  
佐藤修造  
三橋修  
星野芳郎  
下田博次  
大村次郷  
赤木昭夫  
粉川哲夫  
松山巖  
児玉房子

●対談・技術と人間⑩  
住まい・環境・コミュニケーション

早川和男×村上陽一郎  
インドネシアのカンポンから——アジアのスラムと「うさぎ小屋」  
布野修司  
パークとコモンズ  
阿部弘

団地から——管理組合は何処へ  
鉄とコンクリートの神話が崩れ、キッチンがはびこる街

●インタビュー

セルフ・ビルドに向けて

●方位84

天幕都市

蝶と建築

環境・エネルギー・住まい

●先端技術便利不利考④

ロボット

●アジア・グラフィティ⑪

旅——アレキサンダーの軍勢の足音が聞こえる

●ニューヨーク情報環境論⑤

ギャンブル・イン・アメリカ

●グラフィケーション・アベニュー

〔ビデオ〕カナダ国際ビデオ・フェスティバル報告

＊表四

### 四月号 通巻二〇二号◎特集Ⅱネットワーク「1」

＊表紙

〈表二〉1880年代、ニューヨーク下町の電線

●対談・技術と人間⑪

脳とコンピュータ

パケット通信の現状

情報ネットワーク社会をどう生きるか

うわさ・語りのネットワーク

●インタビュー

コンピュータ・ネットワークの未来

●方位84

都市の記憶・上海

●先端技術便利不利考⑤

日本語ワード・プロセッサ

●ニューヨーク情報環境論⑥

都市のリズムと記憶

●アジア・グラフィティ⑫

ペール——されど美しさは隠せず

●〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて①

紐の文学

二十年後の家庭訪問

●ヨーロッパ科学への道④

天をめざすアーチ

●グラフィケーション・アベニュー

宮内 康

松山 巖

石山修武

本橋成一

海野 弘

小玉祐一郎

星野芳郎

大村次郷

粉川哲夫

戸塚貴子

飯田 鉄

山崎 博

千葉康則×村上陽一郎

鹿子木昭介

岸本重陳

藤竹 暁

鈴木則久

中川道夫

星野芳郎

粉川哲夫

大村次郷

里見 実

村田栄一

赤木昭夫

〔写真〕乳剤が密林に密着している

＊表四

### 六月号 通巻二〇二号◎特集Ⅱネットワーク「2」

＊表紙 横浜こども科学館で

〈表二〉

●対談・技術と人間⑫

まず小さなデータベースを——ニューメディア時代に向けて

アメリカのビジネス・ネットワーク——テレポート計画を中心に

ネットワークの考え方——イーサネットを中心に

ネットワーク時代の人間関係

●方位84

東京湾

●インタビュー

ビデオテックスを子どもたちに

●先端技術便利不利考⑥

トータル・カラスキャナー

●〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて②

劇中劇・パロディとしての『ハムレット』

本歌取り

●アジア・グラフィティ⑬

カー・アート——天空飛び交うインド・西アジアの神々

●ヨーロッパ科学への道⑤

聖堂のシステム工学

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕ポストモダンのはモダンだ

＊表四

尾辻克彦

普後 均

児玉房子

梅田英俊

猪瀬 博×竹内 啓

栗田昭平

鳥井弘之

下田博次

我妻 洋

成田信勝

佐山吉孝

星野芳郎

里見 実

村田栄一

大村次郷

赤木昭夫

柏木 博

児玉房子

山本圭吾

佐々木マキ

端山貢明×坂村 健

溝口文雄

竹内郁雄

岡野恒也

西江雅之

ゾイ・レオナード

山本圭吾

佐々木マキ

端山貢明×坂村 健

溝口文雄

竹内郁雄

岡野恒也

西江雅之

# 1985

芸術の放棄と中断——アメリカ現代美術通信「1」

国語研究とコンピューター

●アジア・グラフィティ⑭

サロン——床屋もまた情報の垣塙だった

●ヨーロッパ科学への道⑥

トレド数字

●グラフィケーション・アベニュー

「建築」巨大な箱が……

\*表紙

## 十月号 通巻二〇四号◎特集Ⅱ言語「Ⅰ」

\*表紙

〈表二〉

●対談・技術と人間⑭

コンピューターは夢を見るか？

器官なき身体

最近の言語学の潮流

新しいプログラム言語スモールトークのすすめ

図形と音楽

●インタビュ

次世代コンピューターのプログラミング言語は？

●方位84

路上にて(バンコク)

ステラの変質——アメリカ現代美術通信「2」

●先端技術便利不利考⑦

コンピューター農業

●〈共同報告〉もう一つの学校へ向けて③

平和教育と想像力——第十五回RIDDEFに参加して

村田栄一／里見 実／木幡 寛

●アジア・グラフィティ⑮

花輪——花びらの上を歩けない

●ヨーロッパ科学への道⑦

大村次郷

藤枝晃雄

中野 洋

大村次郷

赤木昭夫

松山 巖

児玉房子

飯田 鉄

木葉井悦子

沢田允茂×端山貢明

粉川哲夫

郡司隆男

鈴木則久

松川淳子

田中穂積

河西喜也

藤枝晃雄

星野芳郎

中世の星を見る

●グラフィケーション・アベニュー

「写真」写真はどこへ

\*表四

## 十二月号 通巻二〇五号◎特集Ⅱ情報システムとしての図書館

\*表紙 日野市立中央図書館で

〈表二〉

●対談・技術と人間⑮

知のベース——これからの図書館

IR—マインディッド

黒船と紅葉山文庫

●方位84

上野図書館

TEA

集中より分散がいい

図書館の主体性はどこに

●インタビュ

情報は誰のものか——動き出した情報公開制度

●先端技術便利不利考〈番外編〉

日本のOAとアジア

●〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて④

星野芳郎×ウイリアム・ウエザロール

創造の論理

センターではない「溜り場」を

●アジア・グラフィティ⑯

大道芸——投げ銭で生業を立てる人たち

●ヨーロッパ科学への道⑧

コスモグラフィア

●グラフィケーション・アベニュー

「マンガ」『ガロ』の二十年

\*表四

赤木昭夫

谷口 雅

児玉房子

開原成允×村上陽一郎

児玉房子

児玉房子

加賀美鐵雄

阿部 弘

飯田 鉄

佐藤雅彦

津野海太郎

編集部

清水英夫

里見 実

村田栄一

大村次郷

赤木昭夫

上野昂志

児玉房子

## 二月号 通巻二〇六号◎特集Ⅱ技術哲学としてのデザイン

\*表紙 石井勢津子のホログラム作品

〈表二〉

●対談・技術と人間⑯

町工場から

児玉房子

下谷二助

星野芳郎×小関智弘

作ることは学ぶこと

デザイン・エラー

●方位85

村のくらし(インドネシア)

●対談

関 曠野

阿部 弘

西山悦子

もうひとつのサグラダ・ファミリア——建築と彫刻の間

石山修武×外尾悦郎

- アジア・グラフィティ⑱
- 目——目は口よりものを言う

大村次郷

- インタビュ

平野甲賀

サントロファア、生成の絵画——アメリカ現代美術通信「3」

藤枝晃雄

- 〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて⑤

里見 実

- 南フランスの小学校で

村田栄一

- グラフィケーション・アベニュー

松山 巖

- ゼロックス・ニュース

児玉房子

### 四月号 通巻二〇七号◎特集Ⅱ技術哲学を求めて

- 表紙 児玉由美子「都市のシミュラークル」

児玉房子

- 〈表二〉「ヴェイクトリアン・インベンション」より

榎屋治紀×赤木昭夫

- 対談・技術と人間⑱

坂本賢三

- 技術者はいま……

安永寿延

- 地上の宇宙船化のなかで——テクノエシックスをめざして

笠木絵津子

- つくばレポートI

紀田順一郎×相磯秀夫

- ゼロックス・サロン①

星野芳郎

- 先端技術便利不便利考⑧

大村次郷

- 航空機とファクションの新素材

里見 実

- 供儀——神に捧げる生と死の饗宴

村田栄一

- 〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて⑥

柏木 博

- 集団の文化がもつ「ちから」

児玉房子

- 興味進化論

児玉房子

- グラフィケーション・アベニュー

貝原 浩

- 「デザイン」ロス疑惑とデザイン誌廃刊との関係

児玉房子

- ゼロックス・ニュース

貝原 浩

- 表四 江東区・佐野造船所

貝原 浩

### 六月号 通巻二〇八号◎特集Ⅱ科学ジャーナリズム

科学情報とどうつき合うか

米本昌平×中山 茂

- 科学ジャーナリズムの理想と現実

牧野賢治

- 科学ジャーナリズムの役割——科学者の立場から

江沢 洋

- 科学風刺——スウィフトのペン

阿部 弘

- 丸・三角・四角

児玉房子

- インタビュ

里深文彦

- 大衆科学雑誌考

藤枝晃雄

- 皮相なポスト・モダンニズムの罟——アメリカ現代美術通信「4」

大村次郷

- ゼロックス・サロン②

里見 実

- ニューメディア感覚

村田栄一

- アジア・グラフィティ⑱

柳本尚規

- 煙草——人間関係の仲立ちに

児玉房子

- 〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて⑦

児玉房子

- 反学校文化の形成

下谷二助

- 「労働Ⅱ学習」であるために何が必要か

吉川弘之×佐和隆光

- グラフィケーション・アベニュー

中沢新一

- 「写真」〈眼の経験の歴史〉観

村松貞次郎

- 表四 科学万博つくば85

海野 弘

- 対談・技術と人間⑱

竹内郁雄

- 剛体神話からの脱出

田村彰英

- 新人間機械論

原田大三郎

- 道具と人とモノ

星野芳郎

- アンドロイドの夢

内橋克人×相磯秀夫

- 道具としての人工知能

大村次郷

- キミのまぼろしはボクのまぼろし

里見 実

- インタビュ

里見 実

- メディアアスーツ——機械をまとう人間

里見 実

- 先端技術便利不便利考⑨

里見 実

- システム・パチンコ時代

里見 実

- ゼロックス・サロン③

里見 実

- 技術を育てる

里見 実

- アジア・グラフィティ⑳

里見 実

- 植民地——アジアに刻印されたヨーロッパ

里見 実

- 〈往復書簡〉もう一つの学校へ向けて⑧

里見 実

- 生命の解放運動を——殺しの文化に抗して

里見 実

- ハンパじやない生き方
- グラフィケーション・アベニュー
- 「建築」交差点が消えた

村田栄一  
松山 巖  
児玉房子

十月号 通巻二二〇号◎特集Ⅱ科学技術と芸術

＊表紙

児玉房子  
田中靖夫

- 対談・技術と人間⑳
- 音楽・モジュール・身体

高橋悠治×粉川哲夫

- 対談
- ビデオ・アートの周辺

山本圭吾×藤枝晃雄

- インタビュー
- 自我空間の回帰のために

田原桂一  
八束はじめ

- ゼロックス・サロン④
- SFからの発想

坂村 健×相磯秀夫

- 先端技術便利不便利考⑩
- 先端技術の有効性とその限界

星野芳郎

- ゼロックス・アートの新しい展開
- グラフィケーション・アベニュー

編集部

- 「デザイン」家事（デザイン）に国家試験が必要になった
- ゼロックス・ニュース

柏木 博

＊表四

山木葉子

十二月号 通巻二二一号◎特集Ⅱ自然とのつき合い方

＊表紙 グランド・キャニオンとコロラド河

高田 勝

- 対談・技術と人間㉑
- 川の復権を考える

つのださとし

- 砂漠への旅
- ビル空間と自然

森下郁子×野田知佑

- インタビュー
- 木のリズム・自然のリズム

高田 勝

- ゼロックス・サロン⑤
- これからのインテリジェント・システム

大村虔一

- ヨーロッパの技術現場から①
- ハイテク開発の座標変換——日本の視点、ヨーロッパの視点

且原純夫

- ジャーナリストの目①
- 情報化社会のウソ・ホント

佐伯 胖×相磯秀夫

- ヨーロッパ科学への道⑨
- アリストテレスの移入

今北純一

- テクノロジカルなシーン①
- 熱力学機関としての水晶宮と世界機械のヴィジョン

鳥井弘之

- グラフィケーション・アベニュー
- 「写真」「カメラ毎日」以後

赤木昭夫

- ゼロックス・ニュース

八束はじめ

＊表四

柳本尚規

1986

二月号 通巻二二二号◎特集Ⅱ記録・記憶・想像力

＊表紙

安斎重男

- 「表二」長生きしようぜ！
- 対談・技術と人間㉒

まっお龍之介

- 記録することの意味
- 映像化社会の進展

森 浩一×高田 宏

- 自己保存装置としての日記
- 中性コピー用紙の開発

後藤和彦

- インタビュー
- 都市の記憶喪失をめぐって

富永茂樹

- scope 86
- 海原遠く

大橋耐二

- ジャーナリストの目②

リチャード・セネット

宮本佳明

- 科学雑誌はどこへ行く
- ゼロックス・サロン⑥

粒良文洋

- 神話時代のコンピュータ
- テクノロジカルなシーン②

那野比古×相磯秀夫

- 新・町工場の磁界①
- 鉄を鋳る

八束はじめ

- ヨーロッパ科学への道⑩
- 神かアリストテレスか

小関智弘

- グラフィケーション・アベニュー
- 「建築」町が消えはじめている

赤木昭夫

＊表四

松山 巖

四月号 通巻二二三号◎特集Ⅱ産業考古学入門

\*表紙

〈表二〉マンガ

●対談・技術と人間<sup>23</sup>  
技術の保存と教育をめぐって

青木国夫×道家達将

児玉房子  
勝又 進

産業遺産の地域巡歴  
自動車産業今昔譚

山崎俊雄  
関根 弘

●scope 86  
幼年の街

小椋利文

●ジャーナリストの目<sup>3</sup>  
パソコン時代と科学少年

竹内王子

●ゼロックス・サロン<sup>7</sup>  
テクノロジと文化

室 謙二×相磯秀夫

●ヨーロッパの技術現場から<sup>2</sup>  
エンジニア進化論

今北純一

●ヨーロッパ科学への道<sup>11</sup>  
アルゴリズムス——自然の数量化に向けて

赤木昭夫

●加速されたオブリジェ  
グラフィケーション・アベニュー

八束はじめ

●「デザイン」アヴァンギャルドなデザインの保守性

柏木 博  
児玉房子

\*表四

六月号 通巻二二四号◎特集Ⅱ科学技術と宗教

\*表紙

〈表二〉マンガ

●対談・技術と人間<sup>24</sup>  
現代人の精神的危機をめぐって

柳瀬睦男×村上陽一郎

児玉房子  
長 新太

コンピュータと彼岸  
コスモロジーの科学・非科学・反科学——ニューサイエンスをめぐって

野田正彰  
吉岡 斉

●ヨーロッパ科学への道<sup>12</sup>  
水時計

赤木昭夫

文字放送番組——「グラフィケーションの世界」

●scope 86  
トポグラフィ

小林のりお

●ゼロックス・サロン<sup>8</sup>  
コンピュータ・グラフィックスの現在

野地朱真×相磯秀夫

●ヨーロッパの技術現場から<sup>3</sup>  
情報化社会の影の主役

今北純一

●テクノロジカルなシーン<sup>4</sup>  
労働のレトリック

八束はじめ

●新・町工場の磁界<sup>2</sup>  
鉄を絞る

小関智弘

●グラフィケーション・アベニュー  
〔写真〕私の中国写真紀行

潮田登久子

●ゼロックス・ニュース

児玉房子

八月号 通巻二二五号◎特集Ⅱ日本の科学者

\*表紙

〈表二〉科学者の食卓

佐藤修造  
玖保キリコ

●座談会

日本の科学者——草創期の人々を中心に  
中山 茂×江沢 洋×牧野賢治×赤木昭夫

●ジャーナリストの目<sup>4</sup>  
社稷亡びヌワガ事終ラズ

村松武司

●scope 86  
ピカソ・アリーナ

小瀧達郎

●ゼロックス・サロン<sup>9</sup>  
創造的人間を育てるために

柏木恭忠×相磯秀夫

●ヨーロッパの技術現場から<sup>4</sup>  
顔のない名刺——集団パワー極大化の代償

今北純一

●テクノロジカルなシーン<sup>5</sup>  
「住居機械」のパラドックス

八束はじめ

●グラフィケーション・アベニュー  
〔劇画〕韓国劇画の刺激

上野昂志  
笠木絵津子

十月号 通巻二二六号◎特集Ⅱデザイン・ナウ

\*表紙

〈表二〉まんが

児玉房子  
古川タク

●対談・技術と人間<sup>25</sup>  
電子技術はデザインをどう変えたか

森 啓×柏木 博

技術主義の虚妄  
ファミコンの衝撃

松山 巖

●富士ゼロックスのデザイン思想

斎藤次郎

●ジャーナリストの目<sup>5</sup>  
科学絵本の可能性

溝尾 久

●scope 86  
ポジション

加納信雄

●ゼロックス・サロン<sup>9</sup>  
エクスパート・システムの現在

相原 亨

●テクノロジカルなシーン<sup>6</sup>

溝口文雄×相磯秀夫

# 1987

- メガロマニアの不条理
- インタビュー
- 人間中心の科学技術
- 新・町工場の磁界③
- 鉄を粧う
- グラフィケーション・アベニュー

八束はじめ  
アブドール・ラーマン  
小関智弘  
平木 収  
永田陽一

## 十二月号 通巻二二七号◎特集Ⅱ写真の考現学

### \*表紙

〈表二〉マンガ

- 対談・技術と人間②⑥
- 文化現象としての写真
- 写真の哲学をめぐって
- 新しい写真とは何か

中野 収×大島 洋  
宇波 彰  
谷口 雅

- コンピューターとリンクする写真
- ジャーナリストの目⑥
- コンピューターに潜む「魔性」
- scope 86
- FACTORY SURVEY
- scope 86
- 大西洋の目
- ゼロックス・サロン⑪
- 科学と好奇心
- テクノロジカルなシーン⑦
- テクノロジのモナドロジー
- ヨーロッパの技術現場から⑤
- 一人称文化とチームワーク
- グラフィケーション・アベニュー
- 「映像」「地方の時代」映像祭の軌跡——地域問題を映像で考える

日高 敏  
三浦賢一  
畠山直哉  
港 千尋  
東 昭×尾河洋一  
八束はじめ  
今北純一  
青木貞伸  
伊奈英次

## 二月号 通巻二二八号◎特集Ⅱアジアを見る目

### \*表紙

〈表二〉マンガ

- 対談・技術と人間②⑦
- 混沌の時代——アジアと日本
- アジアの科学技術紀行——インド・中国を訪ねて
- 包んで食べる・混ぜて食べる——アジア人の生活技術
- 西欧近代を問う建築技術——バリ島のウンダギ
- ジャーナリストの目⑦
- 日本のビジネス・ジャーナリズム
- 視界87
- 海が割れる、白い布が舞う
- ゼロックス・サロン⑫
- 生活者からの発想
- ヨーロッパの技術現場から⑥
- ベンチャー・スピリットの胎動
- 新・町工場の磁界④
- 鉄を鍛える
- テクノロジカルなシーン⑧
- サイボーグと環境

管 洋志  
ヒサクニヒコ

星野芳郎×戴國輝  
里深文彦  
佐江衆一  
布野修司  
澤井 仁  
河西喜也  
今野由梨×相磯秀夫  
今北純一  
小関智弘  
八束はじめ

## 四月号 通巻二二九号◎特集Ⅱ都市は何処へ

### \*表紙

〈表二〉盛り場ブルース

- 対談・技術と人間②⑧
- 都市の読み方
- 「都市への権利」の忘却——東京論ブームの背景
- 盛り場を視る
- インスタント・シティトウキョウ
- 視界87
- 街区
- マイケル・ライアン 映画とレトロモダンを語る
- ジャーナリストの目⑧
- 技術のドラマツルギー
- ゼロックス・サロン⑬
- 情報ネットワーク社会
- テクノロジカルなシーン⑨

柏木 博  
児玉房子

伊奈英次  
浅賀行雄  
前田 愛×松山 巖  
小倉利丸  
吉見俊哉  
編集部  
飯田 鉄  
粉川哲夫  
石井宏一  
今井賢一×尾河洋一

- マシン・ユートピアの顛末
- アジア文化の中の科学技術①
- されど、それでも水車はまわっていた
- 水車の“今昔”
- 新・東京人①
- 多民族都市に向かつて
- グラフイケーション・アベニュー
- 「文化状況」マスカルチャーの「憂鬱」

八束はじめ  
大村次郷  
里深文彦  
宮尾飛古  
黒川 創  
伊奈英次

**六月号 通巻二二〇号◎特集Ⅱ高度情報化社会をどう生きるか**

＊表紙

〈表二〉マンガ

- 対談・技術と人間⑲

情報・知識・身体

高感度社会の視野

機械と知識

マンガによる体系化の試み——情報マンガの隆盛

● インタビュー

「ポエム・マシンの」周辺

● ジャーナリストの目⑨

活字から電子出版へ

● 視界87

Night Watching

● ゼロックス・サロン⑭

● コンピューターと哲学の関係

● アジア文化の中の科学技術②

日時計が寸分たがわぬ時間を教えてくれた。

● 時計の起源を求めて

● 新・東京人②

● 幻想ニッポン

● テクノロジカルなシーン⑩

● 世紀末のテクノロジ

● 新・町工場の磁界⑤

● 町の鍛金屋さん

● グラフイケーション・アベニュー

● 「写真」ドキュメンタリーがあぶない

＊表四

竹内 啓×野田正彰

成田康昭

竹内郁雄

米沢嘉博

鈴木志郎康

植田康夫

吉田友彦

- 対談・技術と人間⑳
- トータルな学問を求めて
- 博物趣味的生活
- ジャクソンという町を抜けだしてから
- 日本のナチュラリスト——江戸期を中心に
- ジャーナリストの目⑩
- ソフトは文化として扱われているか
- 視界87
- ハイランドの風
- ゼロックス・サロン⑮
- 生命の謎をさぐる
- ことばの旅①
- とりあえず言語のジャングルに
- 欧米ビジネス社会を生きる①
- 成功へのパスポート
- アジア文化の中の科学技術③
- 身体から割り出された度量衡がアジアには今なお生きている
- 「はかり」(度量衡)の起源と現在
- 新・東京人③
- カルチャー・ショック
- グラフイケーション・アベニュー
- 「デザイン」デザインのビジネス情報をめぐって

鶴見和子×山田宗睦  
奥本大三郎  
長谷川龍生  
木村陽二郎  
野村裕知  
小瀧達郎  
大島泰郎×尾河洋一  
西江雅之  
今北純一  
大村次郷  
里深文彦  
宮尾飛古  
柏木 博  
叶内拓哉

**十月号 通巻二二二号◎特集Ⅱ子どもの遊びと創造性**

＊表紙

〈表二〉マンガ

- 対談・技術と人間㉑

子ども像を問う

● 子どもの遊びと文学——行きて帰りし物語考

● インタビュー

● コンピューターから飛び出せ!

● 「冒険遊び場」の試み——子どもの遊びとからだ・こころシンポジウムから

● 遊酔亭・子どもイタズラ村通信

● ことばの旅②

● さまざまな言語の森を較べてみると

● ゼロックス・サロン⑯

● 科学と遊びと創造性

● ジャーナリストの目⑪

● クレオールと翻訳援助システム

● 欧米ビジネス社会を生きる②

飯田 鉄  
柳生弦一郎

高山英男×野上 暁

斎藤次郎

高橋利幸

早川たかし

編集部

西江雅之

青木國夫×相磯秀夫

藤本由香里

見えざる契約書の価値

●新・町工場の磁界⑥

義肢をつくる

●アジア文化の中の科学技術④

アジアの曆にはとりわけその土地の呼吸が息づいている

「こよみ」(曆)の起源と現在

●新・東京人④

エンジョイ・ライフ

●グラフィケーション・アベニュー

「文化状況」加速する「停滞」——カンディンスキー展とモンドリアン展にふれて

\*表四

### 十二月号 通巻二二三号◎特集Ⅱコンピューター文化

\*表紙 田原桂一・光が丘イベントより

〈表二〉マンガ

情報技術の革新は何をもたらしつつあるか

●インタビュー

コンピューター文化のゆくえ

情報環境としてのSF——サイバークリテックのすすめ

エキサイティングCG——SIGGRAPH 87

今北純一

小関智弘

大村次郷

里深文彦

宮尾飛古

黒川 創

児玉房子

児玉房子

貝原 浩

佐和隆光

児玉房子

貝原 浩

佐和隆光

野地朱真

上野俊哉

野地朱真

●ジャーナリストの目⑫

新たな脱皮に向けて

●視界87

熱砂の彩

●ゼロックス・サロン⑬

ゆらぎの意味

●欧米ビジネス社会を生きる③

ボトムライン・アブローチの功罪

●続・現代美術断章①

疫病と芸術

●ことばの旅③

言語の枝葉は入りくみ溶け合う

●アジア文化の中の科学技術⑤

ネパールで珍しいクワを使う農夫に会った

●農業技術の伝播

●新・東京人⑤

東京が面白い

●グラフィケーション・アベニュー

〔写真〕写真と身体

\*表四

牧野賢治

富張佳子

武者利光×尾河洋一

今北純一

藤枝晃雄

西江雅之

大村次郷

里深文彦

宮尾飛古

平木 収

児玉房子

# 1988

### 二月号 通巻二二四号◎特集Ⅱ風

\*表紙「水の家」

〈表二〉

国際社会に吹く風

見えない風によって見えるもの

●対談・技術と人間⑫

風・ノマド・テクノロジ

風を観る

風が死を運ぶ

●grafica 88

奔流——東京コレクション

●インタビュー

江戸の風は脱構築

●ゼロックス・サロン⑬

ニューメディアとのつきあい方

●欧米ビジネス社会を生きる④

ニルス・ウド

長谷川集平

國弘正雄

海野 弘

伊東豊雄×布野修司

廣田 勇

阿部 弘

木村雅英

田中優子

田村紀雄×相磯秀夫

田中優子

田中優子

田中優子

田中優子

人材国際化プロセスの盲信

●アジア文化の中の科学技術⑥

風のエネルギーを利用する人たちがいる

●新・東京人⑥

東京ビジネス事情

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」新しいテクノロジによるデザインと生活のイメージ

\*表四

\*表四

### 四月号 通巻二二五号◎特集Ⅱ仕事

\*表紙

〈表二〉マンガ

仕事のスタイル——日本型とメキシコ型

労働の主婦化——労働の世界で何が起きているか

今北純一

大村次郷

里深文彦

宮尾飛古

柏木 博

木村雅英

児玉房子

湯村輝彦

岸本重陳

上野千鶴子

上野千鶴子

上野千鶴子

上野千鶴子

上野千鶴子

上野千鶴子

- 鼎談・技術と人間<sup>③</sup>  
仕事を考える  
疲れた企業戦士たちよ、どこへ行く

内山 節×里見 実×村田栄一  
梁 石日

- grafica 88  
PARIS DAILY LIFE

佐藤修造  
川喜多喬

- アメリカにおけるフレキシブルワーキング  
インタビュー

マイク・クーリー

- 東洋思想をコンピュータに生かす  
ことばの旅<sup>④</sup>

西江雅之

- 言語の森に踏み込めば (1)  
続・現代美術断章<sup>②</sup>

藤枝晃雄

- ネオ・ジオの自己言及  
欧米ビジネス社会を生きる<sup>⑤</sup>

今北純一

- 賠償責任という名の妖怪  
新・東京人<sup>⑦</sup>

宮尾飛古

- 古さの中に新・東京を見た  
新アジア・グラフィティ<sup>①</sup>

大村次郷

- 力車——その揺れが、そのスピードがたまらない  
グラフィケーション・アベニュー  
「文化状況」〈先端〉論へ

黒川 創  
児玉房子

- 表四 東洋リンクスで

## 六月号 通巻二二六号◎特集Ⅱ都市の水辺

### \*表紙

- 〈表二〉マンガ  
水の文化、水の思想

津田孝二

- 対談・技術と人間<sup>④</sup>  
水辺のアメニティを考える

梅田英俊  
山田宗睦

- 相模川と私  
インタビュー

中村良夫×陣内秀信  
江成常夫

- 水際線の哲学を  
grafica 88

大野一敏

- 上海物語Ⅱ  
ゼロックス・サロン<sup>⑩</sup>

中川道夫

- 技術の新しいパラダイムに向けて  
私の科学論

吉川弘之×尾河洋一

- 個別の教科から総合教科へ  
欧米ビジネス社会を生きる<sup>⑥</sup>

名取弘文

- 詭弁・強弁の技術力  
新・東京人<sup>⑧</sup>

今北純一

- 新東京人が見たアジアの花嫁  
新アジア・グラフィティ<sup>②</sup>

宮尾飛古

- 異国趣味——タイにのめりこんだアメリカ人  
空間史ノート<sup>①</sup>
- 「建築」という物語  
グラフィケーション・アベニュー  
〔写真〕時代に即した知のサンプリング

大村次郷  
松山 巖  
平木 収  
児玉房子

## 八月号 通巻二二七号◎特集Ⅱいま地方に生きる

### \*表紙

- こじこじ絵日記<sup>①</sup>  
身近なロックについて

児玉房子

- 草の花が咲く  
傍流を生きて——水車むら紅茶のことなど

長谷川集平  
杉浦明平  
白井太衛

- インタビュー  
地べた感覚で考えよう

山田脩二  
宇江敏勝

- 熊野の山里から  
砂ぼこりのたつ田舎道にひかれて

稲垣尚友  
松田足生

- 道草人生十五年  
つもり原住民のつもり

山福康政  
田村彰英

- grafica 88  
ルビーの涙

星川 淳

- 私の科学論  
「いのちの側に立つ」

千葉康則×相磯秀夫

- ゼロックス・サロン<sup>⑩</sup>  
脳とコンピュータのあいだ

今北純一

- 欧米ビジネス社会を生きる<sup>⑦</sup>  
マベリックたちの時代

宮尾飛古

- 新・東京人<sup>⑨</sup>  
驚きが楽しみに変わる

松山 巖

- 空間史ノート<sup>②</sup>  
メディア社会と「美の国」

大村次郷

- 新アジア・グラフィティ<sup>③</sup>  
魔除け——悪霊に仁王立ちする武者絵

柏木 博  
児玉房子

- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」再び未来デザインが出てきたのだが……

長谷川集平  
益田勝実

- \*表四

## 十月号 通巻二二八号◎特集Ⅱ火

- \*表紙 東京・西馬込 小林貞雄氏の工場で  
こじこじ絵日記<sup>②</sup>

児玉房子

- 買った化石  
火と日本人

益田勝実

- 対談・技術と人間③⑤  
ソフトエネルギー考  
「火の玉」、「ひとだま」とは何か  
鍛冶の火——王と世界を創造するもの

中山 茂×槌屋治紀

大槻義彦  
田村克己

小勝郷右

室 謙二

渡辺 眸

樋口敬二×尾河洋一

島田興生

黒川 創

宮尾飛古

松山 巖

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

児玉房子

- こじこじ絵日記③  
刃物を研ぐ  
個室の中の“個”

長谷川集平

秋山 駿

岸本重陳×熊沢 誠

佐高 信  
宮迫千鶴

今北純一

宮尾飛古

岩本久則

谷口 雅

森 毅×相磯秀夫

大村次郷

藤枝晃雄

松山 巖

黒川 創

平木 収

児玉房子

赤木昭夫

津野海太郎

猿橋勝子

飯田 鉄

迷宮・目黒雅叙園

閃光 89

私の科学論

女性と科学研究

ネットワーク時代の悪夢  
コンピューター・ウイルス

インタビュ

普通の人のおしゃべりを集めると、もう一つの世界が見えてくる

私の科学論

女性と科学研究

ネットワーク時代の悪夢  
コンピューター・ウイルス

インタビュ

普通の人のおしゃべりを集めると、もう一つの世界が見えてくる

私の科学論

女性と科学研究

ネットワーク時代の悪夢  
コンピューター・ウイルス

インタビュ

# 1989

- グラフィケーション・アベニュー  
「映像」歴史の改竄と天使の視線

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

児玉房子

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

児玉房子

大村次郷

- 十二月号 通巻二二九号 ● 特集Ⅱ 個の時代

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

児玉房子

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

児玉房子

- 二月号 通巻二二〇号 ● 特集Ⅱ トーク・話し合いの中から

飯田 鉄

長谷川集平

樋口敬二

福田定良×天野祐吉  
粉川哲夫

- こじこじ絵日記④

フアンクラブ

おしゃべりと知的生産

対談・技術と人間③⑦  
現代おしゃべり考  
電子メディアのおしゃべり



# 1990

二月号 通卷二二二六号◎特集Ⅱネットワーク社会  
\*表紙「Pink Monk」

斎藤規矩夫

●サイコロ画報①  
夜の海の夢

土橋とし子

- 我々は宇宙文明と出会えるか
- アインシュタインにおける創造性の研究②
- 積み木遊びにふけるなかで
- 現代ニッポンらんどすけーぷ⑥
- 迷宮都市の光彩
- 私の天路歷程・梟たちとの旅④
- オーロラの国のフクロウたちⅠ
- 空間史ノート⑧
- こどもと故郷
- 新アジア・グラフィティ⑨
- 鐘——鐘がその寺、その港、その村の歴史を見続けてきた
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」電脳都市のデザインをめぐる

森本雅樹×相磯秀夫  
赤木昭夫  
黒川 創  
山本純郎  
松山 巖  
大村次郷  
柏木 博  
叶内拓哉  
児玉房子  
長谷川集平  
小松和彦  
大島 洋  
吉田夏彦  
藤枝晃雄×三島憲一  
大黒 昭夫  
渡辺 眸  
三輪茂雄×尾河洋一  
松山 巖  
黒川 創

- 私の天路歷程・梟たちとの旅⑤
  - オーロラの国のフクロウたちⅡ
  - 新アジア・グラフィティ⑩
  - 絵看板——絵看板が店の中へと誘い込んだ
  - グラフィケーション・アベニュー
  - 「映像」変換Ⅱ翻訳する映像
- \*表四
- 十二月号 通卷二二三五号◎特集Ⅱ場とコミュニケーション
- \*表紙 渋谷・東急文化村で
  - こじこじ絵日記⑨
  - やつと絵本を描いた
  - オフィスは変わったか？
  - 対談・技術と人間⑫
  - 市民文化の基盤をどうつくるか
  - 博覧会場としての都市
  - 変貌する「個」の空間へミニテルの挑戦
  - インタビュー
  - フリースペース始末記
  - 閃光89
  - 大森界限
  - ゼロックス・サロン⑳
  - ニューロ・コンピューター入門
  - 空間史ノート⑩
  - において気と笑いの衰微
  - 私の天路歷程・梟たちとの旅⑥
  - 私を支えてくれたフクロウたち
  - 現代ニッポンらんどすけーぷ⑧
  - 義経異聞
  - 新アジア・グラフィティ⑪
  - 龍——龍の聖性は普くアジアに拡がっている
  - グラフィケーション・アベニュー
  - 「写真」「現代写真の動向・展」をめぐる
- \*表四
- 山本純郎  
大村次郷  
上野俊哉  
児玉房子  
松下圭一×栗原 彬  
吉見俊哉  
港 千尋  
保坂展人  
西山悦子  
甘利俊一×相磯秀夫  
松山 巖  
山本純郎  
黒川 創  
大村次郷  
平木 収  
児玉房子

下町のネットワーク

●対談・技術と人間④

ネットワーク文化論

電子ネットワーク社会の可能性

●インタビュー

メディア人間、発信中

●アインシュタインにおける創造性の研究④

ベルン市クラム街四九番地にて

●move 90

アレキサンドリア・ビュー

●ゼロックス・サロン②⑨

環境とデザイン

●いま科学博物館が面白い①

シンボルとしての博物館

●遙かなる山の道——ミャンマー辺境物語①

山の道Ⅰ

●現代ニッポンらんどすけーぶ⑨

夢を食う

●新アジア・グラフィティ⑫

飛天——人々の夢を孕み、空を飛ぶ天人たち

●グラフィケーション・アベニュー

「映像」ある独身者の死

＊表四

森まゆみ

多田道太郎×杉山光信

竹内 啓

正木鞆彦

赤木昭夫

中川道夫

柏木 博×尾河洋一

青木国夫

吉田敏浩

黒川 創

大村次郷

園田恵子

児玉房子

中村一美

土橋とし子

関 曠野

小関智弘×吉岡 忍

清成忠男

村田徳治

赤木昭夫

笹谷高弘

江沢 洋×相磯秀夫

青木国夫

●遙かなる山の道——ミャンマー辺境物語②

山の道Ⅱ

●ミクロネシアから③

チャラバル（仕事）と人口問題

●新アジア・グラフィティ⑬

英雄——誰もが英雄を抱いて生きている

●グラフィケーション・アベニュー

「音楽」音楽の「ポストモダン以後」——ワールドミュージックからエグザイル・ポップへ

＊表四

吉田敏浩

島田興生

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

中上 清

土橋とし子

森 毅

廣末 保×服部幸雄

有澤 誠

佐伯隆幸

赤木昭夫

鎌澤久也

軽部征夫×尾河洋一

黒川 創

吉田敏浩

青木国夫

大村次郷

谷口 雅

児玉房子

松本陽子

### 四月号 通巻二二七号◎特集Ⅱ技術のネットワーク

＊表紙「慧可」

●サイコロ画報②

路地は狭い道

技術が体現するもの

●対談・技術と人間④

町工場のネットワーク

地域間ネットワーク考

●インタビュー

木の上のサルはゴミ問題に気づかない

●アインシュタインにおける創造性の研究⑤

もし光の速度で光の波を追いかけると

●move 90

Plants——「断層図鑑」シリーズより

●ゼロックス・サロン③⑩

ミクロとマクロ

●いま科学博物館が面白い②

博覧会と博物館

### 六月号 通巻二二八号◎特集Ⅱ連続と不連続

＊表紙

●サイコロ画報③

視覚と聴覚

文化の連続性

●対談・技術と人間⑤

いま、なぜ江戸文化なのか

アナログの復権？

●インタビュー

演劇はどこへ行こうとしているのか

●アインシュタインにおける創造性の研究⑥

モーツアルトのヴァイオリン・ソナタ

●move 90

風雨橋のある村

●ゼロックス・サロン⑪

なぜバイオなのか

●現代ニッポンらんどすけーぶ⑩

地図を描く

●遙かなる山の道——ミャンマー辺境物語③

鉄と山刀

●いま科学博物館が面白い③

東と西の博物館

●新アジア・グラフィティ⑭

獅咬剣——剣を咬んで、にらみをきかす獅子

●グラフィケーション・アベニュー

「写真」いま、写真に何が可能か

＊表四

### 八月号 通巻二二九号◎特集Ⅱ自然の共生システム

＊表紙「エフライムの山地」

●サイコロ画報④

父親  
エコロジーパークをめざして

●対談・技術と人間④⑥  
生きものの談義

植物のことば——植物情報物質の研究  
沙漠のエコロジー

●インタビュアー  
都市は干潟に支えられている

●move 90  
南の風

●ゼロックス・サロン③②  
女性と科学

●現代ニッポンらんどすけーぷ⑪  
羅城門にて

●遙かなる山の道——ミャンマー辺境物語④  
焼畑——豊穡の場

●いま科学博物館が面白い④  
新しい波

●新アジア・グラフィティ⑮  
古代都市——二千年前にすでに完成された都市があった

●グラフィケーション・アベニュー  
「映像」恋愛の純粹形態——J・ドワイヨン論

十月号 通巻二四〇号◎特集Ⅱ異文化交流のすすめ

●表紙「意勢28」  
サイコロ画報⑤

名前  
文化の壁をいかに越えるか——内なる民際交流

●対談・技術と人間④⑦  
ボーダーレス時代を生きる

アジアの映画と日本人  
からいも交流十年

●move 90  
ヴェネチア・中世の夢

●インタビュアー  
アジア・ユース・オーケストラの試み

●ゼロックス・サロン③③

土橋とし子  
沼田 眞

日野啓三×奥本大三郎  
林 七雄

高田 勝

秋山章男

島田興生

猿橋勝子×相磯秀夫

黒川 創

吉田敏浩

青木国夫

大村次郷

田中聡志  
児玉房子

中村 功

土橋とし子  
李 仁夏

中田正一×岩崎重義

佐藤忠男  
加藤憲一

鶴田育子

小瀧達郎

リチャード・パンチャス

水土の再生に向けて

●遙かなる山の道——ミャンマー辺境物語⑤  
稲の魂

●いま科学博物館が面白い⑤  
多種多様な博物館

●新アジア・グラフィティ⑮  
絨毯——それに坐ると楽園へ行かれるような気がする

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」アメリカのデザインと社会主義圏

十二月号 通巻二四一号◎特集Ⅱ暮らしのネットワーク

●表紙「Mind」  
サイコロ画報⑥

食欲  
アメリカの新しい「草の根」の波——地球を救うために市民が企業をチェック

●対談・技術と人間④⑧  
暮らしを見直す市民の目

●電子ネットワーク文化の光と影  
●インタビュアー  
ミニコミ・ネットワークキングに向けて

●move 90  
フィリピン花嫁

●ゼロックス・サロン③④  
国際化時代の技術者教育

●ポーランドの短編小説  
茨の棘

●遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑥  
山の新室祝い

●いま科学博物館が面白い⑥  
日本の科学博物館——科学博物館の時代

●新アジア・グラフィティ⑮  
告知板——伝えるべきことは、誰もが集まる水場の巨岩に刻まれていた

●グラフィケーション・アベニュー  
「都市」橋づくし 90's

●表四

室田 武×尾河洋一

吉田敏浩

青木国夫

大村次郷

柏木 博  
児玉房子

吉川民仁

土橋とし子  
船瀬俊介

暉峻淑子×佐高 信

松岡裕典

丸山 尚

飯田典子

西村 肇×相磯秀夫

エマ・ポピック（つかだみちこ訳）

吉田敏浩

青木国夫

大村次郷

上野俊哉  
児玉房子

## 二月号 通巻二四二号◎特集Ⅱ統合・融和・混沌

\*表紙「untitled」

サイコロ画報⑦

テスト勉強

現代経済分析にレギュラシオン・アプローチがなぜ必要なのか

●対談・知の交差点①

時代を読む——ドイツから日本を見る

メディア融合時代のリアリティー

●インタビュー

ワールド・ミュージックって何やねん

●流動91

チベットの春

●ゼロックス・サロン③⑤

アモルファスをめぐって

●新数学巷談①

民族はグルメから

●ペレストロイカ以後①

ハイパーモラリズム批判

●遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑦

発酵文化の源

●遺跡と人間①

エスノアーケオロジーへの道

●新アジア・グラフィティ⑧

●聖地——メコンを渡ると聖地が広がっていた

●グラフィケーション・アベニュー

「写真」表情を変える写真

\*表四

## 四月号 通巻二四三号◎特集Ⅱハイパーメディア

\*表紙「untitled」

●サイコロ画報⑧

虫歯

ハイパーメディアの可能性

●対談・知の交差点②

人工現実をめぐって

ハイパーメディア時代のTV

●インタビュー

ファミコンの向こうに未来が見える

依田寿久

土橋とし子

平田清明

三島憲一×粉川哲夫

西垣 通

田川 律

劉 向東

米沢富美子×尾河洋一

森 毅

浦 雅春

浦 雅春

森 毅

浦 雅春

●流動91

フアーネスの夢

●ゼロックス・サロン③⑥

マイクロナシンの世界

●新数学巷談②

芸能するアカデミズム

●ペレストロイカ以後②

ファサードと勲章

●遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑧

塩——山の民の宝

●遺跡と人間②

渦巻きの考古学

●新アジア・グラフィティ⑨

將軍——李舜臣提督の銅像は日本史の裏面を教えてください

●グラフィケーション・アベニュー

「写真」ロッセリーニ・ナウ

\*表四

## 六月号 通巻二四四号◎特集Ⅱエコロジーと経済の間

\*表紙「Water-Air-Life」

●サイコロ画報⑨

虫歯のつづき

日本の森林を想う——草刈り十字軍の体験から

●対談・知の交差点③

エコロジー経済学に向けて

●ナショナル・トラスト運動の現在

●インタビュー

鯨を見ながら考えた

●流動91

あの夕陽・グダニスクの造船所より

●ゼロックス・サロン③⑦

地球環境を考えるヒント

●新数学巷談③

緑よりカビ

●ペレストロイカ以後③

雪解けと負の遺産

●遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑨

文様の宇宙

小椋利文

藤正 巖×相磯秀夫

森 毅

浦 雅春

- 遺跡と人間③  
化石人類を求めて
- 新アジア・グラフィティ⑳
- 塔——見上げれば仏塔群が限りなく立っていた
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」戦争のグラフィック・デザイン

八月号 通巻二四五号◎特集Ⅱ 枠をはずす

- \*表紙「Abandoned Buildingのためのエスキース」
- サイコロ画報⑩
- 電話がきた

学問の枠組みをはずす必要と困難と——学際的共同研究三十年の経験から

- 対談・知の交差点④
- 古代史研究の方法をめぐる
- あるとき小岩井農場で——二人の男の出会い
- インタビュー
- もつと雑に、もつとオープンに
- ミクロネシアから④
- マーシャル借家事情
- 流動91
- 台湾の像
- ゼロックス・サロン③⑧
- 機械が感情を持つ日
- 新数学巷談④
- 粋のあしらい
- ペレストロイカ以後④
- レトロ、あるいは「私」の解放
- 遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑩
- 山の道の歌声
- 遺跡と人間④
- 南海の神々
- 新アジア・グラフィティ⑳
- 案内記——モザイクに描かれている絵は町の案内記だった
- グラフィケーション・アベニュー
- 「メディア」視聴覚メディアとしてのクルマ

山田宗睦×古田武彦  
力丸光雄

宮本憲一

土橋とし子

楠本正明

山木葉子

大村次郷

柏木 博

山木葉子

大村次郷

上野和男

浦 雅春

森 毅

安西祐一郎×相磯秀夫

渡辺 眸

- 夏の思い出
- 華やぐモード あやうい性
- 対談・知の交差点⑤
- ナンデモアリ社会の若ものたち
- 〈性の歴史〉SF版——ギブスン&スターリング『ディファレンス・エンジン』を再読する
- インタビュー
- 性の境界線を超えるマンガ
- ミクロネシアから⑤
- マーシャル・マジック
- 流動91
- 脳神殿都市パリ
- ゼロックス・サロン③⑧
- 森林文化の再生のために
- 新数学巷談⑤
- セックスより文化
- ペレストロイカ以後⑤
- イデオロギーの黄昏
- 遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ）辺境物語⑩
- 不思議な話
- 遺跡と人間⑤
- 都市考古学の曙
- 新アジア・グラフィティ⑳
- 博物館——砂漠に残されたダリウスの遺産
- グラフィケーション・アベニュー
- 「映像」「アタランタ号」を待ち望みながら

内山 節×尾河洋一

森 毅

浦 雅春

吉田敏浩

上野和男

大村次郷

田中聡志

児玉房子

辰野登恵子

土橋とし子

洪沢孝輔

鈴村和成×大島 洋

山口佳己

重村 力

十二月号 通巻二四七号◎特集Ⅱ アルチユール・ランボオ

- \*表紙「UNTITLED 90-13」
- サイコロ画報⑫
- うそのようなうその話
- ランボー 無類の越境家
- 対談・知の交差点⑥
- ランボオの足跡を訪ねて
- ランボー、アフリカ、逃げる大陸——ランボーはなぜ南をめざしたか
- 「酔ひどれ船」をめぐる——ランボーと建築の想像力世界
- 流動91
- 田舎の暮らし
- ゼロックス・サロン④⑩
- サイエンスアートの現在

坂根巖夫×相磯秀夫

杉田 徹

重村 力

山口佳己

大島 洋

鈴村和成

辰野登恵子

土橋とし子

洪沢孝輔

大島 洋

山口佳己

重村 力

坂根巖夫×相磯秀夫

杉田 徹

# 1992

- 新数学巷談⑥
- 文化にとつての時間と空間
- ペレストロイカ以後⑥
- 「女性化」という名の搾取
- 遙かなる山の道——ミャンマー（ビルマ） 辺境物語⑫
- 山の道Ⅲ
- 遺跡と人間⑥

森 毅  
浦 雅春  
吉田敏浩

- ホログラフィーになったドルイド僧
- 新アジア・グラフィティ⑫
- 猿——猿の図像が私を引き寄せた
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」砂漠都市の日用品リサイクル

上野和男  
大村次郷  
柏木 博  
児玉房子

## 二月号 通巻二四八号◎特集Ⅱ生命をめぐる

- \*表紙「ゲーム・オーヴァー・シリーズ」より
- 原宿空中棲息記①
- 千駄ヶ谷三丁目
- 生命と小説
- 対談・知の交差点⑦
- ハイパーメディアと人工生命
- 生物と無生物の間
- インタビュー
- 生命誌のひろがり
- Knaos 92
- ニューギニア・生命の輝き
- ゼロックス・サロン④①
- 医の哲学に向けて
- 新数学巷談⑦
- 進化論の構図
- 近代のトレース①
- 明治元年の灯台——千葉県野島埼灯台
- 少数民族が躍動する古の道①辻
- 山あいに佇むチャン族
- ハーレムの人々①
- バニース 南部へは帰らない
- 新アジア・グラフィティ⑭②④
- 蛇——大蛇の胴体で綱引きをする神々と阿修羅
- グラフィケーション・アベニュー
- 「メディア」遠くに行き、遠くを近くにするマシン

普後 均  
下谷二助  
増田みず子  
異 孝之×浜野保樹  
藤永太一郎×紀本岳志  
中村桂子  
石川 梵  
中川米造×尾河洋一  
森 毅  
齋藤一夫  
鎌澤久也  
辻 信一／トミー富田  
大村次郷  
上野俊哉  
児玉房子  
今 道子

## 六月号 通巻二五〇号◎特集Ⅱ遊べない日本人

- 原宿空中棲息記②
- ネズミ捕りを東にすると…
- 笑いの種
- 対談・知の交差点⑧
- 東の笑い、西の笑い
- 笑いの純粹培養
- インタビュー
- 面白いアクション映画がないから喜劇映画も元気が出ない
- Knaos 92
- 砂と記憶
- ゼロックス・サロン④②
- 地球家政治のすすめ
- 新数学巷談⑧
- 人生は笑いの芸
- 近代のトレース②
- 国利民福の事業——利根運河（千葉県）
- 少数民族が躍動する古の道②
- イ族の火祭り
- ハーレムの人々②
- レスリー・スタンレー Jr. 赤と黒
- 新アジア・グラフィティ⑮⑤
- 闘鶏——敗れた鶏はボロ雑巾のように捨てられた
- グラフィケーション・アベニュー
- 「写真」ドキュメンタリー写真はいま

下谷二助  
山元清多  
池内 紀×松山 巖  
土橋とし子  
山根貞男  
田中栄一  
村上陽一郎×相磯秀夫  
森 毅  
齋藤一夫  
鎌澤久也  
辻 信一／トミー富田  
大村次郷  
谷口 雅  
児玉房子  
北島敬三  
下谷二助

広告遊びである——あるいは大貫卓也の仕事について

天野祐吉

●対談・知の交差点⑨

日本人の仕事・遊び・休日観

中村達也×葉山 滉

捨挽き捨絞りは碁や将棋と似て

小関智弘

●インタビュ

大いなるものとの交流

宮内勝典

●Kraos 92

アイランド——石と風の島

みやこうせい

●ゼロックス・サロン⑬

自然が不思議だから解明したくなる

大槻義彦×尾河洋一

●新数学巷談⑩

怠けもんに憧れて、忙しゅうしてます

森 毅

●近代のトレース③

開化の都市のシンボル——レンガ製造

齋藤一夫

●少数民族が躍動する古の道③

ポー人の謎の懸棺

鎌澤久也

●ハーレムの人々③

ルビー すばらしい名前

辻 信一／トミー富田

●新アジア・グラフィティ⑳

象——その大きな姿態は釈尊の奇跡を表わすのに好都合だった

大村次郷

●グラフィケーション・アベニュー

〔映画〕頽廃する諸機械とアメリカニズム

田中聡志

●表四

児玉房子

### 八月号 通巻二五二号◎特集Ⅱアジア・海からの視点

●表紙「すべての川はメコンにそそぐ」(タイ東北部)

倉田精二

●原宿空中棲息記④

猫とエセ文化人

下谷二助

海を通しての交流——日本列島にあるもう二つの文化

藤本 強

●対談・知の交差点⑩

アジアの海辺から

村井吉敬×足立倫行

●ビルマ辺境の山から東シナ海へ

●インタビュ

吉田敏浩

ゆらゆらと風に吹かれて多島海

島田興生

●Kraos 92

トラジャ・山の靈気に包まれて

石川 梵

●ゼロックス・サロン⑭

音環境の研究を通して文化を問う

大橋 カ×相磯秀夫

●新数学巷談⑩

島を未来都市に

森 毅

●近代のトレース④

在来技術の近代化——絹織物

齋藤一夫

●少数民族が躍動する古の道④

鎌澤久也

モンゴルウルクスの未裔たち

●ハーレムの人々④

フランコ・ザ・グレート バラはハーレムに育つ

辻 信一／トミー富田

●新アジア・グラフィティ⑳

摩迦羅——仏教への回心を迫る怪魚

大村次郷

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕グラフィック・デザインの力を再認識させる試み——平野甲

柏木 博

賀「文字の力」展

児玉房子

●表四

### 十月号 通巻二五三号◎特集Ⅱ科学と宗教

●表紙「カフェイン」

秋山 実

●原宿空中棲息記⑤

カエル異変

下谷二助

●物理学者と宗教

●対談・知の交差点⑪

批判的科学与批判的宗教のために

佐々木力×赤木昭夫

●VR時代の宗教は？

●インタビュ

植島啓司

●植物国家・江戸の思想

●Kraos 92

chrome yellow

石川英輔

●ゼロックス・サロン⑮

東京一極集中を考える

伊藤 滋×尾河洋一

●新数学巷談⑪

科学も宗教も人間の癖

森 毅

●近代のトレース⑤

近代に挑む幕末の大事業——反射炉

齋藤一夫

●少数民族が躍動する古の道⑤

雲南最大の人口を誇るイ族

鎌澤久也

●ハーレムの人々⑤

●ポビー・ロビンソン スウィンギン・イン・ハーレム

●新アジア・グラフィティ⑳

麒麟——徳のある人は麒麟に乗ってやってくる

辻 信一／トミー富田

●グラフィケーション・アベニュー

〔都市〕明日の都市と記憶の都市

大村次郷

●表四

中川道夫

児玉房子

### 十二月号 通巻二五三三号◎特集Ⅱマルチメディアの周辺

●表紙「マテリアル・ラビリンス」

伊奈英次

# 1993

## 二月号 通卷二五四号◎特集Ⅱ先住民族の視点

＊表紙「A TRAVERS LA TUNISIE」より

●原宿空中棲息記⑦  
遊びに飽きる

七代先までの人々のために

「ホピとアイヌの長老の対話」生命あるものすべてに向けて

二艘のカヌー  
インタバビュー  
スピリチュアルな転換  
光芒93  
サン・サルバドルから  
ゼロックス・サロン④⑦  
抑制でなく積極的な姿勢こそが地球を救う  
新数学巷談⑬  
国民国家の終焉  
僕の出会った自然人たち①  
我が師 高野伸二  
少数民族が躍動する古の道⑦  
麗しの町——ナシ族のふるさと  
ハーレムの人々⑦  
ロニー・ヤングブラッド ハーレムのプリンス 辻 信一／トミー富田  
新アジア・グラフィティ⑩③⑩  
牛——そのゆるやかな動きは生命を育む速度に似ている 大村次郷

下谷二助  
山直哉  
下谷二助  
山直哉  
下谷二助  
山直哉

デイヴィッド・スズキ  
エレン・ガブリエル  
ジャック・フォーブス  
デニス・グレイ  
竹内 啓×尾河洋一  
森 毅

伊藤俊治×榎木野衣  
杉山光信  
西垣 通  
村田信一  
廣瀬通孝×相磯秀夫

下谷二助  
山直哉  
下谷二助  
山直哉

メディアのなかのアカデミズム

●近代のトレース⑥

大工棟梁の発揮した創造力——初期洋風建築

●少数民族が躍動する古の道⑥

大理のペー族

●ハーレムの人々⑥

サラ・マンザノ ハーレムの虹

●新アジア・グラフィティ②⑨

ライオン——死者の霊を守るライオンたち

●グラフィティ・アベニュー

「メディア」ドライヴァーとデモクラシー

＊表四

森 毅

斎藤一夫

鎌澤久也

辻 信一／トミー富田

大村次郷

上野俊哉

児玉房子

齋藤さだむ

下谷二助

森まゆみ

久野 収

小瀧達郎

渡邊守章×相磯秀夫

森 毅

高田 勝

齋藤さだむ

下谷二助

森まゆみ

久野 収

小瀧達郎

渡邊守章×相磯秀夫

森 毅

高田 勝

齋藤さだむ

下谷二助

森まゆみ

久野 収

小瀧達郎

渡邊守章×相磯秀夫

森 毅

高田 勝

齋藤さだむ

下谷二助

森まゆみ

久野 収

小瀧達郎

渡邊守章×相磯秀夫

森 毅

高田 勝

齋藤さだむ

下谷二助

森まゆみ

久野 収

小瀧達郎

瀧沽湖畔に佇むモソー人

●ハレームの人々⑧

キース&ホワイト・クラウド ダンスイン・イン・ザ・ストリート

辻 信一／トミー富田

●新・アジア・グラフィティ⑩

鳳凰——そのとき皇帝は鳳凰と一体となった

大村次郷

●グラフィケーション・アベニュー

田中聡志  
児玉房子

＊表四

六月号 通巻二五八号◎特集Ⅱ農業の愉しみ

＊表紙「THE PALADISE LOST」

小泉美和

●原宿空中棲息記⑨

記憶

下谷二助  
安達生恒

●元気の出る農業のために

平野フキ×平野節子×角田良子

エル・コルティツホ・ソーナイの一日——三月三十一日、水曜日、晴れ

杉田 徹

●インタビュー

土の蘇りのために

安部清悟

●光芒93

都市は田園を夢みる

児玉房子

●ゼロックス・サロン④

自然と農業の再生に向けて

守山 弘×尾河洋一

●新数学巷談⑮

農と牧の流れ

森 毅

●僕の出会った自然人たち③

翔んでる『飛ばし屋ジロー』

高田 勝

●少数民族が躍動する古の道⑨

永昌古道のドウアン族

鎌澤久也

●ハレームの人々⑨

キエラ・フォスターIIバ 身も心も

辻 信一／トミー富田

●グラフィケーション・アベニュー

柏木 博  
児玉房子

＊表四

八月号 通巻二五七号◎特集Ⅱコレクション癖

＊表紙「1987・12・ako」myake 1991より

小川保司

●原宿空中棲息記⑩

自己確認のための作業

下谷二助  
海野 弘

●対談・知の交差点⑭

コレクション——集めることの意味

山中 恒×香内三郎

●渚の百科事典——漂着物博物学入門

石井 忠

●インタビュー

太田三郎

●光芒93

ORIENTAL HETEROPHONY

石黒健治

●ゼロックス・サロン⑤

マルチメディア環境を考える

奥出直人×相磯秀夫

●新数学巷談⑯

オタクの世界

森 毅

●僕の出会った自然人たち④

さすらいの鳥無宿

高田 勝

●少数民族が躍動する古の道⑩

山地民族リス族の刀杆節

鎌澤久也

●ハレームの人々⑩

ウィリアム・バップ・ゲイツ 跳べ、もつと高く

辻 信一／トミー富田

●グラフィケーション・アベニュー

中川道夫  
児玉房子

●「都市」閉ざされた都市

＊表四

十月号 通巻二五八号◎特集Ⅱ知的生産の技術再考

＊表紙「〈純粹〉時間のらせん」シリーズより

安田千絵

●原宿空中棲息記⑪

薔薇の主

下谷二助

●紙の時代から電子テクノロジーの時代への橋渡し

ユビキタスなコンピューター時代に向けて ジョン・シーリー・ブラウン

室 謙二

●対話

知的生産のための企業組織 ジョン・シーリー・ブラウン×野中郁次郎

熊坂賢次

●デジタル環境が創造性を目覚めさせる?

インタビュー

平野甲賀

●近代合理主義の枠をこわす

稲増龍夫×尾河洋一

●光芒93

首長族と竜伝説

石川 梵

●ゼロックス・サロン⑤

電子情報社会のゆくえ

森 毅

●新数学巷談⑰

編集の時代に

高田 勝

●僕の出会った自然人たち⑤

最後の山官

高田 勝

●少数民族が躍動する古の道⑪

創世神話に基づいたジンプー族の祭り

鎌澤久也

# 1994

- ハーレムの人々⑪  
シクル・シャンゲ もうひとつの故郷
- グラファイケーション・アベニュー  
「メディア」冷たい夏の奇妙な体験
- 表紙「革命の日・ブラハ」  
原宿空中棲息記⑫
- 黄昏の銀杏並木
- 身体尺——モジュールの東と西
- 対談・知の交差点⑮  
インターフェイスの東と西
- 楽器が伝えるもの
- インタビュー  
新たな関係の始まりに向けて
- 光芒93

辻 信一／トミー富田

加藤 到  
児玉房子

港 千尋

下谷二助  
小林繁樹

赤木昭夫×安村通晃  
中村とうよう

島田晴雄

- 家船の人々
- ゼロックス・サロン⑮
- 生き物のデザインは何で決まるか
- 新数学巷談⑱
- トークはポストモダン
- 僕の出会った自然人たち⑥
- 出会いそこなつた二人
- 少数民族が躍動する古の道⑳
- 国境を挟んだタイ族とシャン族
- ハーレムの人々⑫
- ユリ・コチャマ／ビル・コチャマ  
ブラック・アンド・イエロー
- グラファイケーション・アベニュー  
〔写真〕フェード・アウトする写真
- 表紙「WSB 2」

島田興生

本川達雄×相磯秀夫

森 毅

高田 勝

鎌澤久也

辻 信一／トミー富田

谷口 雅  
児玉房子

## 二月号 通巻二六〇号◎特集Ⅱ経済学は有効か

- 表紙「WORK 1992-2」
- おさしみタラコの日①  
居眠りするコンピュータ
- 時短の泉
- 対談・知の交差点⑯  
よき仕事人として生きる
- 新しい経済学の模索——エコロジーとレギュレーション理論
- インタビュー  
真ん中が空洞化するなら外枠で残ろうよ
- curve 94  
西域
- ゼロックス・サロン⑮
- 利己的DNAを超えて
- 科学は自由だ①
- 個性の現実と異能
- 僕の出会った自然人たち⑦
- 天駆けよ……
- アジア・海人文化考①
- 海の狩り人——レンバタ島（上）
- ハーレムの人々⑬

二村裕子

キタノヒカル  
港 千尋

中村達也×内山 節

工藤秀明

小関智弘

青柳健二

多田富雄×尾河洋一

江沢 洋

高田 勝

石川 梵

- メルバ・ウイilson  
メルバはメルバ
- グラファイケーション・アベニュー  
「デザイン」豚肉の角煮を美術品として愛でる
- 「ストリート」屋台村はなぜうけるか
- 表紙

辻 信一／トミー富田

柏木 博

中川道夫  
児玉房子

石川順恵

キタノヒカル  
池内 紀

柏木 博×高橋敏夫

杉山光信

井狩春男

## 四月号 通巻二六一号◎特集Ⅱ読者の変容

- 表紙「WSB 2」
- おさしみタラコの日②  
電車の遊びかた
- 読む愉しみ
- 対談・知の交差点⑰  
ほんとうの読者はどこにいるか
- 読者の成立と変容——青表紙本から電子ブックへ
- インタビュー
- 井狩流ベストセラー必勝講座
- curve 94
- アポロ劇場 菅原光博
- ゼロックス・サロン⑮
- 人口生命——科学の拡張
- 科学は自由だ②

佐倉 統×相磯秀夫

W H Yと問う力 江沢 洋

●僕の出会った自然人たち⑧ わが雇い人 高田 勝

●アジア・海人文化考② 海の狩り人——レンバタ島(中) 石川 梵

●ハーレムの人々⑭ ヴァレリー・ストーファー ボーダーに生きる 辻 信一／トミー富田

●グラフィケーション・アベニュー 「音楽」音で聴く二十世紀秘史 上野俊哉

●「メディア」マルチメディアのお勉強の課題 平木 収

●表四 児玉房子

●六月号 通巻二六二号◎特集Ⅱユビキタス・遍在の時代 半谷 学

●表紙「TANA(獣の穴)」 おさしみ・タラコの日③ 平谷 学

●おさしみ・タラコの日③ 張り込み キタノヒカル

●「対抗リアリティ」とデジタルの快感 稲増龍夫

●対談・知の交差点⑧ デジタル環境と人間 室井 尚×熊坂賢次

●境界を越え合うメディア 粉川哲夫

●インタビュー 野々村文宏

●ユビキタス・コンピューティングをめぐる 鎌澤久也

●curve 94 茶の祖先 佐伯 胖×尾河洋一

●ゼロックス・サロン⑤⑤ 共感する力を育てる 江沢 洋

●科学は自由だ③ デモの感動 高田 勝

●僕の出会った自然人たち⑨ 高山蛾コンビ 石川 梵

●アジア・海人文化考③ 海の狩り人——レンバタ島(下) 辻 信一／トミー富田

●ハーレムの人々⑮ 坂口美樹 ソウル・シスター 加藤 到

●グラフィケーション・アベニュー 「映像」ビデオレターという映像文体 柏木 博

●「デザイン」深圳のデザインに中国の現在を見る 児玉房子

●表四

●八月号 通巻二六三号◎特集Ⅱアノニマスとデザイン 川俣 正

●表紙 ロンドンのAnnelly Juda Fine Artのインスタレーションのための

●表紙 ドローイング

●おさしみタラコの日④ ひま人 キタノヒカル

●新しいコラボレーションの精神 伊藤俊治

●対談・知の交差点⑨ アノニマス・デザインの旅 藤塚光政×秋田 寛

●アノニマス・ファントムの肌ざわり 上野俊哉

●インタビュー 無名であること、無償であること、自由であること 砂孟富男

●curve 94 パレード トシ松尾

●ゼロックス・サロン⑤⑥ 電子彫刻からメディア・アートへ 藤幡正樹×相磯秀夫

●科学は自由だ④ 頭脳明晰につき休講 江沢 洋

●僕の出会った自然人たち⑩ 無頼派自然人 高田 勝

●アジア・海人文化考④ スンバ島の幻の儀式パッソーラ 石川 梵

●日本路地考① ジャンジャン横丁Ⅱ大阪 海野 弘

●グラフィケーション・アベニュー 「ストリート」街は自転車にのって 中川道夫

●「デザイン」アメリカの科学技術博物館で 柏木 博

●表四 児玉房子

●十月号 通巻二六四号◎特集Ⅱ大煙突をめぐる物語 松本陽子

●表紙 ドローイング「習作」 鳴呼、ハワイのおじさん キタノヒカル

●おさしみタラコの日⑤ 産業考古学からみる日立鉱山の大煙突 青木国夫

●ある町の高い煙突「はなぜ建ったか 煙害は父の大学でした 編集部

●アルバムから(大正・昭和) 写真家・関右馬允 関勝馬

●インタビュー 写真家・関右馬允 飯沢耕太郎

●大煙突ができるまで——関右馬允と久原房之助 菅井益郎

●curve 94 どうもろこしの人間たち デニス・グレイ

●ゼロックス・サロン⑤⑦ いま土木遺産が面白い 伊東 孝×尾河洋一

●科学は自由だ⑤ 物理オリンピック 江沢 洋

# 1995

● 僕の出会った自然人たち①  
あれッ、あの時の……

● アジア・海人文化考⑤  
陸に上がった海人、トラジャ族

● 日本路地考②  
神戸チャイナタウン

● グラファイケーション・アベニュー  
「写真」七〇年代スタイルの復活  
「デザイン」デザイン博物館としてのスミソニアン

● 表四

## 十二月号 通巻二八五号◎特集Ⅱ知の共有化

● 表紙「U.V.-16」

● おさしみタラコの日⑥

● わが家の居候

● 知の共有から情報の加工流通へ

● 対談・知の交差点⑩

● 電子本時代の「知の共同」を探る

● ネットワークと「新しい智」

高田 勝

石川 梵

海野 弘

谷口 雅

柏木 博

東島 毅

キタノヒカル

佐倉 統

紀田順一郎×津野海太郎

会津 泉

● インタビュー

創造的なチームづくりは梁山泊スタイルで

● curve 94

● 海の他界、山の異界

● ゼロックス・サロン⑤⑧

● ネットワークで知が変わる、社会が変わる

● 誇りと理科教育

● 僕の出会った自然人たち⑫

● 拾いの神、救いの神

● アジア・海人文化考⑥

● 神々の楽園——バリ

● 日本路地考③

● 西陣京極Ⅱ京都

● グラファイケーション・アベニュー

● 「音楽」マルコム、マニック、今ひとたびの

● 「デザイン」二十世紀が生んだデザインの「建て売り」

● 表四

名越稔洋

酒井 敦

那野比古×相磯秀夫

江沢 洋

高田 勝

石川 梵

海野 弘

上野俊哉

柏木 博

児玉房子

## 二月号 通巻二八六号◎特集Ⅱ知的好奇心を育てる

● 表紙「Canary 49301」

● おさしみタラコの日⑦

● 子どもの口

● 知的好奇心の解放のために

● 対談・知の交差点⑪

● 学問の開放系をつくる

● 正解のないコンクール——数学特別研究攻撃隊の日々

● インタビュー

● 里山のフィールドから

● 形象 95

● ナナイの精霊たち

● ゼロックス・サロン⑤⑨

● 画像解析から宇宙考古学へ

● 科学は自由だ⑦

● イギリスの科学普及活動

● 僕の出会った自然人たち⑬

● 混乱に生きる研究者

赤塚祐二

キタノヒカル

森 毅

養老猛司×小林康夫

四方義啓

今森光彦

新井利男

坂田俊文×尾河洋一

江沢 洋

高田 勝

## 四月号 通巻二八七号◎特集Ⅱマニュアル考

● 表紙「Old Pond, Once upon a time」

● おさしみタラコの日⑧

● み・ん・な・の・う・た

● 機械にニンベンをつけて仕事をする

● 対談・知の交差点⑫

● マニュアルを超えて

● マニュアルのつくり方

● インタビュー

● アジア・海人文化考⑦

● ニューギニア島とカニバリズム(上)

● 日本路地考④

● 奈良町界限Ⅱ奈良

● グラファイケーション・アベニュー

● 「デザイン」電子時代のブリコロール的デザイン

● 「ストリート」野菜は人間関係を活性化する?

● 表四

石川 梵

海野 弘

柏木 博

中川道夫

児玉房子

齋藤隆生

キタノヒカル

小関智弘

桜井哲夫×芹沢俊介

津野海太郎

パートタイム・フレネで、それぞれが自前のマニュアルをつくる 村田栄一  
● 形象95

京葉マリンドリーム 大西みつぐ

● ゼロックス・サロン<sup>60</sup> 池田清彦×相磯秀夫

● 多元主義社会と生物学の関係

● 科学は自由だ<sup>8</sup> 江沢 洋

● 「物理」は「化学」の後だなんて！

● 僕の出会った自然人たち<sup>14</sup> 高田 勝

● 三多摩の夢中男

● アジア・海人文化考<sup>8</sup> 石川 梵

● ニューギニア島とカニバリズム(下)

● 日本路地考<sup>5</sup> 海野 弘

● 熱海温泉街Ⅱ熱海

● グラフイケーション・アベニュー

● 「写真」時代と写真の関連を問う

● 「デザイン」極限生活のためのデザイン

● 表四 横浜ビジネス・パークで 児玉房子

● 表紙「楯田の構造」

● おさしみタラコの日<sup>9</sup> 高木 修

● おごられ運 浅草編

● 映画という見世物

● 対談・知の交差点<sup>23</sup> 木下直之

● たまにはゆつくり写し絵談義

● メディアをひらく——広重と江漢によせて

● インタビュー 結城孫三郎×佐藤 信

● ピクチャレスクな江戸をめぐる

● 形象95 赤木昭夫

● クルディスタン 岸田圭司

● ゼロックス・サロン<sup>61</sup> 鈴木志郎康×尾河洋一

● コンピューターで詩をつくると

● 科学は自由だ<sup>9</sup> 江沢 洋

● フィリップに負けるぞ

● 僕の出会った自然人たち<sup>15</sup> 高田 勝

● 海の向こうから来たヒゲ男

● アジア・海人文化考<sup>9</sup> 石川 梵

● 続・海の狩り人——レンバタ島(上)

● 日本路地考<sup>6</sup> 海野 弘

● 常滑やぎもの散歩道

● グラフイケーション・アベニュー

● 「デザイン」清潔をデザインしてきたモダンデザイン

● 柏木 博

● 「言語生活」筆蝕という否応なき

● 表四 静岡・清水港で 中村 裕

● 表紙「The Black Chair Series」 斎藤規矩夫

● おさしみタラコの日<sup>10</sup> キタノヒカル

● おごられ運 ドヤ街編

● 時の越境者

● 対談・知の交差点<sup>24</sup> 粉川哲夫×宮内勝典

● 旅・ネットワーク・縁

● ゲームの中の旅 山下恒男

● インタビュー

● アジアを旅する若ものたちの肖像

● 形象95 小林紀晴

● スリランカ

● ゼロックス・サロン<sup>62</sup> 木村雅英

● インターネット事始め

● 科学は自由だ<sup>10</sup> 村井 純×相磯秀夫

● 科学を見る世間の目

● 僕の出会った自然人たち<sup>16</sup> 江沢 洋

● 密漁者

● アジア・海人文化考<sup>10</sup> 高田 勝

● 続・海の狩り人——レンバタ島(中)

● 日本路地考<sup>7</sup> 石川 梵

● 佐渡の宿根木

● グラフイケーション・アベニュー

● 「デザイン」十九世紀的博覧会の終焉

● 「ストリート」旅の指南書

● 表四 モロッコで 海野 弘

● 柏木 博

● 中川道夫

● 児玉房子

● 丹・クリステンセン

● 肉筆の記録が大切

● 対談・知の交差点<sup>25</sup> 黒田 清

● 新しい歴史の切り口を求めて——記録と伝承のあいだ

● チェルノブイリに行つて、画家は何をしたか

● インタビュー

● 記録と表現のはざま

● 形象95 江成常夫

● まぼろし国・満洲

● 江成常夫

● 江成常夫

● 江成常夫

● 江成常夫

# 1996

●ゼロックス・サロン<sup>63</sup>  
電子図書館で何が変わるか

●科学は自由だ<sup>11</sup>  
漱石と物理

●僕の出会った自然人たち<sup>17</sup>  
神様心得

●アジア・海人文化考<sup>11</sup>  
続・海の狩り人——レンバタ島(下)

●日本路地考<sup>8</sup>  
岐阜・柳ヶ瀬

●グラフィケーション・アベニュー  
〔写真〕欠落していた文脈・時代を回復

●「デザイン」デザインのは弱くなったのか  
\*表四 モロッコで

長尾 真×尾河洋一

江沢 洋

高田 勝

石川 梵

海野 弘

谷口 雅

柏木 博  
児玉房子

十二月号 通巻二七二号◎特集Ⅱ産業考古学の視点

\*表紙「Pussy Willows」  
●おさしみタラコの日<sup>12</sup>  
怪しいおっさん

●昔の技術を現代にどう生かすか——産業考古学のすすめ  
●対談・知の交差点<sup>26</sup>

ノーマン・W・ルイス

キタノヒカル  
三輪茂雄

近代日本の夢の跡を旅して  
産業遺産の保存は町おこし

●インタビュアー  
アミ点は生きている

●形象95  
日本の科学者

●ゼロックス・サロン<sup>64</sup>  
獨創性を育てる教育に向けて

●科学は自由だ<sup>12</sup>  
人生の半分を生きた小世界

●僕の出会った自然人たち<sup>18</sup>  
我が良きライバル

●アジア・海人文化考<sup>12</sup>  
続・海の狩り人——レンバタ島へエピローグ

●日本路地考<sup>9</sup>  
蔵の町・稲荷山——北信濃

●グラフィケーション・アベニュー  
〔デザイン〕トロントの『ポップ・イン・オービット』展  
〔言語生活〕動植物名のカタカナ表記

\*表四 秩父で

松山 巖×早坂元興

青木国夫

三田 誠

宮尾飛古

西澤潤一×相磯秀夫

江沢 洋

高田 勝

石川 梵

海野 弘

柏木 博  
中村 裕  
児玉房子

二月号 通巻二七二号◎特集Ⅱ環境・リサイクル考

\*表紙「ハイパーゴンの夢」  
●熊野木の葉書き<sup>1</sup>  
クロに話して聞かせたこと

●リサイクルの考え方——ゴミを資源に  
●対談・知の交差点<sup>27</sup>  
循環の経済学に向けて

●リサイクル文化をめざすデザイン  
エネルギーとライフスタイル

●インタビュアー  
環境教育は「ゴミリス」で

●Shoot 96  
チトワン・ジャングルとタルーの人々

●ゼロックス・サロン<sup>65</sup>  
発酵微生物が地球を救う

●アジア・海人文化考(番外編)①

田村彰英

宇江敏勝

村田徳治

室田 武×工藤秀明

竹原あき子  
榎屋治紀

村松浩幸

トーマス・L・ケリー  
小泉武夫×尾河洋一

●アジアの民、サドウ(インド)

●日本路地考<sup>10</sup>  
長崎・館内町

●グラフィケーション・アベニュー  
〔ストリート〕注目される地下商城  
〔デザイン〕二十一世紀のデザイン不在の日本

\*表四

四月号 通巻二七三号◎特集Ⅱ若ものが社会と出会うとき

\*表紙「オン・ホリデー」から  
●熊野木の葉書き<sup>2</sup>  
みちのくの千本杵の餅

●なぜ若者は、成熟するのがむずかしいか  
●対談・知の交差点<sup>28</sup>  
「やさしさ」をめぐる

●フリーターという過ごし方

石川 梵

海野 弘

中川道夫

柏木 博  
田村彰英

新倉孝雄

宇江敏勝

橋爪大三郎

栗原 彬×桜井哲夫  
杉元侑一

二十才の「基本」

●インタビュ

それは自分自身のための叫びから始まった

●Shoot 96

イスラエルへの旅

●ゼロックス・サロン<sup>66</sup>

電脳時代を哲学する

●アジア・海人文化考〈番外編〉<sup>2</sup>

山へ——ラダックの秘儀

●日本路地考<sup>11</sup>

二条市場II札幌

●グラフィケーション・アベニュー

〔写真〕歩行と写真

〔デザイン〕都市デザインは救済可能か

＊表四

南原四郎

ドリアン助川

江見澤僕晃

黒崎政男×相磯秀夫

石川 梵

海野 弘

谷口 雅

柏木 博

新倉孝雄

●熊野木の葉書き<sup>4</sup>

移住者の悩み

メディアは創造する

●対談・知の交差点<sup>30</sup>

編集の愉しみ

中世のメディア編集者像

編集について私が知ろうとしている二、三の事柄

●インタビュ

小さな駅のポインター係を志して

●Shoot 96

天然の曼陀羅カイラス巡礼

●ゼロックス・サロン<sup>68</sup>

コンピュータ・リテラシーをめぐる

●アジアを往く<sup>2</sup>

パダウン族の首輪

●日本路地考<sup>13</sup>

伊予大洲

●グラフィケーション・アベニュー

〔映像〕デジタル化で映像が変わる？

〔ストリート〕ポトラッチの島

＊表四 フランス・ベルサイユ

宇江敏勝

大原まり子

柏木 博×森まゆみ

香内三郎

かわなかのぶひろ

松本昌次

鎌澤久也

西垣 通×相磯秀夫

石川 梵

海野 弘

加藤 到

中川道夫

児玉房子

安田千絵

宇江敏勝

吉田敏浩

辰濃和男×篠原 徹

土屋 哲

佐倉 統

岡 克己

大谷育緒

青木 保×尾河洋一

石川 梵

海野 弘

六月号 通巻二七四号◎特集II色彩・文明・テクノ

＊表紙「untitled」

●熊野木の葉書き<sup>3</sup>

われは黒鋏師

色即是形

●対談・知の交差点<sup>29</sup>

レトリックとしての色

彩色本の魅力

よみがえるルネサンスの色

●インタビュ

青いバラはなぜ咲かないか

●Shoot 96

透間

●ゼロックス・サロン<sup>67</sup>

アールキユーブ実現への道

●アジアを往く<sup>1</sup>

砂漠の民

●日本路地考<sup>12</sup>

那覇の壺屋界限

●グラフィケーション・アベニュー

〔言語生活〕大阪弁とマスメディア

〔デザイン〕フランクフルトで蕎麦をつくる

＊表四

今福龍太×岡部憲明

鹿島 茂

赤木昭夫

武田幸作

住友 博

館 暲×尾河洋一

石川 梵

海野 弘

中村 裕

柏木 博

石元泰博

宇江敏勝

邊見泰子

石元泰博

十月号 通巻二七六号◎特集II自然知を考える

＊表紙「ロンドン セント・ポール大聖堂」

●熊野木の葉書き<sup>5</sup>

茶の木と茶粥

森の賜物と知恵の内宇宙

●対談・知の交差点<sup>31</sup>

みんな自然と遊んできた

〈気〉の文化とアフリカ序論

先端科学は文字知・自然知の二項対立を突き抜ける

●インタビュ

「風の学校」その後

●Shoot 96

マヤの末裔たち

●ゼロックス・サロン<sup>69</sup>

日本のシステムを問う

●アジアを往く<sup>3</sup>

黄金寺院——シーク教の総本山を訪ねて

●日本路地考<sup>14</sup>

名古屋の四間道

●グラフィケーション・アベニュー

辰濃和男×篠原 徹

土屋 哲

佐倉 統

岡 克己

大谷育緒

青木 保×尾河洋一

石川 梵

海野 弘

海野 弘

加藤 到

中川道夫

児玉房子

安田千絵

宇江敏勝

吉田敏浩

辰濃和男×篠原 徹

土屋 哲

佐倉 統

岡 克己

大谷育緒

青木 保×尾河洋一

石川 梵

海野 弘

海野 弘

加藤 到

中川道夫

児玉房子

安田千絵

宇江敏勝

吉田敏浩

辰濃和男×篠原 徹

土屋 哲

佐倉 統

岡 克己

大谷育緒

青木 保×尾河洋一

石川 梵

海野 弘

海野 弘

加藤 到

中川道夫

児玉房子

安田千絵

宇江敏勝

吉田敏浩

辰濃和男×篠原 徹

# 1997

〔写真〕当代香港視覚探索  
〔デザイン〕アムホルンの家を見る  
\*表四

谷口 雅  
柏木 博  
児玉房子

## 十二月号 通巻二七七号◎特集Ⅱ縦と横

\*表紙「結び目の両端に」

住友 博

●熊野木の葉書き⑥

宇江敏勝

紀州松煙墨

森 毅

アモルファスは座標の夢を見るか

関 曠野×石田友三

●対談・知の交差点③②

松山 巖

いま「隣人」について考えてみよう

岡部一明

タテヨコについて横になって考える

市民メディアとしてのインターネット——ネーダーグループのラブ氏を日本に呼んで

小林のりお  
宇江敏勝  
宇波 彰

## 二月号 通巻二七八号◎特集Ⅱデザインの視点から

\*表紙「ジャパニーズ・ブルー」より

小林のりお

●熊野木の葉書き⑦

干支の牛廻山

デザインとアイデンティティ論

宇江敏勝

●対談・知の交差点③③

宇波 彰

近代デザインは何をめざしたか

柏木 博×内田 繁

路地の精霊——寅さんの都市論

海野 弘

パブリック・アートって何だろう

高島平吾

●インタビュ—

冬澤末都彦

鉄筆が紡ぎ出すガリグラフィ—の世界

星図 97

●カンダハル——砂糖菓子の首飾り

富張佳子

●ゼロックス・サロン⑦①

松井孝典×尾河洋一

比較惑星学入門

石川 梵

●アジアを往く⑤

小野寺誠

●そして日本——伊勢神宮

里深文彦

●辺境への旅①

中川道夫

●極北ラップランド紀行——サーメ族のトナカイ狩り

小野寺誠

●ヨーテボリから①

里深文彦

●スウェーデンに住み始めて

中川道夫

●グラフィケーション・アベニュー

中川道夫

〔ストーリー〕ネコは坂道が好きらしい

●インタビュ—  
マンガの中のタテとヨコ  
●Shoot 96  
TIAN TAN——天壇  
●ゼロックス・サロン⑦②  
カオス・コンピューティングに向けて  
●アジアを往く④  
スリランカの森の僧  
●日本路地考⑮  
●日本の浦②福山  
●グラフィケーション・アベニュー  
〔デザイン〕十八世紀のデータベースのデザイン  
〔言語生活〕「話術」と話すことのマニユアル化

夏目房之介  
トシ松尾  
合原一幸×相磯秀夫  
石川 梵  
海野 弘  
柏木 博  
中村 裕  
児玉房子

〔映像〕映像による「うそ日記」

\*表四 岐阜・柳ヶ瀬

加藤 到  
児玉房子

## 四月号 通巻二七九号◎特集Ⅱもの見方を鍛える

\*表紙「暗い水」

山本 糾

●もぐらのだてめがね①

山本 糾

ある日、ボクに声がかかった

藪内正幸

●好奇心をきっかけに

池田清彦

●対談・知の交差点③④

池田清彦

理科教育の再生のために

江沢 洋×上條隆志

反哲学のすすめ

木田 元

家庭科には理科も社会も国語も入っている

名取弘文

●インタビュ—

寿岳 潤

誰でも同じ結果が得られる。これが科学というものです。

大西みつぐ

●星図 97

大西みつぐ

●温室の誘惑

坂村 健×相磯秀夫

●ゼロックス・サロン⑦②

坂村 健×相磯秀夫

●博物館の未来を考える

宇江敏勝

●熊野木の葉書き⑧

宇江敏勝

●那智四十八滝の寒行

小野寺誠

●辺境への旅②

小野寺誠

●中国大興安嶺紀行（一）——オロチオン狩猟民族と往く

小野寺誠

●ヨーテボリから②

小野寺誠

生命倫理から環境倫理へ

●モノづくりと知①

作らされているのではなく

●グラフィケーション・アベニュー

〔写真〕インターネットで写真を見る

〔デザイン〕忘れられた死のデザイン

\*表四 千葉・幕張

里深文彦

小関智弘

谷口 雅

柏木 博

児玉房子

複雑系としてのフラクタル

●インタビュ

雲を描く

●星図97

黄金の国のゴールデン・ロック

●ゼロックス・サロン⑦⑧

部分と全体の相互関係を探る——複雑系入門

●熊野木の葉書き⑩

奥駈け、峯を攀つて

●辺境への旅④

酷暑のベンガル紀行(二)——非常時下のツーリスト

●ヨーテボリから④

労働の人間化を求めて——ボルボ社ウデバラ工場の実験

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕最新・キムラSFカメラを見る

〔ストリート〕毛沢東の生地、韶山はいま

\*表四 新宿

高安秀樹

島倉二千六

鎌澤久也

金子邦彦×相磯秀夫

宇江敏勝

小野寺誠

里深文彦

柏木 博

中川道夫

児玉房子

吉村 朗

藪内正幸

鷺田清一

米沢 慧×吉田敏浩

宮田 登

隈 研吾

中澤まゆみ

スティーブ・ガードナー

名和小太郎×尾河洋一

宇江敏勝

小野寺誠

里深文彦

### 六月号 通巻二八〇号◎特集Ⅱ水をめぐって

\*表紙「カオール」

●もぐらのだてめがね②

常連さんは、ハラハラ、ドキドキ

雨をためる文化

●対談・知の交差点③⑤

人と川とのつき合い方を考える

水・エコロジーとコモン

沁み沁み思う——土と水の触れ合い

●インタビュ

水は最先端のエコ・テクノロジ

●星図97

ガンジス河口の人々

●ゼロックス・サロン⑦⑧

●熊野木の葉書き⑨

●奥駈けの出発

●辺境への旅③

●中国大興安嶺紀行(二)——オロチョン狩猟民族と往く

●ヨーテボリから③

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕アジアのデザインに現代デザインを見る

〔言語生活〕高度成長期における言葉の大量死

\*表四 ザルツブルグ

久保田昌治

小野寺誠

橋爪大三郎×尾河洋一

宇江敏勝

小野寺誠

里深文彦

小野寺誠

鈴木理策

中村 裕

児玉房子

柏木 博

鈴木理策

藪内正幸

宇波 彰

赤木昭夫

佐倉 統×吉永良正

赤木昭夫

### 十月号 通巻二八二号◎特集Ⅱ色彩・民俗・記号

\*表紙「無題」一九九四年 遼寧省丹東

●もぐらのだてめがね④

つ、つい、いつもの習慣が……

●都市の色

●対談・知の交差点⑦

茶髪の向こうに現代が見える

●日本人の色彩感覚

●インタビュ

光のシステムを再構築する

●星図97

●岩絵に出会う——よみがえるアメリカ先住民の魂

●ゼロックス・サロン⑦⑧

●熊野木の葉書き⑩

●奥駈け、心の同行

●辺境への旅⑤

●酷暑のベンガル紀行(二)——ジャーナリストを探せ

●ヨーテボリから⑤

●新しい知のスタイルを求めて——スウェーデンにおける「アジア研究」

●モノづくりと知②

高安秀樹

島倉二千六

鎌澤久也

金子邦彦×相磯秀夫

宇江敏勝

小野寺誠

里深文彦

柏木 博

中川道夫

児玉房子

吉村 朗

藪内正幸

鷺田清一

米沢 慧×吉田敏浩

宮田 登

隈 研吾

中澤まゆみ

スティーブ・ガードナー

名和小太郎×尾河洋一

宇江敏勝

小野寺誠

里深文彦

赤木昭夫

# 1998

- ハイテク職人を育てる
- グラフイケーション・アベニュー
- 「写真」雲の写真
- 「デザイン」十年かかってやってきた展覧会
- 表四 ロンドン

小関智弘  
谷口 雅  
柏木 博  
児玉房子

## 十二月号 通巻二八三三号◎特集Ⅱ懐かしさをめぐって

- \*表紙「EYE」(スイス国鉄の駅)
- もぐらのだてめがね⑤
- スチュワードスの笑顔に心はなごむ、でも……
- 永遠を感じさせる過去——いわゆる路地の懐かしさについて
- 対談・知の交差点③⑧
- 懐かしさをめぐって
- 暮れ惑う町から
- デジタル世代にとつての「懐かしさ」とは
- インタビュー

金子亜矢子  
藪内正幸  
三木 卓  
香内三郎×吉見俊哉  
大西みつぐ  
榎山 寛

- 集めるのが好き、見せるのはもつと好き
  - 星図97
  - 自由への幻想——戸惑いの国アルバニア
  - ゼロックス・サロン⑦⑧
  - 人間学としての考古学入門
  - 熊野木の葉書き⑫
  - 奥駈け、花と若葉と
  - 辺境への旅⑥
  - 印度タール砂漠紀行(上)——秘められた女
  - ヨーロッパから⑥
  - 苦悩する「環境大国」スウェーデン——「科学技術政策」から「社会・公共政策」へ
  - \*表四 大船・鎌倉シネマワールド
- 北原照久  
岸田圭司  
佐原 真×相磯秀夫  
宇江敏勝  
小野寺誠  
里深文彦  
中村 裕  
柏木 博  
児玉房子

## 二月号 通巻二八四号◎特集Ⅱ趣味の時代

- \*表紙「United」
- もぐらのだてめがね⑥
- 通勤は、ペダルをこいで颯爽と……
- グラビア
- 彫刻のある街で
- 対談・知の交差点③⑨
- 混迷の時代にはヘッセを読もう
- 趣味について
- ソ連崩壊と趣味の関係
- 時代小説を好む理由
- インタビュー
- 趣味は個を育てる
- ゼロックス・サロン⑦⑧
- EVでクルマが変わる、社会が変わる
- 熊野木の葉書き⑬
- 奥駈け、仏陀の導き
- 辺境への旅⑦
- 印度タール砂漠紀行(下)——若者の野心
- いま東京湾は……①
- 海苔が焙り出す漁民像——発展という名の埋め立てに抗した漁民の技術革新

岸本吉弘  
藪内正幸  
安斎重男  
中村達也×田中 裕  
池内 紀  
赤瀬川原平  
常盤新平  
小瀧達郎  
館内 端×尾河洋一  
宇江敏勝  
小野寺誠

- \*表紙「共鳴」
  - もぐらのだてめがね⑦
  - 都会の「雪かきびと」の雪のかきかた
  - グラビア
  - 子どもたちの山里が消える
  - 対談・知の交差点④⑩
  - 森と文明——日本人の環境意識
  - 物質循環という考え方
  - わが私的エコロジー論
  - 「地球温暖化防止京都会議」に出席して
  - インタビュー
  - 集まれ！ 雑木林ボランティア
- 加藤雅毅  
中川道夫  
柏木 博  
杉田 徹  
児玉房子  
山口牧子  
藪内正幸  
大谷育緒  
伊東俊太郎×石 弘之  
室田 武  
池内 了  
榎屋治紀  
倉本 宣

●ゼロックス・サロン<sup>78</sup>  
インターネットで変わる教育

三宅なほみ×相磯秀夫

●熊野木の葉書き<sup>14</sup>  
奥駈け、雨中の抖擻

宇江敏勝

●辺境への旅<sup>8</sup>  
埃及西方砂漠紀行——ベルベル系シワ人の土地へ

小野寺誠

●いま東京湾は……<sup>2</sup>  
水温で働く海の職人・海苔師——風と潮と太陽の恵みの海の家

加藤雅毅

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」気になる博物館の展示デザイン

柏木博

●「写真」図式化する「不確かな世界」

谷口雅

●北から南から<sup>2</sup>  
にわか校長の記

高田勝

●表紙「ヴァン・ゴッホ スクーター」

児玉房子

●六月号 通巻二八六号◎特集Ⅱ70年代から21世紀へ

篠原有司男

●もぐらのだてめがね<sup>8</sup>  
今はヒト、来世は何に？

藪内正幸

●対談・知の交差点<sup>41</sup>  
すべては七〇年代に始まった

関 曠野×里見 実

●七〇年代以後、科学はどう変わったか  
ドゥルーズⅡガタリ——その読み方

池田清彦

●70年代グラフィティ  
インタビュー

赤木昭夫

●怪物たちが跋扈した時代から  
グラフィア

編集部

●夢見るヒーローたち  
ゼロックス・サロン<sup>79</sup>

高橋敏夫

●町工場から日本の技術力を考える  
熊野木の葉書き<sup>15</sup>

木村雅英

●奥駈け、満行  
辺境への旅<sup>9</sup>

小野寺誠

●シナイ半島紀行——ベドウィンの人形  
いま東京湾は……<sup>3</sup>

宇江敏勝

●山から下りてきた海苔の目利き師——海と山を結ぶ労働の道  
グラフィケーション・アベニュー

加藤雅毅

●「言語生活」きつちり足に合った靴さえあれば  
「デザイン」インド、ニュー・リッチの登場

中村裕

●北から南から<sup>3</sup>  
古代の記憶を求めて

柏木博

●表紙「Lighting」

児玉房子

●八月号 通巻二八七号◎特集Ⅱ電子知識社会のゆくえ

●もぐらのだてめがね<sup>9</sup>  
「輪切り」のわ・た・し

合野僚子

●対談・知の交差点<sup>42</sup>  
電子知識社会のゆくえ

藪内正幸

●社会のバーチャル化をどう超えるか  
山形から世界へ——インターネットは地域を活性化する

村上陽一郎×水越 伸

●二十一世紀・ある小説家の一日  
インタビュー

吉永良正

●地域づくりはまずインナーネットから  
グラフィア

大原まり子

●モンゴル——草原の馬・人・祭  
生命とコンピュータの相似と相違

石川 梵

●熊野木の葉書き<sup>16</sup>  
十津川の盆踊り

神沼二真×相磯秀夫

●辺境への旅<sup>10</sup>  
カラコルム紀行(上)——フンザ人への土地へ

宇江敏勝

●いま東京湾は……<sup>4</sup>  
海苔師の夏——東京湾を横断する一万メートルの延縄漁

小野寺誠

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」床に置かれた一枚の布

加藤雅毅

●北から南から<sup>4</sup>  
瓦師から雑炭師へ

柏木博

●表紙「東京・台場」  
「ストリート」アウトドア志向と知的労働——シアトル

中川道夫

●表紙「刻譜」  
もぐらのだてめがね<sup>10</sup>

山田脩二

●船で鳥見は楽しいよ  
対談・知の交差点<sup>43</sup>

児玉房子

●学びをどう組み換えるか  
オウム・阪神大震災以後の子ども像

近藤ゆか

●哀しき90sキッズ  
インタビュー

藪内正幸

●本家に家庭のしつけは衰退しているか  
グラフィア

村田栄一×竹内常一

●本家に家庭のしつけは衰退しているか  
グラフィア

芹沢俊介

●本家に家庭のしつけは衰退しているか  
グラフィア

佐々木賢

●本家に家庭のしつけは衰退しているか  
グラフィア

永山彦三郎

# 1999

## 二月号 通巻二九〇号◎特集Ⅱ都市の再生

### \*表紙「question III」

- もぐらのでてめがね⑫
- 針ネズミの、わ・た・し
- 対談・知の交差点④⑤
- 都市は路地からよみがえる  
市民は都市を変えられるか
- バリアフリーの街づくり
- 「アジェのパリ」を歩いて
- インタビュ
- まち歩きをデザインする
- グラフィ
- 仏教石窟アジャンタ
- ゼロックス・サロン⑧⑨
- 「大」の時代が終わり「小」の時代が始まる

中川道夫	駒形克己×尾河洋一	宇江敏勝	小野寺誠	加藤雅毅	谷口 雅	柏木 博	稲垣尚友	児玉房子	水本修二	藪内正幸	草森紳一×平野甲賀
田村潤悟	藪内正幸	森まゆみ×隈 研吾	五十嵐敬喜	光野有次	大島 洋	大竹 誠	大村次郷	月尾嘉男×尾河洋一			

## 四月号 通巻二九一号◎特集Ⅱ異文化理解をめぐって

- 熊野木の葉書き⑬
- 晦山伏の行
- 辺境への旅⑬
- タクラマカン砂漠紀行(下)——カシユガルの雨
- いま東京湾は……⑦
- 海苔ひと筋・闘将の半世紀——風の岬に築いた漁民の砦
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」海外で日本のポスター展を見る
- (ストリート)「パール・バックの家」——鎮江の街を歩く
- 北から南から⑦
- 「おらはおらは」ということ——ローカルこそグローバル
- 表四 千葉・幕張

石川九楊	多川精一	鳥海 修	浅葉克己	飯田 鉄	黒川伊保子×相磯秀夫	宇江敏勝	小野寺誠	加藤雅毅	柏木 博	中村 裕	今 郁義	児玉房子	山本 晶
宇江敏勝	小野寺誠	加藤雅毅	柏木 博	中川道夫	柏木 博	力丸光雄	児玉房子						



＊表紙

●庭先のできごと④  
残夢

平井正義  
梶山俊夫

●対談・知の交差点④⑨

二十一世紀の経済学に向けて  
経済学は人間生活の改良の道具たりうるか——アマルティア・センにおける  
厚生経済学の再生

中村達也×工藤秀明  
川本隆史

ウエルズで考えたこと  
元気をだせ、ニッポン。

里深文彦  
佐藤雅美

●インタビュ―

ケアの経済学をめぐる

久場嬉子

●グラビア

グレートリフトバレー

石川 梵

●ゼロックス・サロン⑧⑦

個の技術から場の技術へ

森谷正規×尾河洋一

●モノづくりと知⑥

NC機を使い熟す町工場

小関智弘

●辺境への旅⑬

アナトリア紀行——クルド族の土地にて

小野寺誠

●口琴のひびく世界④

ノルウェーの口琴鍛冶

直川礼緒

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕モダニズム以前の中国のグラフィックの収集

柏木 博

〔写真〕NASA的視覚の試み

谷口 雅

●北から南から⑪

本の学校と大山緑陰シンポジウム

花井 満  
児玉房子

＊表四 東京・多摩川

十二月号 通巻二一九五号◎特集Ⅱ林住期をいかに生きるか

＊表紙「NYX(夜)」

●庭先のできごと⑤  
櫓

松本陽子  
梶山俊夫

●対談・知の交差点⑤⑩

老いのドラマトウルギー  
知的な甘え所

遠藤啄郎×栗原 彬  
大西巨人

●老年期とメディア

姥捨のバラダイス考

香内三郎  
村田喜代子

●インタビュ―

「定年後」をみつめて

長 新太

●グラビア

窓

加藤 仁

●ゼロックス・サロン⑧⑧

二十一世紀に向けてなすべきこと——科学技術と社会をめぐる

相磯秀夫×尾河洋一

●モノづくりと知⑦

町に蓄えられた技術を生かす

小関智弘

●辺境への旅⑭

黒海夢幻紀行——ナターシャたちの夢の跡

小野寺誠

●口琴のひびく世界⑤

キルギスの木製口琴

直川礼緒

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕ラスベガスのような都市

柏木 博

〔言語生活〕日本語の朗読を考える

中村 裕

●北から南から⑫

隠れ里の自由学校——きのくに子どもの村からの発信

堀真一郎

＊表四 東村山市

児玉房子

2000

二月号 通巻二一九六号◎特集Ⅱ学びの再構築

＊表紙「古譚Ⅳ―釘」

●庭先のできごと⑥

カマドウマとカマキリ

梶山俊夫

●対談・知の交差点⑤

教育改革、まず何から始めるか  
教育の現象学

関 曠野×小玉重夫  
森 毅

●地域の復権と教育改革

汐見稔幸

冬澤未都彦

梶山俊夫

梶山俊夫

関 曠野×小玉重夫

森 毅

汐見稔幸

学校からはみ出した若者をどう救うか

佐々木賢

●グラビア

ヨルダンへの旅

小野寺誠

●インタビュ―

現場教師の学校解体・再生計画

永山彦三郎

●現代科学の見方・読み方①

第三の生物の書物

池内 了

●モノづくりと知⑧

池内 了

工場のものづくりも自己表現

●時空回帰行①

フィタンポとフアマデイハナ——マダガスカル

●口琴のひびく世界⑥

サハのこども口琴フェスティバル

●グラフィケーション・アベニユール

〔デザイン〕食物と身体の展示デザイン

〔ストリート〕美しい風土の奥にある闇の世界

●東北を歩く①

宮城県牡鹿半島

\*表四 神奈川県茅ヶ崎市

小関智弘

石川 梵

直川礼緒

柏木 博

中川道夫

結城登美雄

児玉房子

四月号 通卷二九七号◎特集Ⅱ環境の哲学を求めて

\*表紙「FLOWERS」

●庭先のできごと⑦

若宮商店通り

●対談・知の交差点②

生命地域からの発想

自然との共生への道——自然のシステムをもうこれ以上こわさない

総有の創造

何もないハマを何故守るのか

●グラフィア

残された神の手・スイス

●インタビュール

インターネットだけでは干潟は守れない、でも世の中の流れを変えること

はできる

●現代科学の見方・読み方②

日本のロケット技術は……

●見世物探偵が行く①

中国雑技への旅

●時空回帰行②

マサイ 男への道——ケニア・マサイマラ

●口琴のひびく世界⑦

ドイツの口琴製作者を訪ねて

●グラフィケーション・アベニユール

〔デザイン〕サイバーなタイポグラフィ

〔写真〕政治を主題とするヌーヴォー・ロマン

●東北を歩く②

岩手県北上山地

\*表四 鎌倉

ケビン・ショート×辻 信一

吉良竜夫

熊本一規

関 礼子

中川道夫

松浦さと子

池内 了

川添 裕

石川 梵

直川礼緒

柏木 博

谷口 雅

結城登美雄

児玉房子

\*表紙「襖の下張り風」

●庭先のできごと⑧

あんけらこんけらだ

●対談・知の交差点③

高齢化社会は学問道楽で生きよう

いまなぜ懷徳堂が注目されるのか

江戸の園芸——風流を求めて

茶湯大名

●グラフィア

昆明世界園芸博覧会で……

●インタビュール

江戸前の釣り道楽をめぐる

●現代科学の見方・読み方③

太陽光パネルの贈り物

●見世物探偵が行く②

らくだを探せ

●時空回帰行③

カリブの島のアフリカ——ハイチ

●口琴のひびく世界⑧

特殊口琴アウラとの幸せな時間

●グラフィケーション・アベニユール

〔デザイン〕パイク展とグッゲンハイムの展開

〔言語生活〕自国語と英語

●東北を歩く③

岩手県久慈市

\*表四 東京・隅田川

下谷二助

梶山俊夫

中村達也×棚橋正博

中島 誠

青木宏一郎

海野 弘

津田孝二

長辻象平

池内 了

川添 裕

石川 梵

直川礼緒

柏木 博

中村 裕

結城登美雄

児玉房子

津田櫓冬

梶山俊夫

森野栄一×工藤秀明

野添憲治

室田 武

西村幸夫

岸田圭司

益田文和

池内 了

八月号 通卷二九九号◎特集Ⅱ地域が元気になる日

\*表紙「福島県磐梯熱海町石筵」

●庭先のできごと⑨

天女のこと

●対談・知の交差点④

地域通貨は信頼と対話を回復する

農山村が静かになった理由

自然エネルギーと地域経済

まちづくりはライフスタイル提案型へ

●グラフィア

サラエボ

●インタビュール

ものづくりのネットワークをつくる

●現代科学の見方・読み方④

太陽の恵み(その二)

森野栄一×工藤秀明

野添憲治

室田 武

西村幸夫

岸田圭司

益田文和

池内 了

六月号 通卷二九八号◎特集Ⅱ江戸の道楽考

- 見世物探偵が行く③  
水芸の流れに
- 時空回帰行④  
幻の裸族・スルマ族を訪ねて——エチオピア
- 口琴のひびく世界⑨  
バシコルトスタンの新発明口琴
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」多様であったモダニズムのグラフィック
- 東北を歩く④  
「ストリート」立川、横田「基地の町」を歩く
- 表四 足利市  
気になる山の田んぼ——山形県大江町
- 表四 足利市  
結城登美雄  
児玉房子
- 表四 足利市  
土橋とし子
- 表四 足利市  
梶山俊夫
- 表四 足利市  
中川道夫
- 表四 足利市  
柏木 博
- 表四 足利市  
直川礼緒
- 表四 足利市  
石川 梵
- 表四 足利市  
川添 裕

十月号 通巻三〇〇号◎特集Ⅱ電子メディアのここが面白い

- 表紙「増殖しつづける手」
- 庭先のできごと⑩  
カナカナカナ：：
- 対談・知の交差点⑤⑤  
現代メディア生態学
- 特別インタビュー  
メディア・アートは人と世界を活性化するための支援ツール
- 「んの字」余話  
インターネット・アートの愉しみ方
- もうひとつのIT革命  
グラフィア
- 100万ヒットを達成したホームページ制作者  
インタビュ
- 新しいメディアとしてのオンデマンド出版——富士ゼロックス・ブックパークの試み
- 現代科学の見方・読み方⑤  
科学の不可知論
- 見世物探偵が行く④  
曲馬は異国の風になつて
- 時空回帰行⑤  
アンデスの民と祈り・コイユリテイ祭——ペルー
- 口琴のひびく世界⑩  
石川 梵
- 表紙「時のゆくえ」
- 庭先のできごと⑪  
「希望荘」
- 対談・知の交差点⑤⑥  
自然の時間・人工の時間
- お遍路の時間  
「魔の山」の時計
- 時間認識の歴史
- グラフィア  
尾道残照
- インタビュー  
日時計は身体感覚を磨く道具
- 現代科学の見方・読み方⑥  
濃縮時間
- 見世物探偵が行く⑤  
菊人形の秋
- 時空回帰行⑥  
アフリカ飢餓地帯を尋ねて——スーダン
- 口琴のひびく世界⑪  
アルタイ山中の夏祭り
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」物質性不在を表現の特性にしたCG
- 「言語生活」読者に対してどのように自分をさし出すか
- 東北を歩く⑥  
食の文化祭——宮城県宮崎町
- 表四 東京・大崎  
結城登美雄  
児玉房子
- 表四 東京・大崎  
中村雄二郎×布施英利
- 表四 東京・大崎  
辰濃和男
- 表四 東京・大崎  
池内 紀
- 表四 東京・大崎  
赤木昭夫
- 表四 東京・大崎  
田村彰英
- 表四 東京・大崎  
小野行雄
- 表四 東京・大崎  
池内 了
- 表四 東京・大崎  
川添 裕
- 表四 東京・大崎  
石川 梵
- 表四 東京・大崎  
直川礼緒
- 表四 東京・大崎  
柏木 博
- 表四 東京・大崎  
中村 裕
- 表四 東京・大崎  
結城登美雄  
児玉房子

十二月号 通巻三〇一号◎特集Ⅱ時間について

- トゥヴァの口琴とブーツの関係
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」スカンディナビア・モダンの意味するもの
- 「写真」一枚のはがきから
- 東北を歩く⑤  
縄文期から続くシジミ漁——青森県小川原湖
- 表四 東京・渋谷  
結城登美雄  
児玉房子
- 表紙「時のゆくえ」
- 庭先のできごと⑪  
「希望荘」
- 対談・知の交差点⑤⑥  
自然の時間・人工の時間
- お遍路の時間  
「魔の山」の時計
- 時間認識の歴史
- グラフィア  
尾道残照
- インタビュー  
日時計は身体感覚を磨く道具
- 現代科学の見方・読み方⑥  
濃縮時間
- 見世物探偵が行く⑤  
菊人形の秋
- 時空回帰行⑥  
アフリカ飢餓地帯を尋ねて——スーダン
- 口琴のひびく世界⑪  
アルタイ山中の夏祭り
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」物質性不在を表現の特性にしたCG
- 「言語生活」読者に対してどのように自分をさし出すか
- 東北を歩く⑥  
食の文化祭——宮城県宮崎町
- 表四 東京・大崎  
結城登美雄  
児玉房子
- 表四 東京・大崎  
中村雄二郎×布施英利
- 表四 東京・大崎  
辰濃和男
- 表四 東京・大崎  
池内 紀
- 表四 東京・大崎  
赤木昭夫
- 表四 東京・大崎  
田村彰英
- 表四 東京・大崎  
小野行雄
- 表四 東京・大崎  
池内 了
- 表四 東京・大崎  
川添 裕
- 表四 東京・大崎  
石川 梵
- 表四 東京・大崎  
直川礼緒
- 表四 東京・大崎  
柏木 博
- 表四 東京・大崎  
中村 裕
- 表四 東京・大崎  
結城登美雄  
児玉房子

とどろぎちづこ

二月号 通卷三〇二号 特集II 非線形って何だろう

\*表紙「数学家」

●庭先のできごと⑫

●辻切りの大蛇

●対談・知の交差点⑤⑦

●いくつもの日本像に向けて

●非線形の世紀?

●非線形デザインの思想

●生物の多様性と非線形

●グラビア

●プラハ彷徨

●インタビュ

●非線形の発想が世の中を変える

●現代科学の見方・読み方⑦

●たった一つの証拠

●見世物探偵が行く⑥

●伊勢の夕映え

●時空回帰行⑦

●現代のロストワールド、ギアナ高地を訪ねて——ベネズエラ

●口琴のひびく世界⑫

●口琴に哲学をみる

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」記憶の中の住まいのデザイン

●「ストリート」二十五年後のベトナム

●東北を歩く⑦

\*表四 「あんぽ柿」の産地を訪ねて——福島県梁川町

●表四 ソウル

●四月号

●通卷三〇三号 特集II 地域学のために

\*表紙「ねぎし散策地図」

●旅の記憶①

●木組みの町

●対談・知の交差点⑤⑧

●ものづくりからまちづくりへ

●沖繩における地域史づくりの歩み

●世界に広がる地域通貨

●草の根IT革命——コンピューター・センターを核にした地域づくり(米サ

ンフランシスコ)

飯野和好

梶山俊夫

藤本 強×赤坂憲雄

森 毅

宇波 彰

飯野和好

梶山俊夫

藤本 強×赤坂憲雄

森 毅

宇波 彰

池田清彦

中川道夫

高安秀樹

池内 了

川添 裕

石川 梵

直川礼緒

柏木 博

中川道夫

結城登美雄

児玉房子

高橋美江

池内 紀

小関智弘×赤池 学

恩河 尚

室田 武

岡部一明

水俣の漁師たち

●インタビュ

●地域に誇りを取り戻す試み

●見世物探偵が行く⑦

●古今無双の力持

●時空回帰行⑧

●ラリベラの岩窟教会——エチオピア

●口琴のひびく世界⑬

●蝦夷錦や毛皮と一緒に運ばれたもの

●東北を歩く⑧

●雪の中の伝統掛唄——秋田県横手市

●現代科学の見方・読み方⑧

●風土に根ざした科学

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」消え去ったロシア大衆文化の可能性

●「写真」本来出会うはずのなかった写真との出会い

\*表四 和歌山県清水町

●六月号 通卷三〇四号 特集II 写真の力

\*表紙「遠雷」

●旅の記憶②

湖畔の町

●対談・知の交差点⑤⑨

●写真はどこかへ向けてわれわれを解放する

●宮本常一の写真

●グラフィ雑誌はなぜ衰退したか

●現代写真の地殻変動

●グラビア

●ニューアメリカンズ

●インタビュ

●写真家という生き方

●見世物探偵が行く⑧

●象たちとの旅路

●時空回帰行⑨

●ナーダム——モンゴル

●口琴のひびく世界⑭

●口琴の魔術師

石坂たまき

関 礼子

川添 裕

石川 梵

直川礼緒

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

浅野隆広

池内 紀

多木浩二×大島 洋

佐野真一

杉山光信

深川雅文

デニス・グレイ

金村 修

川添 裕

石川 梵

直川礼緒

87

- 東北を歩く⑨  
美しい村を訪ねて——岩手県釜石市栗林町
- 現代科学の見方・読み方⑨  
月の上のローソクの花
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」ミラノのデザインを振り返る  
〔言語生活〕文字文化と国の行方
- \*表四 東京・晴海

八月号 通巻三〇五号◎特集Ⅱストリート・カルチャー

- \*表紙「なつのごい」
- 旅の記憶③
- 対談・知の交差点⑥  
川の町

- ストリートは混じり合うから面白い
- 秋葉原ジャンク通りの魅力
- いま『東京風景事典』は……
- あなたも写っていますか
- グラフィア

- 時の過ぎゆくままに——パリ
- インタビュ
- チンドン街のなごみ系パフォーマー
- 見世物探偵が行く⑨  
ベトナム水上人形
- 時空回帰行⑩

- 纏足は美しいか——中国
- 口琴のひびく世界⑮
- 愛を囁くニューギニア高地の竹口琴
- 東北を歩く⑩
- ふるさとの海をとり戻す——宮城県唐桑半島

- 現代科学の見方・読み方⑩
- サブカルチャーとしての「超科学」
- グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」世紀末の奇怪なデザインに出会う  
「ストリート」にぎわう旧居留地・神戸
- \*表四 東京・井の頭公園

十月号 通巻三〇六号◎特集Ⅱアートは自然をめざす

- \*表紙「自然の人」
- 旅の記憶④
- 国境の町
- 対談・知の交差点⑥

結城登美雄  
池内 了  
柏木 博  
中村 裕  
児玉房子

森 洋子  
池内 紀

海野 弘×橋爪紳也  
粉川哲夫  
富田 均  
甲斐扶佐義

小瀧達郎  
高田洋介  
川添 裕

石川 梵  
直川礼緒

結城登美雄  
池内 了  
柏木 博  
中川道夫  
児玉房子

長 新太  
池内 紀

自然と文化の固有性を見直す——越後妻有アートトリエンナーレが問いかけたもの  
北川フラム×川俣 正  
アートと自然……その境界を行き来するもの——日記、ワーキング・ノートから

自然は美の最高の教師である  
自然の目的は何か——森を守るために美術家は何をしたか  
●グラフィア  
水の呼吸  
●インタビュ

●小屋の窓から絵画が見える  
●見世物探偵が行く⑩  
●口上は面白い  
●時空回帰行⑪  
●クンブメラ——インド

●口琴のひびく世界⑯  
●オーストリアの口琴  
●東北を歩く⑪  
●焼畑を見に行く——山形県大江町

●現代科学の見方・読み方⑪  
●アートと科学が見る自然  
●グラフィケーション・アベニュー  
●「デザイン」ルネッサンスの理想都市デザイン  
〔写真〕その日限りの写真たち

\*表四 新潟・松之山町  
●旅の記憶⑤  
●巡礼の町

\*表紙「誘う犬」  
●対談・知の交差点⑫  
●私の所有を問う——無理せずボチボチやっていける社会に向けて  
芹沢俊介×立岩真也

●エコロジカルな生き方は私を超えて  
●ケアと労働——「時間の分かち合い」の目指すもの  
●ネット社会における知の共有  
●グラフィア  
●パラリンピック・アスリートたち  
●インタビュ  
●入会山が村の暮らしを支えてきた  
●見世物探偵が行く⑫  
●つくりものは永遠に  
●時空回帰行⑫

磯辺行久  
布施英利  
上矢 津  
渡辺 眸

母袋俊也  
川添 裕

石川 梵  
直川礼緒

結城登美雄  
池内 了  
柏木 博  
谷口 雅  
児玉房子

貝原 浩  
池内 紀

久場嬉子  
竹村真一  
奥野安彦

後藤克己  
川添 裕

# 2002

- 荒行で蘇った仏の里——日本・国東峰入り
- 石川 梵
- 口琴のひびく世界<sup>⑭</sup>
- 直川礼緒
- 口琴と交換された土地——ニュージーランド
- 東北を歩く<sup>⑫</sup>
- 高校生がつくった「ござえんちゃハウス」——岩手県水沢市
- 結城登美雄
- 現代科学の見方・読み方<sup>⑫</sup>

- スモール・イズ・ビューティフル
- 池内 了
- グラフイケーション・アベニュー
- 柏木 博
- 「デザイン」アメリカン・デザインへの突然の注目
- 中村 裕
- 「言語生活」手続きなしに発せられた言葉の直接性
- 児玉房子
- \*表四 横浜

## 二月号 通巻三〇八号◎特集Ⅱ混沌を生きる

- \*表紙 花盛島十二月「通和歩喜」
- 名嘉睦稔
- 旅の記憶<sup>⑥</sup>
- 湯治の町
- 池内 紀
- 対談・知の交差点<sup>③</sup>
- 循環型社会への道——IT幻想を超えて
- 金子 勝×赤木昭夫
- 文明の中の危機
- 村上陽一郎
- 教育改革は今……学校は市民を育てられるか
- 小玉重夫
- スロー・イズ・ビューティフル——安息日のロウソクを灯す
- 辻 信一
- グラビア
- 砂の時代
- 大島 洋
- インタビュー
- チャイ売りのおじさんは道端で哲学する
- 十字和子
- 新ものづくりと知<sup>①</sup>
- ネジ一本から世界を見る
- 小関智弘
- 見世物探偵が行く<sup>⑫</sup>
- サークラスと天翔るひとびと
- 川添 裕
- 口琴のひびく世界<sup>⑮</sup>
- 直川礼緒
- 口琴ルネサンス日本にも到来
- 東北を歩く<sup>⑬</sup>
- 山の豆腐屋物語——宮城県丸森町
- 結城登美雄
- 現代科学の見方・読み方<sup>⑬</sup>
- 池内 了
- 「柔らかい」複雑系としての地球
- グラフイケーション・アベニュー
- 柏木 博
- 「デザイン」日本のミッドセンチュリーのデザイン
- 中川道夫
- 「ストリート」東京のリノベーション
- 児玉房子
- \*表四 沖縄・那覇

- 河港の町
- 池内 紀
- 対談・知の交差点<sup>④</sup>
- 小さな楽器に神宿る——多様な音文化に向けて
- 小島美子×直川礼緒
- 河内音頭のエネルギーと生命力
- 朝倉喬司
- 沖縄音楽はなぜ魅力的なのか
- 松村 洋
- バルトーク、コダーイへの旅
- みやこうせい
- グラビア
- アラスカの魅力
- 小出雅敏
- インタビュー
- 「わらべうた」は見えないところを育てる
- 近藤信子
- 新ものづくりと知<sup>②</sup>
- 後継者を育む町
- 小関智弘
- 見世物探偵が行く<sup>⑬</sup>
- 絶景かな、絶景かな
- 川添 裕
- アジア/イメージの回廊<sup>①</sup>
- 風土が音を作り出す
- 大村次郷
- 東北を歩く<sup>⑭</sup>
- 川を渡るぼんでん——秋田県大曲市
- 結城登美雄
- 現代科学の見方・読み方<sup>⑭</sup>
- 自然が奏でるメロデー
- 池内 了
- グラフイケーション・アベニュー
- 「デザイン」固定観念を崩すデザイン
- 柏木 博
- 「写真」写真の役割は変わった?
- 谷口 雅
- \*表四 東京・青山
- 児玉房子

## 四月号 通巻三〇九号◎特集Ⅱ私たちの音楽を取り戻すために

- \*表紙「ジプシー女と骸骨男」
- スズキコージ
- 旅の記憶<sup>⑦</sup>

## 六月号 通巻三二〇号◎特集Ⅱ住むというかたち

- \*表紙「Build」
- 長崎訓子
- 旅の記憶<sup>⑧</sup>
- 復元の町
- 池内 紀
- 対談・知の交差点<sup>⑤</sup>
- より過激に、より身軽な方へ——日本の住宅デザインを考える

スマートな個人主義と豊かな協働性を精妙に結びあわせる——ともに住むカタチ  
家の開放  
住居、その欠けている機械  
● グラビア  
● アフリカ住まいの原型  
● インタビュー  
● もっと自分が住む場所を好きになるために  
● 新ものづくりと知③  
● プラスチック成形だつて奥は深い  
● 見世物探偵が行く⑭  
● 川を歩く  
● アジア／イメージの回廊②  
● 棚田に散在する高床式住居  
● 東北を歩く⑮  
● 耕す家族を訪ねて——青森県津軽平野  
● 現代科学の見方・読み方⑮  
● 現代人と縄文人の住み方  
● グラフイケーション・アベニュー  
● 「映像」動き出した映像教育  
● 「言語生活」世界と虚心に向き合う姿勢  
\*表四 神奈川県湯河原・梅原邸

柏木 博×隈 研吾  
延藤安弘  
石山修武  
松山 巖  
小松義夫

みかんぐみ

小関智弘

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

かわなかのぶひろ

中村 裕

児玉房子

建石修志

池内 紀

瀬名秀明

江沢 洋

三田誠広

池田清彦

柳本史歩

下山 勲

中村達也

川添 裕

熟鮎に出会う  
● 東北を歩く⑯  
● 海の詩が鳴りひびく町——宮城県北上町  
● 現代科学の見方・読み方⑯  
● 新しい博物学を  
● グラフイケーション・アベニュー  
● 「デザイン」椅子のデザインがわかつてきた  
● 「ストリート」「鎌倉近美」の記憶  
\*表四 横須賀

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

田中靖夫

池内 紀

佐々木賢×関 曠野

立岩真也

宇江敏勝

鈴木志郎康

セイリー育緒

清家 篤

中村達也

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

山口マオ

池内 紀

## 十月号 通巻三二二号◎特集Ⅱ働くことの意味

\*表紙「untitled」

● 旅の記憶⑩

● 湯けむりの町

● 対談・知の交差点⑥⑦

● 若もののフリーター化を考える

● 労働の分配が正解な理由

● 老いて、なお野良に働く

● 新しい枠組みの予兆——学生たちの表現に接して

● グラビア

● 帰郷

● インタビュー

● 職業人生を個人の手に取り戻す

● イギリス通信②

● マルクスの墓をたずねて

● 見世物探偵が行く⑯

● 大道芸の地平

● アジア／イメージの回廊④

● アンコールの魚とり

● 東北を歩く⑬

● ふじのさんの畑——宮城県白石市小原

● 現代科学の見方・読み方⑰

● ビッグ・サイエンスの陰に

● グラフイケーション・アベニュー

● 「デザイン」デザイン史によるモダニズムの救済

● 「写真」回顧される「中平卓馬」

\*表四 滋賀・長浜

● 旅の記憶⑪

● ユダヤ商人の町

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

田中靖夫

池内 紀

佐々木賢×関 曠野

立岩真也

宇江敏勝

鈴木志郎康

セイリー育緒

清家 篤

中村達也

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

山口マオ

池内 紀

## 八月号 通巻三二二号◎特集Ⅱ科学の楽しみ方

\*表紙「私には魔術の心得がある」

● 旅の記憶⑨

● 川下りの町

● 対談・知の交差点⑥⑥

● 量と継続が力なり——科学の面白さをどう伝えるか

● 総合的な科学雑誌が欲しい

● 物理学と私

● アマチュア研究者の情熱と方法

● グラビア

● 夏の旅

● インタビュー

● マイクロマシンで生き物の謎に迫る

● イギリス通信①

● “きれいは汚い、汚いはきれい”

● 見世物探偵が行く⑮

● 貝細工のネットワーク

● アジア／イメージの回廊③

柏木 博×隈 研吾

延藤安弘

石山修武

松山 巖

みかんぐみ

小関智弘

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

かわなかのぶひろ

中村 裕

児玉房子

建石修志

池内 紀

瀬名秀明

江沢 洋

三田誠広

池田清彦

柳本史歩

下山 勲

中村達也

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

田中靖夫

池内 紀

佐々木賢×関 曠野

立岩真也

宇江敏勝

鈴木志郎康

セイリー育緒

清家 篤

中村達也

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

山口マオ

池内 紀

# 2003

## 二月号 通巻三二四号◎特集Ⅱ環境哲学を求めて

＊表紙「オジロワシ」

●旅の記憶⑫

●別荘の町

●対談・知の交差点⑨

人は何があれば生きられるか——循環型社会に向けて

風土生命体について

「景観の歴史」から「空間の履歴」へ

「生物多様性」農業を実証する

●グラフィア

●アナトリア

●インタビュ

●里山のコンシェルジュを目指して

●イギリス通信④

●地図帳から見るロンドン

●見世物探偵が行く⑫

●島巡りの想像力

●アジア／イメージの回廊⑥

●美術商の草刈り場「アンコール遺跡」

●東北を歩く⑩

●高村光太郎の山小屋から——岩手県花巻市太田

●現代科学の見方・読み方⑬

●疑わしきは罰する

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」アメリカ的ゲームへの反発

●対談・知の交差点⑧

●地域の再生に必要な考え方

●身の丈に合ったメディアをつくる

●小さな世界に帰る

●グラフィア

●アルカディアの風景

●インタビュ

●いまの困難は次の時代のためにある

●イギリス通信③

●古い家と家具へのこだわり

●見世物探偵が行く⑪

里深文彦×神野直彦

粉川哲夫

吉岡 忍

甲斐良治

富張佳子

塩野米松

中村達也

猛獣への視線

●アジア／イメージの回廊⑤

●土に生きる

●東北を歩く⑧

●心ある食のつなぎ手を探して——青森県南部町

●現代科学の見方・読み方⑬

●アカデミーから地域へ

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」愛嬌を振りまくデザイン

「言語生活」コミュニケーション能力を鍛える

＊表四 奥会津・三島町

川添 裕

大村次郷

結城登美雄

池内 了

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

〔ストリート〕温泉は地球の恵み

＊表四 相模川・相模原市

●旅の記憶⑬

●山の中の町

●対談・知の交差点⑩

水素の時代がやってくる——人間中心の技術の世紀へ

わたしのNC旋盤始末記

ユビキタス・ネットワークは市民生活になにをもたらしつつあるか

若者にとって技能とは

●グラフィア

●ピエンツァへの道

●インタビュ

●憧れは「粋な旋盤工」

●イギリス通信⑤

●イギリス人の時間感覚

●ことばを読む・映像を読む①

●断章・眼と耳

●アジア／イメージの回廊⑦

●仏教最古の壁画保存をめぐる闘い

●東北を歩く⑪

●農の未来を信じる力——宮城県高清水町

●現代科学の見方・読み方⑭

●疑わしきは罰する

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」アメリカ的ゲームへの反発

中川道夫

児玉房子

戸部 翼

池内 紀

池内 紀

小関智弘

杉山光信

佐々木賢

田村彰英

藤塚光政

中村達也

江藤文夫

大村次郷

結城登美雄

- 宇宙開発のあり方
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」いまこそ美しい書物空間を
- 「写真」三人の女性写真家の仕事
- 表四 東京・有明 パナソニックセンター

七月号 通卷三二六号◎特集Ⅱ「歩く文化」考

- 表紙「アウストラロピテクス二足歩行の独り言」

ナムーラミチヨ

- 旅の記憶⑭

池内 紀

- 対談・知の交差点⑦

海野 弘×阿部謹也

- 「歩く文化」をめぐって

岡崎満義

- 全国の朝市を歩いて考えたこと

吉田敏浩

- 内なる遍路

宮内勝典

- 塩の行進——異議申し立てとしての歩き

池澤夏樹

- ハトラを歩く

本橋成一

- グラフィビア

今尾恵介

- はるかなる文明への旅・交易都市ハトラ

中村達也

- インタビュー

江藤文夫

- 地図を歩くといろいろなことが見えてくる

大村次郷

- イギリス通信⑥

結城登美雄

- 曲り角に立つ移民政策

池内 了

- 「ことばを読む・映像を読む②

熊沢 誠×立岩真也

- 「青空」という言葉

中村陽一

- アジア／イメージの回廊⑧

吉本哲郎

- 歩く求道者たち

西村良平

- 東北を歩く⑫

石川 梵

- 頼れる相棒は農業機械のみ——山形県山辺町大蔵

藤井誠二

- 現代科学の見方・読み方⑭

中村達也

- マンモスの歩いた道

池内 了

- グラフィケーション・アベニュー

柏木 博

- 「デザイン」データベースを見るような展覧会

中村 裕

- 「言語生活」俳句制作の現場

児玉房子

- 表四 東京・浅草

影山 徹

九月号 通卷三二七号◎特集Ⅱ風景に寄せる思い

- 表紙「路面電車・まだ見ぬ街で」

池内 紀

- 旅の記憶⑮

池内 紀

- 海の道

池内 紀

- 対談・知の交差点⑯

池内 紀

- 景観価値とは何か——美しい都市をつくる権利をめぐって

五十嵐敬喜×西村幸夫

「住みよい町」より「住みたい町」  
変わらない風景  
町が消えた、人も消えた

内藤 昌  
大島 洋  
柳原一徳

- グラフィビア

小川康博

- 三峡の行方——その破壊と創造

山下 宏

- インタビュー

山下 宏

- 風景には様々な記憶を呼び起こす力がある

山下 宏

- イギリス通信⑦

山下 宏

- 世界システムの中核と周辺

山下 宏

- ことばを読む・映像を読む③

山下 宏

- 三つのラスト・シーン——チャップリン・一九三〇年代

山下 宏

- アジア／イメージの回廊⑨

山下 宏

- 薨に、路地に、夜のしじまに、神々がいた

山下 宏

- 東北を歩く⑫

山下 宏

- まかどの地蔵——山形県新庄市

山下 宏

- 現代科学の見方・読み方⑭

山下 宏

- 自然景観の原点——里山と棚田

山下 宏

- グラフィケーション・アベニュー

山下 宏

- 「デザイン」田中一光回顧展を振り返る

山下 宏

- 「ストリート」ソウル、トレンドエリアは移動する

山下 宏

- 表四 新潟・松之山

山下 宏

- 十一月号 通卷三二八号◎特集Ⅱ若ものの仕事を考える

山下 宏

- 表紙「都会へ出る日」

山下 宏

- 旅の記憶⑮

山下 宏

- 対談・知の交差点⑯

山下 宏

# 2004

- 山村から日本が見える——岩手県山形村
- 現代科学の見方・読み方②③
- 若者は宇宙を目指す
- グラフィックेशन・アベニュー

結城登美雄  
池内 了

- 「デザイン」韓国大衆文化のデザイン
- 「写真」自己もまた世界の一部として
- 表四 東京・品川

柏木 博  
谷口 雅  
児玉房子

## 一月号 通巻三一九号◎特集Ⅱことばの力、方言の魅力

- \*表紙「コミュニケーション」
- 旅の記憶⑱
- 絵ことばの町
- 対談・知の交差点⑭
- グローバル化時代の日本語をめぐって
- 地域再生と方言の役割
- 島暮らし——ワイはないこと？
- 生きなおす、ことば
- グラビア
- 海辺の赤い電話ボックス
- インタビュー
- 言魂の力を信じて遠くまで行きたい
- イギリス通信⑨
- 異なる立場を受容する柔軟さ
- ことばを読む・映像を読む⑤
- 小津安二郎の世界①——小津の「戦争」
- アジア／イメーজの回廊⑪
- 芸人たちは言葉なしで観客の心を掴んでいた
- 東北を歩く⑭
- 半農半ソバ屋の村——福島県山都町宮古
- 現代科学の見方・読み方⑭
- 科学のことばⅡ数学
- グラフィックेशन・アベニュー
- 「デザイン」日本に固有なロボット文化
- 「言語生活」言葉とその場所
- \*表四 神奈川県茅ヶ崎市
- 三月号 通巻三二〇号◎特集Ⅱデザインのいま
- \*表紙「トレドの丘からの眺め」
- 旅の記憶⑱
- 水の砦
- 対談・知の交差点⑭

小野トモコ

池内 紀

田中克彦×高橋敏夫

中沢孝夫  
稲垣尚友  
大沢敏郎

小瀧達郎

すまけい

中村達也

江藤文夫

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

檀上則行

池内 紀

広告・デザインは何をめざすか——職人工房からの発想

多川精一×柏木 博

ウィーク・モダニズムの時代がやって来る  
エコデザインとエコプロダクツを超えて——「アクセスの時代」に

竹原あき子

街の意匠と地域通貨

● グラビア

● インタビュー

● 街の記憶を撮る愉しみ

● イギリス通信⑩

● 労働がまるで舞踊であるように

● ことばを読む・映像を読む⑥

● 小津安二郎の世界②——小津の方法と主題

● アジア／イメージの回廊⑫

● 登るにしたがって女神像の髪型は光り輝く

● 東北を歩く⑮

● 小さくてもおだやかな海がよい——宮城県河北町長面浦

● 現代科学の見方・読み方⑮

● 科学とデザイン

● グラフィックेशन・アベニュー

● 「映像」知識と創作のはざまから

● 「ストリート」徐福伝説の島

● \*表四 東京・渋谷

● 五月号 通巻三二二一号◎特集Ⅱ教育の再定義

● \*表紙「several scenes」

● 旅の記憶⑱

● シュヴェイクの町

● 対談・知の交差点⑭

● 市民社会とシテイズンシップ教育をめぐって

● 教育の再定義

● 自己教育の原点——自由大学運動と現代

内田 繁

森野栄一

飯田 鉄

飯田 鉄

飯田 鉄

中村達也

江藤文夫

大村次郷

結城登美雄

池内 了

世代をつなぐ「聞き書き甲子園」が始まった

●グラビア

●極北の残像——ユーコン

●インタビュー

●もう一度、生きなおすために

●電子と手の思考①

●自由ラジオからラジオアートへ

●時代小説の中の現代①

●桜が満開の時の惨劇——時代小説、その可能性と不可能性

●ことばを読む・映像を読む⑦

●願い・意志・言葉——木下恵介の創造

●アジア／イメージの回廊⑬

●沿道の木陰に、陽当りに、学ぶ子供たちの姿があった

●東北を歩く⑳

●海と山のつき合い——岩手県野田村

●現代科学の見方・読み方⑳

●科学の教育の再定義

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」誰もが製作できるデザイン

●「写真」時代と写真の交錯

●表四 新潟・松之山

塩野米松

吉田智彦

大沢敏郎

粉川哲夫

高橋敏夫

江藤文夫

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

浅賀行雄

池内 紀

稲葉振一郎×玄田有史

中村達也

太田 肇

中沢孝夫

ハナブサ・リュウ

杉村和美

粉川哲夫

高橋敏夫

江藤文夫

●アジア／イメージの回廊⑭

●女たちに生きる技を与える織物と刺繍

●東北を歩く⑳

●市の力は山の手——秋田県増田町

●現代科学の見方・読み方⑳

●働き方を見直す

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」廃材家具デザイン

●「言語生活」団塊世代の文章

●表四 東京・江戸川技術専門校で

大村次郷

結城登美雄

池内 了

十一月号 通巻三二四号◎特集Ⅱ職人仕事を見直す

\*表紙「朝の光」

蓬田やすひろ

●旅の記憶⑳

●運河のほとり

池内 紀

●対談・知の交差点⑦⑨

●匠の復権が始まった

小関智弘×松山 巖

●ドイツと日本・鉄の男たちの絆——田中熊吉の足跡をたどる

佐木隆三

●手仕事をどう取り戻すか

塩野米松

●岐路に立つ「職人の国、イタリア」——スロー論を手がかりに

田中夏子

●グラビア

●本の景色

潮田登久子

●インタビュ

●若者を一人前に育てるために

小原哲郎

●電子と手の思考④

●クロス・フィンガー・ジェスチャーに気をつける

粉川哲夫

●時代小説の中の現代④

●怒りと悲しみの炎はついに城をめざす——塩見鮮一郎の『車善七』の到達点

高橋敏夫

●ことばを読む・映像を読む⑩

●戯曲と映像『父と暮せば』

江藤文夫

●アジア/イメージの回廊⑩⑥

●主食のパンを焼くことから学んだもの

大村次郷

●東北を歩く⑳

●森の奥へ続く道——岩手県川井村

結城登美雄

●現代科学の見方・読み方⑳

●実験的科学者の二つの要素——直観と職人性

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」前例を知らないデザイン

柏木 博

●「写真」ふたつの時間を持つ写真

\*表四 東京・墨田区 喜久や足袋店

谷口 雅  
児玉房子

2005

一月号 通巻三二五号◎特集Ⅱ優劣を超えて

\*表紙「クジラ」

玉利ひろのぶ

●旅の記憶㉓

●女の館

池内 紀

●対談・知の交差点⑧⑩

●支え合う関係を取り戻す——家族・教育・地域の再生に向けて

汐見稔幸×芹沢俊介

●大村はまの仕事

●君よ、人を見下すことなかれ

荻谷夏子

●老人党で目指したもの

荷宮和子  
なだいなだ

●グラビア

●ねむの木学園——やさしいことはつよいのよ

小瀧達郎

●インタビュ

●心のバリアフリーをめざして

細川佳代子

●電子と手の思考⑤

●電子広場への試み

粉川哲夫

●時代小説の中の現代⑤

●カオス・シティー江戸には変な奴が溢れている——戸梶圭太『アウトオブ

●チャンバラ』のダメダメ男たち

高橋敏夫

●アジア/イメージの回廊⑩⑦

●西洋薬よりも生薬を——ウイグルの伝統医療

大村次郷

●東北を歩く⑩

●時代小説の中の現代④

●怒りと悲しみの炎はついに城をめざす——塩見鮮一郎の『車善七』の到達点

高橋敏夫

●ことばを読む・映像を読む⑩

●戯曲と映像『父と暮せば』

江藤文夫

●アジア/イメージの回廊⑩⑥

●主食のパンを焼くことから学んだもの

大村次郷

●東北を歩く⑳

●森の奥へ続く道——岩手県川井村

結城登美雄

●現代科学の見方・読み方⑳

●実験的科学者の二つの要素——直観と職人性

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」前例を知らないデザイン

柏木 博

●「写真」ふたつの時間を持つ写真

\*表四 東京・墨田区 喜久や足袋店

谷口 雅  
児玉房子

2005

一月号 通巻三二五号◎特集Ⅱ優劣を超えて

\*表紙「クジラ」

玉利ひろのぶ

●旅の記憶㉓

●女の館

池内 紀

●対談・知の交差点⑧⑩

●支え合う関係を取り戻す——家族・教育・地域の再生に向けて

汐見稔幸×芹沢俊介

●大村はまの仕事

●君よ、人を見下すことなかれ

荻谷夏子

●老人党で目指したもの

荷宮和子  
なだいなだ

●グラビア

●ねむの木学園——やさしいことはつよいのよ

小瀧達郎

●インタビュ

●心のバリアフリーをめざして

細川佳代子

●電子と手の思考⑤

●電子広場への試み

粉川哲夫

●時代小説の中の現代⑤

●カオス・シティー江戸には変な奴が溢れている——戸梶圭太『アウトオブ

●チャンバラ』のダメダメ男たち

高橋敏夫

●アジア/イメージの回廊⑩⑦

●西洋薬よりも生薬を——ウイグルの伝統医療

大村次郷

●東北を歩く⑩

●時代小説の中の現代④

●怒りと悲しみの炎はついに城をめざす——塩見鮮一郎の『車善七』の到達点

高橋敏夫

●ことばを読む・映像を読む⑩

●戯曲と映像『父と暮せば』

江藤文夫

●アジア/イメージの回廊⑩⑥

●主食のパンを焼くことから学んだもの

大村次郷

●東北を歩く⑳

●森の奥へ続く道——岩手県川井村

結城登美雄

●現代科学の見方・読み方⑳

●実験的科学者の二つの要素——直観と職人性

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」前例を知らないデザイン

柏木 博

●「写真」ふたつの時間を持つ写真

\*表四 東京・墨田区 喜久や足袋店

谷口 雅  
児玉房子

●農の心で鮭を育てる——山形県遊佐町

結城登美雄

●現代科学の見方・読み方⑩

●「生まれ」も「育ち」も大事

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」残されたデザインを読むということ

柏木 博

●「言語生活」映画における誤訳とは?

\*表四 東京・世田谷区羽根木公園

中村 裕  
児玉房子

三月号 通巻三二六号◎特集Ⅱ世界の涯を見る目

\*表紙「世界の涯を見る目」

スズキコージ

●旅の記憶㉔

●リーナの故里

池内 紀

●対談・知の交差点⑧⑩

●写真で伝えるということ

小松義夫×長倉洋海

●涯をめぐる断章

●中国雲南旅日記

大島 洋

●クルデイスタンを訪ねて

●グラビア

岸田圭司

●ハイチ・魂の叫び

佐藤文則

●インタビュ

●「本当に意味のある国際協力」に向けて

山本敏晴

●電子と手の思考⑥

すべては偶然の出会いから始まった

●時代小説の中の現代⑥

勇猛で華麗な「英雄」たちの墓標——スーパーヒーロー義経をめぐる三作品から

粉川哲夫

●アジア／イメージの回廊⑧

バンングラデシユの魅力

大村次郷

●東北を歩く⑩

土俗のにおい——福島県会津若松市

結城登美雄

●現代科学の見方・読み方⑩

科学と写真

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」心地良さとはい何か

柏木 博

「ストリート」皮膜化する建築

中川道夫

●表四 モロッコ

児玉房子

五月号 通巻三二七号◎特集Ⅱ地域通貨はいま……

●表紙「繋がる手」

●旅の記憶⑫

●対談・知の交差点⑫

●助け合いで地域の自立の流れをつくる

●地域通貨の有用性と発展可能性

●地域に「すまいる」を——地域通貨で安心・お得に環境アップ

●アースデイマナーのこれまでとこれから

●グラビア

●通り過ぎた村・まち・人々——そして時間

●インタビュ

●持つて嬉しい、環境保全にも役立つ地域通貨

●電子と手の思考⑦

●ワイヤレス・イメージーション

●時代小説の中の現代⑦

●ときどき記憶をいっばいにひろげて……

●れた池波正太郎

●ぐにやり東京①

●王子の東側の不気味

●アジア／イメージの回廊⑨

●たおやかな時間が流れている国

●東北を歩く⑫

●失われた風景をたどる——宮城県仙台市

●現代科学の見方・読み方⑫

●市民と科学、市民の科学

土橋とし子

池内 紀

森野栄一×泉 留維

堀田 力

遠藤由隆

嵯峨生馬

関谷 勲

藤岡亜美×横山理絵×関本洋司

粉川哲夫

平井 玄

大村次郷

結城登美雄

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」オプティミスティックなデザイン展

「写真」街と結びついたグラフィ誌の魅力

●表四 大阪・河南町 里山倶楽部

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

七月号 通巻三二八号◎特集Ⅱ情報の共有をめぐって

●表紙

●旅の記憶⑫

●ビンゲンの百面相

●対談・知の交差点⑫

●情報化社会は人を自由にするか

●日本は情報大国か

●情報にゆらぐ街の古本屋

●それぞれのまちにそれぞれのメディア——市民の発信拠点増殖中

●グラビア

●フィッシャーマン アラビア海の祈り

●インタビュ

●情報を市民の側に取り戻す

●電子と手の思考⑫

●創造性はどこから生まれるか

●時代小説の中の現代⑫

●ダニ、ノミ、シラミと白鳩だけが伝えた惨劇——立松和平『奇蹟風聞・

天草四郎』をめぐって

●ぐにやり東京②

●江戸がよどむ北品川

●アジア／イメージの回廊⑩

●生物化学兵器と敦煌古文書——茶店の雑談から

●東北を歩く⑫

●祭りが人を育て人が村を支えていく——宮城県石巻市北上町

●現代科学の見方・読み方⑫

●情報化時代の科学

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」ブラジルのデザイン

「言語生活」ことばが生起する場を考える二冊

●表四 東京・北品川

やまもとちかひと

池内 紀

吉岡 忍×斎藤貴男

赤木昭夫

石田友三

松浦さと子

渡辺 眸

三木由希子

粉川哲夫

平井 玄

大村次郷

結城登美雄

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

山口マオ

池内 紀

高野 孟×結城登美雄

市民が創る新たなパブリックに向けて  
二十一世紀に求められる「共の世界」の再生と創出  
路面電車で「町おこし」は可能か

●グラビア

アレクサンドリアの風

●インタビュー

スラウエシの地域再生運動

●電子と手の思考⑨

大学を実験「劇場」に

●時代小説の中の現代⑨

「子どもたち」の幕末維新Ⅱ時代小説——児童文学者岩崎京子の『元治元年のサーカス』をめぐって

●ぐにやり東京③

ゴーストたちの大川端

●アジア／イメージの回廊②①

ビンロウの実で若者の雇用は進んだが……

●東北を歩く③④

棚田の村からの便り——山形県大蔵村四ヶ村地区

●現代科学の見方・読み方③④

地域の自立のための技術

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」デザイン・ミュージアムが欲しい

「ストリート」蘇った古代図書館

●表四 長野・栄村

新藤宗幸

三俣 学

今尾恵介

中川道夫

島上宗子

粉川哲夫

大村次郷

平井 玄

高橋敏夫

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

マカオの昼寝

●対談・知の交差点⑧⑤

格差社会を超えて

この国のゆくえ

どうしようか、について

生き抜け、その日のために

●グラビア

The Spaceship Junkyard

●インタビュー

学校を選別の場にしないために

●電子と手の思考⑩

リモートメディアの使い方

●時代小説の中の現代⑩

やっばり薄気味悪いニッポンの「座」——井上ひさし『小林一茶』が今、語りかけるもの

●ぐにやり東京④

火星の多摩センター

●アジア／イメージの回廊②②

秤は公正の象徴だった

●東北を歩く③⑤

手仕事と掛唄——秋田県横手市金沢地区

●現代科学の見方・読み方③⑤

公正な科学とは

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」消失する建築と都市のデザイン

〔写真〕難解な現代写真

●表四 東京・日比谷

池内 紀

久場嬉子×田中夏子

井出孫六

立岩真也

高山文彦

Jonas Bendixsen

里見 実

粉川哲夫

平井 玄

大村次郷

高橋敏夫

結城登美雄

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

# 2006

一月号 通巻三三二一〇号●特集Ⅱ子どもたちは、いま…

●表紙 united

●旅の記憶⑳

スポーツの丘

●対談・知の交差点⑧⑥

子どもが子どもの時代をたっぷり生きられるように

子どもたちのいまは

ネット社会の子どもとメディア

大人と子どものいい関係は、学校に集うことから始まった

片山 健

池内 紀

実×善元幸夫

里見 実

岸 裕司

野上 暁

岸 裕司

●グラビア

バオバブの島 マダガスカル

●インタビュー

邪魔にならない教師をめざして

●電子と手の思考⑪

単なる伝達の手段ではなく…

●時代小説の中の現代⑪

師匠に出会ってしまったら、もう師匠殺しは免れない——戦時下にかか

れた正岡容『小説圓朝』をめぐって

堀内 孝

名取弘文

粉川哲夫

高橋敏夫



日本画は本来アバンギャルド

●時代小説の中の現代<sup>14</sup>

チャンバラ小説はどこからくるのか?——藤木久志『刀狩り—武器を封印した民衆』をめぐって

●ぐにやり東京<sup>8</sup>

●東銀座でCRMに誘われて

●アジア/イメージの回廊<sup>26</sup>

●中国の新しい顔、古い顔

●カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>3</sup>

●高床式のキャンプ生活

●現代科学の見方・読み方<sup>39</sup>

●ピカソは科学がお好き?

●グラフィケーション・アベニュー

●「メディア」台湾に誕生した「原住民」テレビ局

●「言語生活」季語を問う

●表紙 伊東豊雄設計「ぐりんぐりん」(福岡市)

●九月号 通巻三三五号 ●特集II 企業社会はいま

●\*表紙「あれが……会社だ!」

●旅の画帖<sup>3</sup>

●モスクワの夜はふけて

●対談・知の交差点<sup>90</sup>

●会社は変わったか

●市場経済のゆくえ

●だからこそはつきりさせたほうがよい

●インタビュ

●もつと株式会社について考えよう

●グラフィア

●パリのパサージュ

●列島を歩く<sup>1</sup>

●常田健・土蔵のアトリエ美術館——青森市浪岡

●時代小説の中の現代<sup>15</sup>

●鬼があらわれ、時代がうごく——野火迅『鬼喰う鬼』をめぐって

●ぐにやり東京<sup>9</sup>

●土曜の真夜中、小石川の工場の奥で

●アジア/イメージの回廊<sup>27</sup>

●カンボジア女性に生きる道すじをつけた男

●カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>4</sup>

吉田有紀

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

塚谷裕一

池内 了

松浦さと子

中村 裕

児玉房子

浅賀行雄

ささめやゆき

佐高 信×斎藤貴男

中村達也

佐藤俊樹

立岩真也

奥村 宏

小瀧達郎

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

水浴び、焚き火、森の食事

●現代科学の見方・読み方<sup>40</sup>

●大学は「企業化」するのか?

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」ヴィンテージ・デザインという概念を広げよう

●「ストリート」松本清張の東京を歩く

●\*表紙 東京・六本木

●十一月号 通巻三三六号 ●特集II 教養の再生

●\*表紙「まつさらな心で」

●旅の画帖<sup>4</sup>

●赤いシャツの漁夫

●対談・知の交差点<sup>91</sup>

●いま教養が必要な理由

●なぜ企業人に教養が必要なのか

●「教養」をめぐる若干の回想

●Mさんの半農半学に学ぶ

●インタビュ

●『ゲド戦記』から学ぶこと

●グラフィア

●ビクトリア大瀑布

●列島を歩く<sup>2</sup>

●田畑、家屋はつぶせても、人の気持ちはつぶせないよ——新潟県川口町

●時代小説の中の現代<sup>16</sup>

●一瞬の輝きのために、老いさらばえてなお逆らい生きる——小嵐九八郎『悪たれの華』をめぐって

●ぐにやり東京<sup>10</sup>

●初台で猫男やベルガになる

●アジア/イメージの回廊<sup>28</sup>

●インドのIT産業は数学と宗教が基盤である

●カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>5</sup>

●森の動物たち

●現代科学の見方・読み方<sup>41</sup>

●科学者と教養

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」「つくろう」というデザイン

●「写真」土地の歴史と物語

●\*表紙 山形・鶴岡

塚谷裕一

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

長野ヒデ子

ささめやゆき

木田 元×池内 紀

本間長世

松本昌次

赤木昭夫

清水真砂子

富山愛子

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

塚谷裕一

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

## 一月号 通巻三三七号◎特集Ⅱ地域の教育力

\*表紙「福島県郡山市熱海町石筵」

●旅の面帖⑤

わが師父に会いに

●対談・知の交差点②

教育装置としての里をめぐって

信州からの報告

沖繩の子育ては「ゆいまる」の心で

授業は地域の人に助けられて

駄菓子屋楽校の試み

●グラビア

答志の寝屋子——現代に受け継がれる若衆宿

●列島を歩く③

「いい人足になりましたなあ」——福井県池田町魚見

●時代小説の中の現代⑭

「品格」なき邪剣は戦争の闇を揺曳して——津本陽『明治撃剣会』再読

●ぐにやり東京⑪

神田錦町のブラウニー

●アジア/イメージの回廊⑳

親の背中から学ぶ

●カリマンタン・世界自然遺産への道のり⑥

調査の醍醐味は新種発見にあり

●現代科学の見方・読み方⑫

地域の宝物をこの手に

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」衣服を気にしなければならない都市

「言語生活」意を決して語る

\*表四 神奈川県三浦市

津田櫓冬

ささめやゆき

内山 節×後藤克己

井出孫六

今 秀子

名取弘文

松田道雄

吉田智彦

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

塚谷裕一

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

社会に対するケアの主体として——イタリアで出会ったある女性の生き方から

●インタビュー

全国に生きる勇氣と感動を届けます

●グラビア

名足に生きて

●列島を歩く④

逆風とたたかう東京農業——東京都立川市

●時代小説の中の現代⑯

極彩色の「壊し」にひたすら傾斜する「歴史」——東郷隆『大江戸打壊し

御用盗銀次郎』をめぐって

●ぐにやり東京⑫

田町でガレー船に乗る

●アジア/イメージの回廊⑳

死を待つ人たちの家

●カリマンタン・世界自然遺産への道のり⑦

旺盛なる分解者に支えられた森

●現代科学の見方・読み方⑬

医療の倫理を講義して

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」ポスターのアナログ情報

「ストリート」上海の「ユダヤゲット」を訪ねる

\*表四 新潟市「うちの実家」で

田中夏子

河崎義祐

杉田 徹

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

塚谷裕一

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

小林敏也

ささめやゆき

スズキコージ×土井章史

駒形克己

柳田邦男

桑野 隆

津田櫓冬

建石修志

東京最後の牛飼いの歌を聴きに——東京都練馬区大泉 結城登美雄

●時代小説の中の現代<sup>19</sup> 怪物たちの咆哮がひびく股旅もの——諸田玲子『青嵐』をめぐって 高橋敏夫

●ぐにやり東京<sup>13</sup> 鴉たちの日比谷公園 平井 玄

●アジア／イメージの回廊<sup>31</sup> アジア／イメージの回廊<sup>31</sup> 大村次郷

●絵が語りかけてくるもの カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>8</sup> 塚谷裕一

●調査メンバー、寝ても覚めても 現代科学の見方・読み方<sup>44</sup> 池内 了

●科学絵本というジャンル グラフイケーション・アベニュー 柏木 博

●「デザイン」かつて愛らしい家具のデザイナーがいた 谷口 雅

●「写真」写真という謎を解くカギ 児玉房子

\*表四 東京・青梅

●七月号 通巻三四〇号◎特集Ⅱ非文字の教育考

\*表紙「夕暮れのジャズマン」 山崎杉夫

●旅の画帖<sup>8</sup> モンペール ささめやゆき

●対談・知の交差点<sup>95</sup> 「非文字の教育」を考える 内山 節×高橋 敏

●人生は手作りすればいい 暗黙知と技術教育 汐見稔幸

●ビジネスマンにとつてのコミュニケーション能力とは？ 小関智弘

●インタビュアー 太田 肇

●一步でも半歩でも時代の先を行きたい 結城孫三郎

●グラフィア 住友 博

●行合 列島を歩く<sup>6</sup> 時代を生き抜いた食に寄せる思い——鹿児島県霧島市山ヶ野 結城登美雄

●時代小説の中の現代<sup>20</sup> よしよし、きつと敵討ちしてあげますぞ。——城山三郎追悼、傑作『辛酸』をめぐって 高橋敏夫

●をめぐって ぐにやり東京<sup>14</sup> 平井 玄

●神々の谷底、神田明神下 アジア／イメージの回廊<sup>32</sup> 大村次郷

●カツオ節ロード カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>9</sup> 塚谷裕一

●濁流の川を筏で渡る 現代科学の見方・読み方<sup>45</sup> 池内 了

●技術教育の大事さ

●グラフィケーション・アベニュー 「デザイン」生活を切りつめるデザイン 柏木 博

●「言語生活」不戦勝を拾うかたちの現代俳句 中村 裕

\*表四 東京・大森 児玉房子

●九月号 通巻三四一号◎特集Ⅱ耳の復権——ラジオを中心に

\*表紙「ラジオのある風景」 唐仁原教久

●旅の画帖<sup>9</sup> おいらが64歳になった時 ささめやゆき

●対談・知の交差点<sup>96</sup> 目を閉じて耳を開く 池内 紀×河内 紀

●ああ、ラジオ・デイズ ラジオのいま 藤久ミネ

●ラジオは単なる伝達ではない 粉川哲夫

●インタビュアー 市民ラジオは人と人をつなぐのが仕事 野村満弘／沼倉奈美

●グラフィア グラビア 小出雅敏

●炭鉱の町ボデイの一日 列島を歩く<sup>7</sup> このままでは、この国から漁民はいなくなる——宮城県沿岸 結城登美雄

●時代小説の中の現代<sup>21</sup> 宮本武蔵は怪物的なシリアルキラーか——トマス・ハリス『ハンニバル・ライジング』より 高橋敏夫

●ぐにやり東京<sup>15</sup> 六本木一丁目、真夏に聞こえる「冬の旅」 平井 玄

●アジア／イメージの回廊<sup>33</sup> 世界にぬくもりを伝えるサモワール 大村次郷

●カリマンタン…世界自然遺産への道のり<sup>10</sup> 大河の岸に浮かぶ小さな宿 塚谷裕一

●現代科学の見方・読み方<sup>46</sup> ラジオ通信と宇宙 池内 了

●グラフィケーション・アベニュー グラフイケーション・アベニュー 柏木 博

●「デザイン」デザイナーの仕事場 「ストリート」北軽井沢大学村と満蒙開拓 中川道夫

\*表四 川崎市中原区・かわさきFMで 児玉房子

●十一月号 通巻三四二号◎特集Ⅲものづくりと物語づくり

\*表紙「森の中でa」〈広島遊行地図〉より 長尾祥子

●旅の画帖<sup>10</sup> 放浪異文 ささめやゆき

●対談・知の交差点<sup>97</sup> ランダム・不揃いの複雑系で新しい物語づくりを 赤池 学×塩野米松

# 2008

物語の力

「心意気」に出会いたい

「粋」から「萌え」へ……ジャパンクルの根源

●インタビュー

心地よい家が出るまで

●グラフィア

モンラム・チエンモ

●列島を歩く⑧

美しい村など、はじめからあつたわけではない——長野県李平から秋山郷

時代小説の中の現代②

えらびとられた血と汚れと死の空間——最近の「吉原もの」をめぐって

高橋敏夫

藤原智美

吉岡 忍

奥野卓司

中村好文

小川康博

結城登美雄

●ぐにやり東京⑩

酔い醒めの朝のように。銀座三丁目

●アジア/イメージの回廊③④

疾駆する聖獣たち

●カリマンタン・世界自然遺産への道のり⑪

市場に植物を探す

●現代科学の見方・読み方④⑦

科学と物語の道行き

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕デザイン展はまなざしによって成り立つ

〔写真〕行きたびに雑草が好きになる

＊表四 福島県喜多方市

平井 玄

大村次郷

塚谷裕一

池内 了

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

## 一月号 通巻三四三号◎特集Ⅱケータイ文化を考える

＊表紙「眩きの向う」

●旅の画帖⑪

タイムトラベラー

●対談・知の交差点⑧⑨

ケータイって何だろう——モバイル・メディア社会のゆくえ

ケータイ短歌について

私がケータイを使わない理由

子どもより親に必要なケータイ・リテラシー

●インタビュー

ケータイで映画を遊ぼう

●グラフィア

北欧より着信あり

●列島を歩く⑨

「おなか仕事」という言葉が今も生きている——新潟県山北町

●時代小説の中の現代②③

人間ってのはおもしろい、底なしにおもしろい——あさのあつこの『弥勒の月』と『夜叉桜』をめぐって

●ぐにやり東京⑩

荒野の校正マンたち——東上線朝霞篇

●アジア/イメージの回廊③⑤

スーク、バザール、市場

●カリマンタン・世界自然遺産への道のり⑫

粉川哲夫×水越 伸

穂村 弘

斎藤貴男

下田博次

稲蔭正彦

津田孝二

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

大村次郷

横尾智子

ささめやゆき

ささめやゆき

ムラーのその後、これから

●現代科学の見方・読み方④⑧

「発明は必要の母」としてのケータイ

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕組織と生産の適正なスケールこそ

〔言語生活〕話し合いと黙り合い

＊表四 東京・新宿

塚谷裕一

池内 了

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

溝口イタル

ささめやゆき

ささめやゆき

結城登美雄×島村菜津

なだいなだ

玉井道敏

千葉 保

佐藤 弘

関口正夫

結城登美雄

結城登美雄

結城登美雄

結城登美雄

結城登美雄

結城登美雄

結城登美雄

●時代小説の中の現代②④  
悪はいつも「並み」に棲みつく——北重人『月芝居』をめぐって 高橋敏夫

●ぐにやり東京⑱  
羽田、一月六日午前零時 平井 玄

●アジア／イメージの回廊③⑥  
アジアの御馳走、共食 大村次郷

●ニムオロ原野——風露荘の春秋①  
ヨソ者くずれ 高田 勝

●現代科学の見方・読み方④⑨  
食べ物を「はかる」 池内 了

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」持続されるデザイン——松本民芸家具 柏木 博

「ストリート」神戸・舞子「移情閣」の孫文 中川道夫

●表四 福岡県福津市「ふるさとレストランあんず」で 児玉房子

●五月号 通巻三四五号◎特集Ⅱ総合知を求めて  
\*表紙「ヘルメスのサンダル」 建石修志

●お化けがでた!①  
あれ、なんですか 松山 巖

●対談・知の交差点⑩  
専門主義から総合知へ 赤木昭夫×池内 了

●ビジネスマンになぜ、教養・哲学が必要なのか  
いま若者に必要な知と思考とは? 佐高 信

●なぜ今「漢詩」を作るのか 岡崎満義

●インタビュ  
造園学は博物学 亀山 章

●グラフィア  
田園から 小瀧達郎

●列島を歩く⑩  
百年の歴史をもつ共同店を守り続ける——沖縄県国頭村奥集落 結城登美雄

●時代小説の中の現代②⑤  
「これしかない」世界を変更するファンタジー——畠中恵『こころげそう』 高橋敏夫

●ぐにやり東京⑱  
両国、二つの国の境目あたり 平井 玄

●地球に住む①  
シーワ・オアシスへ 小松義夫

●ニムオロ原野——風露荘の春秋②  
風露荘事始め 高田 勝

●現代科学の見方・読み方⑤⑩  
「なんで?」の授業をして 池内 了

●「デザイン」六〇年代末・七〇年代との再会  
〔写真〕瞬きとシャッターの連動 柏木 博

●表四 東京・汐留 谷口 雅

●七月号 通巻三四六号◎特集Ⅱ時代小説・時代劇の魅力  
\*表紙「野に生きるもの」 宇梶静江

●お化けがでた!②  
ガラーン、ゴロゴロ 松山 巖

●対談・知の交差点⑩  
時代小説のいま 諸田玲子×高橋敏夫

●生死を境とする闘い——私のちゃんばら考 寺田 博

●時代小説は歴史で正史を射よ——大衆小説家長谷川伸と非文字文化 高橋 敏

●古典芸能・時代小説から見る日本初のエコロジスト熊沢蕃山 室田 武

●インタビュ  
時代ものには社会を変える手がある 佐藤忠男

●グラフィア  
床屋にて Harry Gruyaert

●列島を歩く⑫  
農に寄せる若者たちの思い——北海道上川町 結城登美雄

●時代小説の中の現代⑥  
遠くからとどき、さらに遠くをめざす——福田善之『颯風のあとに』をめぐって 高橋敏夫

●ぐにやり東京⑲  
鳥居坂から麻布十番へ 平井 玄

●地球に住む②  
見せるための家と移動する家 小松義夫

●ニムオロ原野——風露荘の春秋③  
楽園断章 高田 勝

●現代科学の見方・読み方⑤  
江戸の科学者 池内 了

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」オキーフの泥の住まい 柏木 博

●「言語生活」古典の新訳を読む 中村 裕

●表四 石見銀山(島根県大田市大森町) 児玉房子

●九月号 通巻三四七号◎特集Ⅱ批評の復権のために  
\*表紙「もう一つの眼」 下谷二助

●お化けがでた!③  
青い朝顔 松山 巖

●対談・知の交差点⑩  
『蟹工船』が読まれる時代を考える 鶴飼 哲×平井 玄

# 2009

## 一月号 通巻三四九号 特集II 共用・共有知を考える

\*表紙「共棲」

●お化けがでた!⑤

井戸

●対談・知の交差点④

環境・コモンズ・万人権

経済を導く倫理の蘇生——なぜ「コモン」が注目されるのか?

コモンとしての大学

IT社会に芽生える新しい著作権

●インタビュ

室田 武×三俣 学

工藤秀明

白石嘉治

稲蔭正彦

伊藤勝一

松山 巖

書評家という仕事  
ジャーナリスト教育と批判精神

●インタビュ

危機の美術批評をめぐって

●グラビア

アルメニアのヤズィード教徒

●列島を歩く⑬

過疎地を元気にする若ものたち——新潟県上越市桑取谷

●時代小説の中の現代⑲

なれましよう、道を外れることができれば……。

ろ旅に』をめぐって

●ぐにやり東京⑳

新大塚——太陽が殴る八月

●地球に住む③

泥の建築に魅せられて

●ニムオロ原野——風露荘の春秋④

外人宿

●現代科学の見方・読み方⑫

共同幻想としての「疑似科学」

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」鳥も巢をデザインするのだろうか

「ストリート」東京の「軍神」の跡をたどる

\*表四 東京・代々木公園

井上隆幸

野中章弘

藤枝晃雄

岸田圭司

結城登美雄

蠅

●対談・知の交差点⑩

学びとは何か——やり直しのできる社会に向けて

岩波茂雄と信州を結ぶ二つの読書運動

●対談

日本文学学校を語る

子どもの心を拓く——ある日の授業風景

●グラビア

エジプト・路地裏アート散歩

●列島を歩く⑭

その手にはイチゴの苗がにぎられていた——宮城県栗原市耕英地区

●時代小説の中の現代⑳

苦しみの共感から、「なかま」の発見へ——市井ものの起源としての山本

周五郎に、今、学ばねばならぬこと

●ぐにやり東京㉑

北青山の「第二の世界」

●地球に住む④

空、土漠、円錐形の家々

●ニムオロ原野——風露荘の春秋⑤

文明開化

●現代科学の見方・読み方⑬

新しい学びの場

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」サステイナブルな近隣関係づくり

〔写真〕黄金町バザール

\*表四 東京・杉並区

松山 巖

赤木昭夫×池内 了

井出孫六

小沢信男×小関智弘

飯田朋子

常見藤代

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

高田 勝

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

小林敏也

新しい海の共有——「里海」づくりに向けて

●グラビア

南米・イグアス大瀑布

●列島を歩く⑮

雪が横に降る「風の砦」再訪記——青森県津軽半島

●時代小説の中の現代⑳

たえまなく襲来する「みのたけの惨劇」に向きあう——志水辰夫『みのた

けの春』をめぐって

●ぐにやり東京㉒

大森西・運河の畔で

中島 満

富山愛子

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄



● グラビア  
宇宙につながるアフリカ、ドゴン  
板垣真理子

● 列島を歩く<sup>⑧</sup>  
小ささを軽んぜず、それをつなげて力にせよ！——能登半島・輪島市  
結城登美雄

● 時代小説の中の現代<sup>⑩</sup>  
恨みの鎖のひとつを愉しく確実に断つ試み——井上ひさし『ムサシ』をめぐって  
高橋敏夫

● ぐにやり東京<sup>⑪</sup>  
ゴールデン・ウイークと饅頭が怖い江戸川橋  
平井 玄

● 地球に住む<sup>⑫</sup>  
湖の中のカンポンロック村  
小松義夫

● ニムオロ原野——風露荘の春秋<sup>⑬</sup>  
外遊時代  
高田 勝

● 現代科学の見方・読み方<sup>⑭</sup>  
星空のフォークロア——「たなばた」と「天の川」  
池内 了

● グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」悪しき記憶も墓場に残す  
柏木 博

● 「言語生活」「なにもユーさんが……」  
中村 裕

● 表四 石川県志賀町福浦港  
児玉房子

### 九月号 通巻三五三三号◎特集Ⅱ雑誌を考える

● 表紙「AMICO di CINEMA」  
お化けがでた！<sup>⑮</sup>  
ささめやゆき

● 対談・知の交差点<sup>⑯</sup>  
犬  
松山 巖

● 雑誌ってなんだろう——読む雑誌、見る雑誌、めぐる雑誌をめぐって  
池内 紀×津野海太郎

● 雑誌の社会的使命  
ウェブ時代の雑誌論  
佐野真一

● 街の古本屋の雑誌たち  
山崎浩一

● インタビュー  
知の復活をめざして  
石田友三

● グラビア  
白石嘉治

● ERRANCE／彷徨  
Raymond Depardon

● 列島を歩く<sup>⑰</sup>  
農の心をいかに陶器づくりの里を訪ねる——大分県日田市小鹿田  
結城登美雄

● 時代小説の中の現代<sup>⑱</sup>  
「生きるために常に謀叛しなければならぬ」——辻原登『許されざる者』  
ほかにふれながら  
高橋敏夫

● 麴町で光を疑う  
平井 玄

● 地球に住む<sup>⑲</sup>  
タイムスリップしたようなキューバ・トリニダーで  
小松義夫

● ニムオロ原野——風露荘の春秋<sup>⑳</sup>  
無いものねだり  
高田 勝

● 現代科学の見方・読み方<sup>㉑</sup>  
科学の雑誌  
池内 了

● グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」マーケティングに支配されないデザイン  
柏木 博

● 「ストリート」「1Q80」の紹興  
中川道夫

● 表四 嘉穂劇場（福岡・飯塚市）  
児玉房子

### 十一月号 通巻三五四四号◎特集Ⅲ土とヒトとの関わりを考える

● 表紙「ガキ大将」  
お化けがでた！<sup>㉒</sup>  
古内ヨシ

● 対談・知の交差点<sup>㉓</sup>  
猫  
松山 巖

● 土壁に魅せられて——土を塗る、土を撮る  
挾土秀平×小松義夫

● 土と日本人  
土を離れた農業に未来はあるか  
桐山桂一

● グラビア  
Caucasus——fragile moment  
高梨雅人

● インタビュー  
土壌を知れば世界が変わる  
村田信一

● ヴァージニアからシカゴへ<sup>㉔</sup>  
南北戦争の怨念  
田村憲司

● 列島を歩く<sup>㉕</sup>  
木にはそれぞれ個性はあるが優劣はない——大分県由布市湯布院温泉  
赤木昭夫

● 時代小説の中の現代<sup>㉖</sup>  
時代小説の常識を破り「百姓たちの魂の叫び」をえがく——筈木蓬生『水神』と江馬修『山の民』のあいだ  
結城登美夫

● ぐにやり東京<sup>㉗</sup>  
津久戸の病院長屋  
高橋敏夫

● 地球に住む<sup>㉘</sup>  
ミティラー地方の泥の家と壁画  
平井 玄

● ニムオロ原野——風露荘の春秋<sup>㉙</sup>  
自給もどき  
小松義夫

● 現代科学の見方・読み方<sup>㉚</sup>  
土との関わりで農業を見る  
高田 勝

● グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」紙によるデザイン  
池内 了

● 柏木 博

# 2010

## 一月号 通巻二五五号◎特集Ⅱ理系と文系の間

\*表紙「少年の夢」

●お化けがでた!⑪  
人形たち

●対談・知の交差点⑩

加藤周一、対称性の美学をめぐる

文系と理系、人間を分断する境界標識

今、技術・技能者に「教養」は必要とされているか?

●グラビア

On the circle

●インタビュー

理系・文系の溝を埋めるには

●ヴァージニアからシカゴへ②  
走行モードと社会モード

●列島を歩く②①

心やすらぐ文化を生むことの大切さ——山形県上市市狸森

●時代小説の中の現代③⑤

「いい思い出なんて一つもねえ」と思うと一瞬ほの明るさに包まれる——  
「今までにない股旅物」、志水辰夫の『つばくろ越え』をめぐる

●ぐにやり東京②⑨

空飛ぶ病院長屋

●地球に住む①①

キャンドバン村の岩窟住居

●ニムオロ原野——風露荘の春秋⑫

珍参者たち

●現代科学の見方・読み方⑥⑩

文理融合の人、寺田寅彦

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」前ネット時代のS O H Oには人がくる

「言語生活」歩行と舞踏の間

\*表四 東京大学総合図書館(東京・本郷)

鷲巢 力×最上敏樹

山本睦仁

松山 巖

平林 純

普後 均

福岡伸一

赤木昭夫

結城登美雄

高橋敏夫

谷口 雅

\*表四 鎌倉・釈迦堂切通し

児玉房子

山本睦仁

松山 巖

今泉吉晴

平林 純

普後 均

福岡伸一

赤木昭夫

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

高田 勝

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

スズキコージ

松山 巖

●対談・知の交差点⑩  
方言を楽しむプラスの時代へ

消えゆくシマ・ユムタ

世界史に取り残された「地方語」の輝き——南フランス・オクシタニアの音楽事情

●グラビア

唄者の肖像

●インタビュー

方言には人を蘇らせる力がある

●ヴァージニアからシカゴへ③

和解への合同礼拝

●列島を歩く②②

連風はひとつでもおかしくなると揚がらない——宮城県気仙沼沿岸

井上史雄×又重勝彦

島尾伸三

高桑常寿

昼間 賢

大堀 卓

赤木昭夫

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

高田 勝

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

アーンレスト・シートン

松山 巖

今泉吉晴×津田櫓冬

五月号 通巻二五七号◎特集Ⅱシートンの世界

\*表紙「ロボ」

●お化けがでた!⑬

●対談・知の交差点⑫

ナチュラリスト・シートンの生き方

今泉吉晴×津田櫓冬

松山 巖

今泉吉晴×津田櫓冬

動物画家としてのシートン  
シートンと日本の霊長類学

● グラビア

● アラスカの動物たちに学ぶ——生きるということ

● インタビュー

● くま見たさは、止みがたし。

● ヴァージニアからシカゴへ④

● 失われた道を求めて

● 列島を歩く②③

● 風雪に耐え、永遠を希う心を持つ人々に出会う——越前市国中

● 時代小説の中の現代③⑦

● 「明日も生きていく」「明日もこの世はある」という願いあふれた物語——高橋敏夫

● 沖方丁の快作『天地明察』をめぐる

● ぐにやり東京③①

● 宇宙から来た旧未来都市、新宿駅南口

● 地球に住む⑬

● 過剰なまでの色彩空間、オリンダ

● ニムオロ原野——風露荘の春秋⑭

● 巨獣復活？

● 現代科学の見方・読み方⑥②

● シートンと擬人的表現

● グラフイケーション・アベニュー

● 「デザイン」エスニックなモダンデザイン

● 「写真」猥雑なまでのエネルギーを生み出すカメラショー

● \*表四 到津の森公園（北九州市小倉）

### 七月号 通巻三二五八号◎特集Ⅱ「つながり」をめぐる

● \*表紙「借耕牛」

● お化けがでた！⑭

● 贈り物

● 対談・知の交差点⑬

● 孤立社会からつながりのある社会へ

● 谷根千にできた新しい人の輪

● サザエさんのコミュニティを考える——平凡教育の大切さ

● グラビア

● 山のあなたの空遠く……

● インタビュー

● ゆるりとつながるみんなの居場所を

● ヴァージニアからシカゴへ⑤

● 街を見せない摩天楼

● 列島を歩く②④

● バッターリー村再訪——岩手県久慈市山形町木藤古集落

海野 弘

篠原 徹

小出雅敏

米田一彦

赤木昭夫

結城登美雄

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

高田 勝

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

長野ヒデ子

松山 巖

中村達也×本田由紀

森まゆみ

鳥越皓之

吉田智彦

うてつあきこ

赤木昭夫

結城登美雄

● 時代小説の中の現代③⑧

● 偉大なものを地べたの上に叩き落す——追悼井上ひさし、『手鎖心中』の高橋敏夫

● 初志をめぐる

● ぐにやり東京③②

● 四谷愛住町、永住町、番衆町

● 地球に住む⑭④

● ガーナで世界史のページを見る

● ニムオロ原野——風露荘の春秋⑮

● 飯末代

● 現代科学の見方・読み方③③

● 科学コミュニティの再生

● グラフイケーション・アベニュー

● 「デザイン」自由な雰囲気演出した美術館

● 「言語生活」時代を映す「歳時記」

● \*表四 つくば市・筑波農場で

### 九月号 通巻三二五九号◎特集Ⅱ島へ

● \*表紙「名瀬市・午後の公園」

● お化けがでた！⑮

● 西瓜

● 島の時間

● 島尾敏雄が撮った奄美

● 父と奄美大島

● 島とつながる「あいらんだあ」の三十年を経て

● グラビア

● 甦ったサンゴ礁の島の行方——マーシャル諸島メジャト島

● インタビュー

● 借耕牛がいた島で

● ヴァージニアからシカゴへ⑥

● オバマ議員の選挙区

● 和技を旅する①

● 進化する江戸小紋 小宮康孝さん

● 時代小説の中の現代③⑨

● 「そなたの心は、暗く、にごっている。世間の多くの人がとと同じように」——五木寛之『親鸞』をめぐる

● ぐにやり東京③③

● 新宿二丁目の贖ファウスト物語

● 地球に住む⑮

● キュラソーの台形の家

● 棚田に生きる①

● 犬棒調査のはじまり

● 現代科学の見方・読み方⑥④

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

高田 勝

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

島尾伸三

松山 巖

辰濃和男

島尾伸三

河田真智子

島田興生

長野ヒデ子

赤木昭夫

桐山桂一

高橋敏夫

平井 玄

小松義夫

西谷 大

- 島が語る科学と文明
- グラフイケーション・アベニュー
- 「デザイン」箱の中の世界
- 「ストリート」『坂の上の雲』のまちおこし

十一月号 通巻二六〇号 ● 集 II 師弟関係

- \*表紙「師弟」
- お化けがでた! ⑩
- 可愛いおばあちゃん
- 師弟関係を考える
- 教育者としての大辻清司
- 技術伝承と師弟
- 福田定良さんと私
- 師を語る——石川経夫が生きていたら
- インタビュー
- 師はどこにいるかわからない
- グラビア

池内 了  
柏木 博  
中川道夫  
児玉房子

北村 人

松山 巖

佐高 信

大島 洋

塩野米松

鬼海弘雄

玄田有史

名取弘文

- インドで仏教を広める日本人僧——佐々井秀嶺師の生き方
- 和技を旅する②
- 眠れる戦略資源 日本のお蚕
- 時代小説の中の現代④⑥
- 死者たちが夢見た、もうひとつの解放世界——福田善之『草莽無頼なり』をめぐって
- すまけいの楽屋ばなし①
- 井上さんとの別れ
- 地球に住む⑩
- ブルターニュの古い家
- 棚田に生きる②
- トラの棲む黒い森
- 現代科学の見方・読み方⑥⑤
- 科学者の師弟関係
- グラフイケーション・アベニュー
- 「デザイン」半世紀前のデザインを振り返る
- 「写真」写真的絵画と絵画的写真
- \*表四 桑沢デザイン研究所の授業（東京・渋谷）

山本宗補  
桐山桂一

高橋敏夫

すまけい

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

# 2011

一月号 通巻二六一号 ● 特集 II アジアとのつながり

- \*表紙「敦煌」
- お化けがでた! ⑩
- ピエロ
- 対談・知の交差点④④
- アジアとのつき合い方
- 信頼のネットワークを作ろう——新日中友好21世紀委員会を振り返って
- カラーシャ族の谷での暮らしと今
- 南京町と中華街
- インタビュー
- コリア系日本人として生きる
- グラビア
- 受け継がれる「ラーマヤーナ」Balli
- 和技を旅する③
- 現代に映える茅葺き屋根
- 時代小説の中の現代④①
- いつまでも覚めない悪夢を断ち切ることは可能か——飯嶋和一『出屋前夜』をめぐって

島倉二千六

松山 巖

村井吉敬×吉岡 忍

石川 好

わだ晶子

中川道夫

鄭大均

渡辺 眸

桐山桂一

高橋敏夫

- すまけいの楽屋ばなし②
- 旅公演の日記から
- 地球に住む⑩
- 空に突き出た広い部屋
- 棚田に生きる③
- 七十個の魂
- 現代科学の見方・読み方⑥⑥
- 中国が切り拓いた科学と文明
- グラフイケーション・アベニュー
- 「デザイン」デザインの可能性を感じさせる学生作品
- 「言語生活」一語一語の言葉の歩み
- \*表四 川崎・桜本

すまけい

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

今森洋輔

松山 巖

鳥越皓之×陣内秀信

三月号 通巻二六二号 ● 特集 II 川・水辺の再生

- \*表紙「ニッポンバラタナゴの産卵」
- お化けがでた! ⑩
- 冬眠
- 対談・知の交差点⑥⑤
- 川・水辺の再生——水都は回復できるか

今森洋輔

松山 巖

鳥越皓之×陣内秀信

川辺の魅力、水辺の魅力  
良い川の特徴・生物多様性と川の再生  
上流・下流・海の関係を考える——水系一体の思想

川添 裕  
森下郁子  
宇野木早苗

● インタビュー  
多摩川に人と清流を呼び戻す  
● グラビア  
ガンジスの源流を訪ねて

山崎充哲  
石川 梵

● 和技を旅する④  
日本料理にみる陰陽思想

桐山桂一

● 時代小説の中の現代④②  
「怪物があらわれた、怪物を殺せ」ではない物語へ——桜庭一樹『伏魔作・里見八犬伝』をめぐって

高橋敏夫

● すまけいの楽屋ばなし③  
解散公演「コンニチワそしてサヨウナラ」  
● 地球に住む⑱  
ヨーロッパはここから始まる——グルジア

すまけい  
小松義夫

● 棚田に生きる④  
水と棚田

西谷 大

● 現代科学の見方・読み方⑱  
自然主義の川へ  
● グラフィックデザイン・アベニュー  
「デザイン」デザイン教育のすぐれたプログラム

池内 了

「ストリート」「満州」の戦蹟をゆく  
● 表四 東京・小名木川 中央水の都フォーラムのクルーズで

柏木 博  
中川道夫  
児玉房子

**五月号 通巻二六三三号◎特集Ⅱ子どもたちはいま**  
\*表紙「絵歌留多百変化」  
● お化けがでた!⑱  
臆病

森 洋子  
松山 巖

● 対談・知の交差点⑱  
日本人の子ども観はどう変わったか

野上 暁×芹沢俊介

高年齢者と子どもが交流する姿こそ自然  
塔の上の子どもたち——「読めない名前」を呼びかける  
「大切」も「大変」も楽しんで舞う

汐見稔幸  
小林康正  
吉田智彦

● インタビュー  
育児の基本は信じる力をつけること

佐々木正美

● グラビア  
アナトリアの人びと

鬼海弘雄

● 和技を旅する⑤  
自然の灯火 和蠟燭を訪ねて  
● 時代小説の中の現代④③  
停滞する困難のなかにだけ、自由はめばえる——木内昇『漂砂のうたう』

桐山桂一

をめぐって

高橋敏夫

● すまけいの楽屋ばなし④  
思い出すままに

すまけい

● 地球に住む⑱  
風の湖——ケニア・トゥルカナ湖  
● 棚田に生きる⑤  
ヤオ族の歌垣

小松義夫  
西谷 大

● 現代科学の見方・読み方⑱  
子どもの遊びにおける物語性と科学性  
● グラフィックデザイン・アベニュー  
「デザイン」CGのように輝く商業空間のデザイン

池内 了

● 写真「四十年を超える写真への想い」  
\*表四 神奈川・鎌倉囲碁倶楽部

柏木 博  
谷口 雅  
児玉房子

**七月号 通巻二六四四号◎特集Ⅱ庭を愉しむ**  
\*表紙「庭園美術館」  
● お化けがでた!⑳  
二階の人

森英二郎  
松山 巖

● 対談・知の交差点⑱  
庭の空間論——新しい自然観を求めて

海野 弘×青木宏一郎  
進士五十八

庭園の条件——災害を克服して美しい風景世界を創る  
庭園の美と心

布施英利  
門井昭夫

● ワーズワスの庭——湖水地方の風景と英国人の自然観  
● インタビュー  
自然相手は先が読めないから面白い

樋口彩土  
小瀧達郎

● グラビア  
モノの庭  
● 和技を旅する⑥  
人類の相棒 ミツバチの役割

小瀧達郎  
桐山桂一

● 時代小説の中の現代④④  
闘いのなか、ひとりの黒頭巾が、無数の黒頭巾となる——佐々木譲『黒頭巾旋風録』をめぐって

高橋敏夫

● すまけいの楽屋ばなし⑤  
別に隠れていたわけじゃないんだけど

すまけい

● 地球に住む⑳  
セブレイロ峠の草葺き屋根の家——スペイン・ガリシア地方

小松義夫

● 棚田に生きる⑥  
者米谷の定期市(前編)

西谷 大

● 現代科学の見方・読み方⑱  
庭から生まれた科学  
● グラフィックデザイン・アベニュー  
「デザイン」商品見本市とデザイン展は違うのか

池内 了  
柏木 博

〔言語生活〕文学全集はどこへ  
\*表四 千葉・佐倉 園遊舎（青木邸）の庭

中村 裕  
児玉房子

### 九月号 通巻二六五号◎特集Ⅱ東北に寄せる想い

\*表紙「東北のおまつり」

平澤一平

●お化けがでた!②

松山 巖

●ロングインタビュー

結城登美雄

●東北はいつか希望の星となる

高橋克彦

●3・11を体験した「フォルティシモな豚飼」の生活と意見

村田信一

●故郷石巻に寄せる

杉田 徹

●石巻慕情

橋本照嵩

●和技を旅する⑦

橋本照嵩

●碁盤は宇宙、碁石は星々

桐山桂一

●時代小説の中の現代④⑤

桐山桂一

●このころのなかに巣食う妖怪たちから自由になれるか——新鋭、武内涼の『忍びの森』をめぐって

高橋敏夫

●すまけいの楽屋ばなし⑥

すまけい

●地球に住む②

すまけい

●薄い泥板で造られた高層建築——イエメン・シバーム

小松義夫

●柵田に生きる⑦

小松義夫

●者米谷の定期市（後編）

西谷 大

●現代科学の見方・読み方⑦⑧

西谷 大

●東北帝国大学草創期のエピソード

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

池内 了

●「デザイン」中村とうようさんに託されたもの

柏木 博

●「ストーリー」雄勝天然スレートの行方

中川道夫

\*表四 第23回「森は海の恋人植樹祭」で（岩手・一関）

児玉房子

# 2012

## 一月号 通巻二六七号◎特集Ⅲ・11以後の知を考える

\*表紙「研究者の悩み」

やまもとちかひと

●お化けがでた!③

松山 巖

●対談・知の交差点⑩

松山 巖

## 十一月号 通巻二六八号◎特集Ⅱ装幀・さし絵考

\*表紙『金光明最勝王経音義』による「いろは歌」

平野甲賀

●お化けがでた!②

松山 巖

●対談・知の交差点⑩

池内 紀×松山 巖

●装幀をめぐって——本という建築について

平出 隆

●詩と造本のこれまで

坂崎重盛

●新聞小説さし絵画家奮闘記

土橋とし子

●私が装丁家になった理由

桂川 潤

●さらば原発

本橋成一／スズキコージ

●和技を旅する⑧

桐山桂一

●欧州に挑む「甲州」ワイン

桐山桂一

●時代小説の中の現代④⑥

岩井志麻子『備前

●物語は暗黒を暴くだけでは済まなくなってきたのか——岩井志麻子『備前風呂屋怪談 湯女の櫛』をめぐって

高橋敏夫

●誰も知らない熊野①

母嶺レイ

●百夜月（前編）

母嶺レイ

●地球に住む②

小松義夫

●パハルガムの谷の斜面の家——インド・カシミール

小松義夫

●柵田に生きる⑧

小松義夫

●者米谷の食

西谷 大

●現代科学の見方・読み方⑦⑧

西谷 大

●科学書の挿し絵と装丁

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

池内 了

●「デザイン」箱によるブックデザイン

柏木 博

●「写真」写真家はすべからくパララッチ

谷口 雅

\*表四 製本家・平まどかさんのアトリエで（東京・東陽町）

児玉房子

いま、科学と専門家に何が求められているか

中村桂子×赤木昭夫

3・11で何が問われたのか

佐々木賢

知——私たちがともに耕す大地としての

里見 実

「真空」に雪崩れこむ人々——高円寺「地下大学」から

平井 玄

科学は夢を見ない  
グラビア

古代エジプト礼讃

和枝を旅する⑨

三次元幾何学となった「京紋り」

●時代小説の中の現代④⑦  
歩きつづけ、疑いつづける者の行方——福田善之『草鞋をはいて』をめぐつて

●誰も知らない熊野②  
百夜月（後編）

●地球に住む②③

隠し部屋がある家——ギリシャ・キオス島

●棚田に生きる⑨

魚を捕ると結婚できる話

●現代科学の見方・読み方⑦②

ジャーナリズムと専門家の社会的責務

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕北京のデザイン風景

〔言語生活〕大震災を機に生まれた言葉

三月号 通巻三二八八号 ◎特集Ⅱファンタジーの愉しみ

\*表紙「見るべきもの」

●お化けがでた！②④

●対談・知の交差点⑫  
ファンタジーの魅力語る

思い込みを超えて  
失われた地名と風景をめぐる

●時代小説とファンタジー

●インタビュー  
ヤングアダルトとファンタジー

●グラビア  
Shanghai Deco

●和枝を旅する⑩

●「Japan漆」の万年筆

●時代小説の中の現代④⑧

「武士の心」が、物語の可能性を閉じた——葉室麟『蝸ノ記』をめぐつて

●誰も知らない熊野③

九重——森に広大な棚田が眠る

●地球に住む②④

保坂和志

ハナブサ・リュウ

桐山桂一

高橋敏夫

梅嶺レイ

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

とどろきちづこ

松山 巖

野上 暁×荻原規子

清水眞砂子

今尾恵介

武内 涼

金原瑞人

中川道夫

桐山桂一

高橋敏夫

梅嶺レイ

スロバキア山中の小さな村

●棚田に生きる⑩

●国境の赤い十字架

●現代科学の見方・読み方⑦③

●自然魔術と錬金術  
グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」三玲と治兵衛、どちらのデザインが趣味か  
〔ストリート〕電波塔の新時代

五月号 通巻三二八九号 ◎特集Ⅱ潟と湿原を考える

\*表紙「寒ブナ漁」

●お化けがでた！②⑤

最後の言葉

●対談・知の交差点⑫

潟・内湖の自然と文化をめぐる——水辺の境界領域を考える

俳句に詠まれた潟や蘆原

干潟・湿原と付き合うこと

●インタビュー  
海に抱っこされた干潟と浜辺とわたし

生きる力を生み出す場所——水辺の復原

●グラビア

●ハイチ・ジャクメルのカーニバル

●和枝を旅する⑩

●四季を巡る和菓子歴史

●時代小説の中の現代④⑨

●料理をステージに「弱い者の民主主義」が生起する——高田郁『夏の虹みをつくし料理帖』をめぐつて

●誰も知らない熊野④

●竹筒——幻の玉置街道

●地球に住む②⑤

●漂海民バジャウの海上の家

●棚田に生きる⑩

●消える棚田と残る棚田

●現代科学の見方・読み方⑦④

●水辺の生態系——湿原・干潟・サンゴ礁  
グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」ロンドン——オリンピック、ゴスロリ  
〔写真〕3・11から一年あまり

\*表四 滋賀・近江八幡市沖島町

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

溝口イタル

松山 巖

篠原 徹×秋道智彌

中村 裕

高田 勝

長野ヒデ子

中村良夫

佐藤文則

桐山桂一

高橋敏夫

梅嶺レイ

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

七月号 通卷三二七〇号◎特集Ⅱエコロジーとデザイン

\*表紙「Day by Day」

●お化けがでた!⑳

蕪

●対談・知の交差点㉑

自立を助けるデザインの時代へ

セルフビルドの思考

二十一世紀のウィリアム・モリス

エコパリ・レポート——パリの長屋から

●インタビュ

建物のかたちが生きるかたちを組み立てる

●グラビア

小さな町、小さな記憶

●和枝を旅する㉒

鵜飼の舟大工と水の祭礼

●時代小説の中の現代㉓

人々の生きる熱気、ただだけが希望の虹をかける——真保裕一『猫背

の虎 動乱始末』をめぐって

●誰も知らない熊野⑤

花井——美濃の姫と熊野比丘尼

●地球に住む㉔

土地から生きてきたような家——マリ

●棚田に生きる⑫

フィールドとの邂逅

●現代科学の見方・読み方㉕

文化としての科学とデザイン

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕モダンデザインと地場のデザイン

〔言語生活〕文字と身体

\*表四 佐藤卓個展「光で歩く人」(東京・銀座「巷房」)で

九月号 通卷三二七一号◎特集Ⅱダンスの世界

\*表紙「ストリートダンサー(モーション)」

●お化けがでた!⑳

●ちんぷいぷい

●対談・知の交差点㉑

舞踊の東と西を語る——人はなぜ舞踊に魅せられるのか

渡辺

フラメンコとわたしの半世紀

ダンスホールと日本人の身体

●インタビュ

●インタビュ

秋山 育

松山 巖

柏木 博×佐藤 卓

大竹 誠

海野 弘

竹原あき子

塚本由晴

白石ちえこ

桐山桂一

高橋敏夫

梅嶺レイ

小松義夫

西谷 大

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

デハラユキノリ

松山 巖

保×三浦雅士

逢坂 剛

永井良和

毛利嘉孝

ザッツ・エンタテインメント!

●グラビア

Celebration of Everyday Life / 日常讃歌

●和枝を旅する⑬

海外に渡る竹工芸の美

●時代小説の中の現代⑮

はてしなき非決定は、残酷な結末を遠ざけうるか?——前田司郎『宮本

武蔵』をめぐって

●ガード下スピークス①

「ガード下学会」の誕生

●地球に住む㉗

アルティプラーノの芝土の家——ボリビア

●誰も知らない熊野⑥

湯峯——豊稷の源となったハンセン病患者

●現代科学の見方・読み方㉖

自然界のダンス

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕ロング・ライフの北欧デザイン

〔ストリート〕二つの文庫

\*表四「ダンス・ダンス・ダンス@ヨコハマ2012」より

十一月号 通卷三二七二号◎特集Ⅱ哲学からの問い

\*表紙「優しい考えが降る日」

●お化けがでた!⑳

●ナノハニアイタラ

●対談・知の交差点㉑

私たちの望む社会のモデルをつくる——循環型社会へ向けて

内山 節×中村達也

現代世界はいま

文と理は哲学を通じて連環する

風景に出会うこと

●インタビュ

●哲学者の考えること

●グラビア

●茶馬古道——中国のティーロードをゆく

●和枝を旅する⑭

女の魂が織る宮古上布

●時代小説の中の現代⑯

ファンタジー世界までもが閉塞しはじめたか——菊地秀行『大江山異聞

鬼童子』をめぐって

●ガード下スピークス②

鶴見線国道駅ガード下を歩く

伊藤千枝

廣見恵子

桐山桂一

高橋敏夫

大竹 誠

小松義夫

梅嶺レイ

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

柳 智之

松山 巖

高 史明

赤木昭夫

保坂和志

小泉義之

竹田武史

桐山桂一

高橋敏夫

大竹 誠

大竹 誠

# 2013

- 地球に住む<sup>28</sup>  
ハウサ模様の家を探して——ナイジェリア
- 誰も知らない熊野<sup>7</sup>  
楊枝——三十三間堂伝承変容のダイナミズム
- 現代科学の見方・読み方<sup>77</sup>

小松義夫  
榎嶺レイ

- 科学哲学、そして科学の社会学  
グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」弱いこと、小さいこと、不条理なこと  
〔写真〕ソーシャルメディアと写真
- 表四 群馬・上野村

池内 了  
柏木 博  
谷口 雅  
児玉房子

## 一月号 通巻三七三三号◎特集Ⅱつながり・橋渡し

- 表紙「つながるなかまたち」
- お化けがでた!<sup>29</sup>

さてさて

コミュニケーションの可能性——つながりを編み直すワーク、活かすワーク

加藤妙子

松山 巖

いのちを受けとめる磁場——在宅ホスピス医の立っている場所

中村陽一

イモヅル式超ジャンルのすすめ

米沢 慧

マチとムラをつなぐもの

大竹昭子

フットパスが紡ぎ出すぶらぶら歩きの世界

結城登美雄

●インタビュ

泉 留維

若者はどうしたらよいのか——感覚の革命を

今野晴貴

●グラフィア

関口正夫

こと——つながる街

●和技を旅する<sup>15</sup>

桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>53</sup>

桐山桂一

●熾烈な無差別爆撃下、「なかま」と仕事をみいだす——『山本周五郎 戦中日記』をめぐって

高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>3</sup>

大竹 誠

●神田ガード下でドローイング

小松義夫

●地球に住む<sup>29</sup>

榎嶺レイ

●誰も知らない熊野<sup>8</sup>

池内 了

●現代科学の見方・読み方<sup>78</sup>

池内 了

●科学の案内人

池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

池内 了

●「デザイン」小さいこと、弱いこと

池内 了

●「言語生活」戦争の意味をとらえる言葉の力

池内 了

●表四 看護学校の戴帽式で（東京・新宿）

池内 了

## 三月号 通巻三七四号◎特集Ⅱ岡村昭彦が残したもの

- 表紙「アイルランドの風土の中で遊ぶ子どもと馬」
- お化けがでた!<sup>30</sup>

へへののもへじ

●対談・知の交差点<sup>25</sup>

岡村昭彦——ことばの写真家をめぐって

中川道夫×米沢 慧

「岡村昭彦の写真」（仮称）展の開催について

金子隆一

「我々はどうな時代に生きているのか」との問い

吉田敏浩

岡村昭彦文庫をめぐる証言——海の幸を守る闘いを中心に

比留間洋一

岡村昭彦のアイルランド

戸田昌子

●グラフィア

岡村昭彦

アイルランド未発表写真から

岡村昭彦

●和技を旅する<sup>16</sup>

岡村昭彦

美術の領域、左官の装飾

桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>54</sup>

桐山桂一

人々の毎日の生活と感情がコラムに盛られた——藤沢周平・徳永文一『甘味辛味 業界紙時代の藤沢周平』をめぐって

高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>4</sup>

大竹 誠

●上野アメ横篇

大竹 誠

●地球に住む<sup>30</sup>

大竹 誠

●大平原のヨシ葺き屋根の家——ハンガリー

小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>9</sup>

小松義夫

●前鬼——聖と俗のインターフエース

小松義夫

●現代科学の見方・読み方<sup>79</sup>

小松義夫

●医療技術の進展とバイオエシックスの変遷

小松義夫

●グラフィケーション・アベニュー

小松義夫

●「デザイン」エジプト・カイロで見つけたデザイン

小松義夫

●「ストリート」常若の伊勢

小松義夫

●表四（シリーズ・東京クルージング①）東京・代々木公園

小松義夫

●表紙「金色夜叉」

小松義夫

## 五月号 通巻三七五号◎特集Ⅱお金について考える

- 表紙「金色夜叉」

下谷二助

●お化けがでた！<sup>③</sup>  
家族

松山 巖

●対談・知の交差点<sup>⑭</sup>  
おカネと人生ドラマを語る

池内 紀×小沢信男

●零円札の旅

赤瀬川原平

●お金の民主主義的な未来？

森野榮一

●社会の終焉とベーシックインカム——ウォール街占拠の問いかけから

白石嘉治

●江戸時代はお金の世の中

鈴木浩三

●グラビア

小瀧達郎

●PARIS——エリック・ロメールのように

桐山桂一

●和枝を旅する<sup>⑰</sup>

高橋敏夫

●端午を彩る甲冑の世界

大竹 誠

●時代小説の中の現代<sup>⑮</sup>

小松義夫

●渡世人の足音はサタサタとひびいた——校條剛『ザ・流行作家』をめぐって

大竹 誠

●ガード下スピークス<sup>⑤</sup>

小松義夫

●映画「雨月物語」のように【新橋篇】

大竹 誠

●地球に住む<sup>⑩</sup>

小松義夫

●最果ての島のスペイン様式の家——バタネス諸島

小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>⑩</sup>

小松義夫

●十津川の廃仏毀釈——人は本当に仏教を捨てたのか？

小松義夫

●現代科学の見方・読み方<sup>⑧</sup>

小松義夫

●科学者とお金

小松義夫

●グラフィケーション・アベニュー

小松義夫

●「デザイン」気になるデザイナーたちの室内

小松義夫

●「写真」「いいね！」に流される写真の現実

小松義夫

●\*表四へシリーズ・東京クルージング<sup>②</sup> 東京・本郷菊坂

小松義夫

### 七月号 通巻三七八号◎特集Ⅱ古代に寄せる

●\*表紙「記憶の塔」

磯 良一

●お化けがでた！<sup>⑩</sup>

松山 巖

●マドロスおじさん

松山 巖

●対談・知の交差点<sup>⑭</sup>

松木武彦×足立倫行

●古代史を掘る愉しみ——認知考古学とは何か

大村幸弘

●製鉄は何処で始まったのか——ヒッタイト帝国発掘

大村幸弘

●岡本太郎がつかないだ「縄文」と「ケルト」美術

鶴岡真弓

●サルビルサ降臨

スズキコージ

●インタビュ

スズキコージ

●縄文の音——日本音楽の源流を探る

土取利行

●グラビア

大村次郷

●霊力を持つ聖獣たち

大村次郷

●和枝を旅する<sup>⑱</sup>

桐山桂一

●世界の爆弾をすべて花火に

桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>⑮</sup>

高橋敏夫

●赤いゆきどまりに、次を「思い描く」——長塚圭史『あかいくらやみく』天

高橋敏夫

●狗党幻譚『』をめぐって

高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>⑥</sup>

大竹 誠

●ダイブな大阪・鶴橋ガード下をめぐる

大竹 誠

●地球に住む<sup>⑫</sup>

大竹 誠

●砂漠を渡るキャラバンの中継地ワラタ——モータニア・イスラム共和国

小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>⑩</sup>

小松義夫

●古座河内祭り——黒潮と鯨と夏の粹

小松義夫

●現代科学の見方・読み方<sup>⑧</sup>

小松義夫

●古代における先端技術

小松義夫

●グラフィケーション・アベニュー

小松義夫

●「デザイン」空疎なモダニズム——エウルのデザイン

小松義夫

●「言語生活」詩的言語の背景を考える

小松義夫

●\*表四へシリーズ・東京クルージング<sup>③</sup> 大森貝塚遺跡公園（東京・品川）

小松義夫

●お化けがでた！<sup>⑩</sup>

小松義夫

●カマキリ

小松義夫

●対談・知の交差点<sup>⑭</sup>

小松義夫

●演芸の笑い、文学の笑い——井上ひさしを中心に

小松義夫

●狂言の笑い

小松義夫

●日本映画における「笑い」の変遷

小松義夫

●怒れトッパさん——「路上劇団・野火」が行く

小松義夫

●インタビュ

小松義夫

●笑いは不意にやってくる

小松義夫

●グラビア

小松義夫

●暮れゆく大地——ナイジェリア点描

小松義夫

●和枝を旅する<sup>⑱</sup>

小松義夫

●グローバル化する和傘の技術

小松義夫

●時代小説の中の現代<sup>⑮</sup>

小松義夫

●一人の「不屈の敗者」から無数のそれへ——乾緑郎『鬼と三日月』

小松義夫

●之介、参る！

小松義夫

●ガード下スピークス<sup>⑦</sup>

小松義夫

●渋谷はどんな街に……

小松義夫

●地球に住む<sup>⑬</sup>

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

●南イタリアプーリア州のトンガリ帽子と迷宮町

小松義夫

# 2014

●誰も知らない熊野<sup>⑫</sup>  
籠——高齢者が暮らす力

●現代科学の見方・読み方<sup>⑧⑨</sup>  
科学はショーで始まった！

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」モリスのタイポグラフィ再見  
〔ストリート〕根府川、真鶴ジオウオーク

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>④</sup>）東京・清澄白河

●十一月号 通巻二七八号◎特集Ⅱ七〇年代の文化エネルギー

●表紙「ロック体験」（東京・代々木公園、一九七八年）

●お化けがでた！<sup>③④</sup>  
神主

●七〇年代の混成文化を現代にどうつなぐか

●対談・知の交差点<sup>⑳</sup>

●七〇年代の新宿を語る  
テント劇場の時代

●カウンターカーチャターの記憶

●インタビュ

●反復する過去と未来——おたくとコミケと70年代

榎嶺レイ

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

渡辺 眸

松山 巖

粉川哲夫

佐藤 信×平井 玄

扇田昭彦

室 謙二

森川嘉一郎

●グラビア

●70年代初頭の街で

●和技を旅する<sup>⑳</sup>

●対馬の「セン」をめぐって

●時代小説の中の現代<sup>⑤⑥</sup>

●人びとを魅せる特異さこそが、自滅をたぐりよせた——伊東潤『王になれなかつた男』をめぐって

●ガード下スビークス<sup>⑧</sup>

●風変わりなギャラリー【別府ガード下】

●地球に住む<sup>③④</sup>

●楢円形の家——インドネシア・スマトラ島沖ニアス島

●誰も知らない熊野<sup>⑬</sup>

●口色川——消費社会からの脱出

●現代科学の見方・読み方<sup>⑧⑨</sup>

●1970年代の科学と技術（上）——その時代的背景

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」六〇・七〇年代のポップなデザインと企業の文化——オリベッティ

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>⑤</sup>）東京・新宿

児玉房子

桐山桂一

高橋敏夫

大竹 誠

小松義夫

榎嶺レイ

池内 了

柏木 博

谷口 雅

児玉房子

一月号 通巻二七九号◎特集Ⅱ七〇年代の文化エネルギーⅡ

●表紙「見逃した天井桟敷」

●お化けがでた！<sup>③⑤</sup>  
お見合い

●対談・知の交差点<sup>⑳</sup>

●七〇年代の都市文化と寺山修司  
「成長の限界」からオタク世代へ

●七〇年代の論壇を振り返る

●グラビア

●七〇年代の記憶から  
「風景」から都市へ

●インタビュ

●私のスタイリスト修業——原宿、ロンドン、ニューヨーク

●和技を旅する<sup>⑳</sup>

●「人形の家」の幻想

●時代小説の中の現代<sup>⑤⑥</sup>

●「勸強懲弱」時代に突き刺さる「勸弱懲強」物語へ——和田竜『村上海賊』

ささめやゆき

松山 巖

海野 弘×萩原朔美

関 曠野

杉山光信

中川道夫

中川道夫

高橋靖子

桐山桂一

●の娘』をめぐって

●ガード下スビークス<sup>⑨</sup>

●佐伯祐三が好んだ風景——目白駅近くのガード下篇

●地球に住む<sup>③⑤</sup>

●貝殻の島と陸地を木の橋で繋ぐ——セネガル、ジョアル・ファデュー

●誰も知らない熊野<sup>⑭</sup>

●太地【前編】——クジラの何が日本の文化か

●現代科学の見方・読み方<sup>⑧⑨</sup>

●1970年代の科学と技術（下）——各分野の具体的な展開

●グラフィケーション・アベニュー

●「デザイン」七〇年代、「文字の力」の復活

●「言語生活」時代の空気を伝えるもの

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>⑥</sup>）東京・渋谷

●三月号 通巻二八〇号◎特集Ⅱ写真と出会う

●表紙「新釈肖像写真」シリーズより

高橋敏夫

大竹 誠

小松義夫

榎嶺レイ

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

清 真美

●お化けがでた！<sup>36</sup>  
雀

●対談・知の交差点<sup>13</sup>

地域からの視点に希望を託す——写真の現在と未来 倉石信乃×谷口 雅  
仰向けの言葉  
写真家は福島で何を見たのか  
見ることの速さと遅さ——描くことと撮ること  
オモチャのチェキ

●インタビュ

アジャゾウの秘密に迫る——ロボット・カメラの驚きと発見  
鈴木直樹  
しまおまほ

●グラビア

史上最大の宗教儀式、クンプメーラ  
石川 梵

●和技を旅する<sup>22</sup>

町工場の「数楽アート」  
桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>60</sup>

共感の共同体、「なかま」が生成する——吉来駿作『火男』をめぐる  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>10</sup>

「オモロイ」街路劇で満ちている——大阪環状線のガード下篇  
大竹 誠

●地球に住む<sup>36</sup>

トタン板の町並み保存——チリ・バルパライソ  
小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>15</sup>

太地【中編】——クジラを飼養する日本の心  
榎嶺レイ

●現代科学の見方・読み方<sup>85</sup>

写真——光を捉え再現する技術  
池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」イームズのドキュメント映画  
柏木 博

●「ストーリー」イーストロンドンのおもしろさ

\*表四（シリーズ・東京クルージング<sup>7</sup>）東京・台東区  
中川道夫  
児玉房子

●五月号

通巻三八一号◎特集Ⅱ学びの再発見  
山口マオ

\*表紙「自然から学ぶ」

●お化けがでた！<sup>37</sup>  
サギ  
松山 巖

●対談・知の交差点<sup>12</sup>

学校と社会のつながりを考える  
名取弘文×小玉重夫  
西村伊作の知恵の資産  
黒川 創  
漢詩のすすめ——スパー少子高齢単身者社会を漢詩的ホモ・ルーデンスと  
岡崎満義  
して生きる  
岸 裕司  
生涯学習としてのビオトープづくり  
寺脇 研  
インタビュ

●さまざまな学びのすすめ

●グラビア  
[5] アイランド紀聞

●和技を旅する<sup>23</sup>

江戸と京都の木版画  
桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>61</sup>

日本の死の美学を、突きやぶる——山本周五郎「生きている源八」をめぐる  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>11</sup>

時間を巻き戻す私鉄沿線の大正・昭和——東向島駅高架下の東武博物館  
大竹 誠

●地球に住む<sup>37</sup>

家は緑の絨毯に潜り込むようにしてある——フェロー諸島  
小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>16</sup>

太地【後編】——太地は本当に鯨の町か  
榎嶺レイ

●現代科学の見方・読み方<sup>86</sup>

自由研究としての副論文  
池内 了

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」デュッセルドルフのユーロ・ショップを見る  
柏木 博

●「写真」写真は嘘をつかないか？

\*表四（シリーズ・東京クルージング<sup>8</sup>）東京・下北沢  
谷口 雅  
児玉房子

●七月号

通巻三八二号◎特集Ⅱ観光を考える  
矢吹申彦

\*表紙「ストーンヘンジ」

●お化けがでた！<sup>38</sup>  
ラブレター  
松山 巖

●対談・知の交差点<sup>13</sup>

遠くへ行きたい——旅の魅力を語る  
池内 紀×アーサー・ビナード  
日本人の旅と観光  
神崎宣武

●インタビュ

ダークツーリズムの可能性  
井出 明

●グラビア

北米・ナイアガラ大瀑布  
富山愛子

●和技を旅する<sup>24</sup>

新しい音楽となった和太鼓  
桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>82</sup>

けっして、あきらめない——小嵐九八郎『我れ、美に殉ず』をめぐる  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>12</sup>

古いレールを再利用した美しい駅舎——浅草橋駅高架下篇  
大竹 誠



# 2015

## 一月号 通巻二八五号◎特集Ⅱ町工場・ものづくり考

＊表紙「EYEBALL」

●お化けがでた！④

正月

●対談・知の交差点③⑥

ものづくりで、いい

ゆつくりで、いい

中小企業の生き残り経営革新

ステイールパン工匠への道

●インタビュー

●町工場の新しい試み

●グラビア

大鹿村 2008-2014

●和枝を旅する②⑦

東北を走る千石船

●時代小説の中の現代⑥⑤

日々のたたかいは次つぎに引き継がれる——帚木蓬生『天に星

をめぐって

●ガード下スピークス⑮

運河、駅舎、鉄橋、ガード下——お茶の水×昌平橋・万世橋篇

●地球に住む④①

ワラオ族の屋根と梯子の家——ベネズエラ

●誰も知らない熊野②⑩

檜原／小瀬——熊野のヒーロー、狩場刑部左衛門はどこから来たのか

●現代科学の見方・読み方⑨⑩

町工場の技術が生きる道

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」デザインによる文化への共感

「言語生活」俳句から時代背景を読む

＊表四（シリーズ・東京クルージング⑫）浮間舟渡（東京・北区）

●三月号

通巻二八六号◎特集Ⅱ塔をめぐって

＊表紙「塔は歩く」

●お化けがでた！④②

古書

●対談・知の交差点③⑦

人はなぜ塔に魅かれるのか——塔の文化史を語る

田中靖夫

松山 巖

小関智弘×吉岡 忍

高森美由紀

中沢孝夫

園部 良

浜野慶一

小瀧達郎

桐山桂一

大地に花

高橋敏夫

大竹 誠

小松義夫

榎嶺レイ

池内 了

柏木 博

中村 裕

児玉房子

井上洋介

松山 巖

海野 弘×橋爪神也

塔の話

五重塔心柱の不思議

塔のファンタジー

●インタビュー

都市の変遷と記憶

●グラビア

塔都ブラハ

●和枝を旅する②⑧

「紙わざ」の世界

●時代小説の中の現代⑥⑥

屈辱の歴史、ほとぼしる怒り——安部龍太郎『冬を待つ城』をめぐって

●ガード下スピークス⑮

「泣いてどうなるのか」の鼻歌が流れる——神戸×三宮ガード下

●地球に住む④②

自由なデザインの水上住宅——カナダ・バンクーバー島

●誰も知らない熊野②⑪

神の使いオオカミと猪垣

●現代科学の見方・読み方⑨①

塔を使った科学実験

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」シェアハウス・協同家事のアパートメント

「ストリート」台湾の日本再ブームを考える

＊表四（シリーズ・東京クルージング⑬）東京・港区

●五月号

通巻二八七号◎特集Ⅱ子どもの可能性を考える

＊表紙「キャッチボール」

●お化けがでた！④③

●手料理

●ロングインタビュー

生きていることは学ぶこと

学校での哲学対話：子どもと共に考え、学ぶ

子どもの情景

いま子どもの遊びは？——妖怪ウォッチブームの背景

●グラビア

きのくに子どもの村学園を訪ねて

●和枝を旅する②⑨

蝶々の百年の旅

村上陽一郎

塩野米松

金原瑞人

五十嵐太郎

中川道夫

桐山桂一

高橋敏夫

大竹 誠

小松義夫

榎嶺レイ

池内 了

柏木 博

中川道夫

児玉房子

古内ヨシ

松山 巖

大田 堯

河野哲也

池内 紀

野上 暁

児玉房子

桐山桂一

海野 弘×橋爪神也

●時代小説の中の現代<sup>67</sup>  
「変化」は点から線へ、そして面へ——飯嶋和一『狗賓童子の島』をめぐる  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>17</sup>  
新しい風を吹かせられるか——阿佐ヶ谷高架線下のアニメストリート  
大竹 誠

●地球に住む<sup>43</sup>  
ウマ・ネ・メクル（寝るための家）——ニューカレドニア・リフー島  
小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>22</sup>  
徐福は実在するか——異界からの漂着と熊野  
榎嶺レイ

●現代科学の見方・読み方<sup>92</sup>  
グリーン・イノベーションという試み  
池内 了

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」日本のポスターの独自性  
柏木 博

●写真<sup>14</sup> ひたすら増殖し続ける視線のアーカイブ  
谷口 雅

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>14</sup>）東京・大田区  
児玉房子

●七月号 通巻二八八号◎特集Ⅱ記憶をたどる  
\*表紙「1953年正月、兵庫県尼崎市元浜町2の89の引揚げ者の寮にて、私を抱く母と、母を抱く私」  
笠木絵津子

●お化けがでた!<sup>44</sup>  
待ち人  
松山 巖

●都市の造景Ⅱ（1980-2009）——Metropolitan EXP way・C2  
倉田精二

●幸運の町  
夏木 洋

●夏の記憶——パリ／2011  
北上川有情  
佐藤修造

●先生のアトリエ  
潮田登久子  
橋本照嵩

●和技を旅する<sup>30</sup>  
人間サイズの度量衡  
桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>68</sup>  
生きた人びとの声なき声を汲み上げる——安部龍太郎『維新の肖像』をめぐって  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>18</sup>  
古さを大事にする転用の風景——パリ・セーヌ右岸のメトロ2号線高架下篇  
大竹 誠

●地球に住む<sup>44</sup>  
夢のテント暮らしを求めて——モンゴル  
小松義夫

●那智の火祭り「扇祭り」——水と太陽と農耕の神仏習合の祭り  
榎嶺レイ

●現代科学の見方・読み方<sup>93</sup>  
過去に目を閉ざす者は  
池内 了

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」ものゝ記憶・イマジユの日記  
柏木 博

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>15</sup>）史跡戦災建造物（東京・東大和市  
南公園）  
中村 裕

●九月号 通巻二八九号◎特集Ⅱ非文化文字の魅力  
\*表紙「WILDER MANN」  
スズキコージ

●お化けがでた!<sup>45</sup>  
逃げ水  
松山 巖

●対談・知の交差点<sup>138</sup>  
文様と装飾の世界——かたちの始原を訪ねて  
鶴岡真弓×松山 巖

●絵を組み合わせて文字に読ませる  
話し言葉で知る名工や工匠たちの技  
又重勝彦

●東京チンドン日記  
高田洋介

●インタビュー  
非文化文化とは何か  
橋川俊忠

●グラフィア  
サハリン  
新田 樹

●和技を旅する<sup>31</sup>  
さすらい人の芸能  
桐山桂一

●時代小説の中の現代<sup>69</sup>  
時代小説作家の「戦争」——山本周五郎と藤沢周平  
高橋敏夫

●ガード下スピークス<sup>19</sup>  
オール・ヌーヴォーのなごりをとどめる街——パリ・セーヌ左岸のメトロ  
大竹 誠

●6号線高架下篇  
地球に住む<sup>45</sup>  
長い独立闘争の歴史がしのばれる——インド・ナガランド  
小松義夫

●誰も知らない熊野<sup>24</sup>  
敵畑——日本の暮らしの過去と未来  
榎嶺レイ

●現代科学の見方・読み方<sup>94</sup>  
歌から言語が始まった  
池内 了

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」視覚の楽しみ・驚異のインテリア  
柏木 博

●表四（シリーズ・東京クルージング<sup>16</sup>）東京・代々木公園  
中川道夫  
児玉房子

# 【電子マガジンに変更】

十二月号 通巻三九〇号◎特集Ⅱ本のゆくえ

\*表紙「サトシヤマモト(熟読)」

出版文化の未来

●インタビュ

これからの「雑誌」の役割を考える

●グラビア

本の景色

「紙の本」の必要は、これからもさらに続く

電子ブックとのつき合い方

つなげる図書館

●グラビア

キューバ

●グラフィケーション・アベニュー

デハラユキノリ

赤木昭夫

仲俣暁生

潮田登久子

黒川 創

桂川 潤

鎌倉幸子

石川 梵

石川 梵

石川 梵

〔デザイン〕窓はスクリーン、イメージのフレーム

〔ストリート〕逗子と葉山 写真の光と影

〔ツーリズム〕知らないことから来る恐怖

●グラフィケーション・アークカイブ

一九七〇年代の光と影……雑誌が元気だった頃

●ビジネス・クロスオーバー

やわらかい合理性

〈メデイカル・エッジ〉——医療の常識が変わる①〉

がんは早期発見すべきではない

〈富士ゼロックスプラザ〉

京都 醍醐寺の重要文化財「醍醐花見短冊」を精密に複製——高精度な複製により貴重な歴史文書の一般公開が可能に

●余録①

古書会館(東京・神田小川町)

柏木 博

中川道夫

井出 明

海野 弘

荻野弘之

市川 衛

# 2016

二月号 通巻三九一号◎特集Ⅱ「語り」を考える

\*表紙「浪曲師」

語りの構造

●インタビュ

新たな関東節を目指して——私の浪曲修業

●グラビア

説経節の魅力

●グラビア

地芝居の町

落語を楽しむ空間は

傾いた電信柱と一緒に立ち尽くして

ストリートカルチュアとしてのラップの変遷史

●グラビア

Exodus for life イラク・シリアの難民たち

●グラフィケーション・アベニュー

〔建築〕現代の若手建築家が設計した教会とチャペル

〔写真〕新しい少数派

〔言語生活〕論争を避ける俳句の世界

●グラフィケーション・アークカイブ

一九七〇年代「グラフィケーション」の記憶

●ビジネス・クロスオーバー

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

〈メデイカル・エッジ〉——医療の常識が変わる②〉

ささめやゆき

渡辺 保

玉川奈々福

中西和久

鬼玉房子

川添 裕

和合亮一

磯部 涼

村田信一

五十嵐太郎

谷口 雅

中村 裕

室 謙二

小林美希

小林美希

小林美希

小林美希

小林美希

小林美希

小林美希

小林美希

四月号 通巻三九二号◎特集Ⅱ動物とのつきあい方

\*表紙「オオカミとライオン」

動物と出会うための山小屋暮らし

●インタビュ

動物園の役割と未来

●グラビア

サバンナ報告

アナグマを捕獲した

オオカミ信仰と人の暮らし

人間のまいた種、カナダガンの野生化にストップをかける

動物セラピーのいま

●グラビア

Come to Life Again 都市の隙間

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕子ねずみの心配ができる余裕

年をとっても記憶力は衰えない!?

〈富士ゼロックスプラザ〉

「世界文化遺産」や「小倉百人一首」ゆかりの地で観光音声ガイド——地域の魅力を伝える取り組みに貢献

●余録②

東京・上野公園

市川 衛

「ストリート」「和」ブームのなかの浅草  
「ツーリズム」殉教の悲しみをめぐる旅  
グラフィケーション・アーカイブ  
七〇年代の記憶

●ビジネス・クロスオーバー  
ビジネス社会と敬語

〈メデイカル・エッジ〉——医療の常識が変わる③  
認知症は、良くなります！

〈富士ゼロックスプラザ〉

【企画展】富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館「複製技術と美術家たち」——ピカソからウォーホルまで

●余録③  
到津の森公園（北九州・小倉）

## 六月号 通巻三九一号◎特集Ⅱテクノロジーと人間

＊表紙「ロボットと人間」

●インタビュ  
AIの未来から見た現在  
成長戦略を支える科学・技術の実力不足

●グラフィア  
鉄は生きている  
ロボットの未来

生物に学ぶ新技術  
お客が職人を育て、職人がお客を育てる

●グラフィア  
その先の世界へ

●グラフィケーション・アベニュー  
「建築」北京で建築と音楽を考える

「写真」セルフイーを読む

「言語生活」文章は書かれた姿で呼吸している

●グラフィケーション・アーカイブ  
「花の文化史」と七〇年代の記憶

●ビジネス・クロスオーバー  
ぼんやりの時間  
〈メデイカル・エッジ〉——医療の常識が変わる④

腰痛は、怖くない！

〈富士ゼロックスプラザ〉  
「コピー・アート」という前衛芸術分野のひとつを創出——ゼログラフィ  
ー技術・普通の紙に「物」を直接的に転写できる驚き

●余録④  
うみかぜ公園（神奈川・横須賀）

中川道夫

井出 明

井上史雄

市川 衛

市川 衛

児玉房子

山崎杉夫

一杉裕志

吉岡 斉

藤塚光政

瀬名秀明

赤池 学

小林政明

長倉洋海

五十嵐太郎

谷口 雅

中村 裕

山田宗睦

辰濃和男

市川 衛

児玉房子

## 八月号 通巻三九二号◎特集Ⅱ食卓の風景

＊表紙「テレビの入った頃」  
食事とコミュニケーション

●インタビュ  
食文化の行方を考える

●グラフィア  
共食の喜び——幸せになる食卓

日本映画の食事の場面

学校給食の功罪  
スローな食卓——食文化の多様性を、私たちは守れるのか

●グラフィア  
ベラルーシ、いのちの大地

●グラフィケーション・アベニュー  
「デザイン」俳句を思わせる一つのジャンルとなったポスター

「ストリート」シリア、破壊された遺跡パルミラの記憶

●グラフィケーション・アーカイブ  
「ガロ」が迎えた一九七〇年代

●ビジネス・クロスオーバー  
働く人と、消費する人  
〈メデイカル・エッジ〉——医療の常識が変わる⑤

脳の回復を加速させる「魔法の言葉」とは

〈富士ゼロックスプラザ〉  
「エレクトロ・フォトグラフィ」(電子写真)——技術誕生の周辺——「楽をした」は革新を生む源泉

●余録⑤  
三浦食彩ネットワーク主催の料理教室で（神奈川・三浦）

峰岸 達

藤原智美

阿古真理

大村次郷

佐藤忠男

竹下和男

島村菜津

本橋成一

柏木 博

中川道夫

井出 明

上野昂志

筒井淳也

市川 衛

児玉房子

古川タク

佐藤勝彦

金子 務

普後 均

池内 了

秋 竜山

保坂和志

新井 卓

五十嵐太郎

# 2017

〔写真〕リュミエール兄弟の映画を追いかけて

〔言語生活〕「身振り語」と「ことだま」

●グラフィケーション・アーカイブ

七〇年代の記憶と教育現場

●ビジネス・クロスオーバー

「成熟した社会」における消費と労働

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑥〉

「ノン・コレステロール」に意味はなかった？

〈富士ゼロックスプラザ〉

「ワークステーション事業」の周辺——ゼロックスは「リンゴ」を取り落としたのか

●余録⑥

国立科学博物館（東京・上野）

児玉房子

## 十二月号 通巻三九四号◎特集Ⅱ海賊・自由・ユートピア

\*表紙「THE KAIZOKU FOR PEOPLE」（ぼくらの海賊）

純友と将門と

●インタビュ

海賊史観から世界を見る

ポップカルチャーとしての〈海賊〉

●グラフィビ

谷口 雅

中村 裕

名取弘文

筒井淳也

市川 衛

児玉房子

小沢信男

スズキコージ

稲賀繁美

海野 弘

フィレンツェ——凝視とその微笑み

だから愉しもう！——大学はいかにして生まれるのか

シェアリング・エコノミー時代の創作活動

●グラフィビ

PRAHA カフカとの対話

●グラフィケーション・アベニュー

「デザイン」格差とデザイン——フィリピンのデザインを見る

「ストリート」映画の台湾を歩く

「ツーリズム」モルディブの多様な楽しみ方

●グラフィケーション・アーカイブ

雑誌の時代をふりかえる

●ビジネス・クロスオーバー

英語の学び方——ひとり言の効用

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑦〉

「かぜを治す薬をください」と頼んではいけない

〈富士ゼロックスプラザ〉

「人間中心」というメッセージ——ゼロックス創業者J・C・ウィルソンの遺産

●余録⑦

横浜

杉田 徹

白石嘉治

稲蔭正彦

小瀧達郎

柏木 博

中川道夫

井出 明

津野海太郎

吉田研作

市川 衛

## 二月号 通巻三九五号◎特集Ⅱ科学と芸術の間

\*表紙「玉川」

科学と芸術の対話

●インタビュ

小説家とコンピューター

●グラフィビ

自作品、写真、レンズ

芸術と政治のあいだ——平井有太「ビオクラシー」展をめぐる

『自然の鉛筆』再読——最初の写真探検者トルボットは、写真になんを見たか

五感のその先にある知覚の心理学——感覚に埋め込まれた情報もたらず、

世界の豊かな知覚

●グラフィビ

LIM

●グラフィケーション・アベニュー

「建築」会場デザインという仕事

五十嵐太郎

草薨 裕

池内 了

奥泉 光

野村 仁

榎木野衣

大日方欣一

三嶋博之

松江泰治

五十嵐太郎

〔写真〕二〇一六年の写真の記憶

〔言語生活〕ことばに対する畏敬の念

●グラフィケーション・アーカイブ

七〇年代美術の動向を振り返る

●ビジネス・クロスオーバー

真に豊かな職場——気持ちでつながる関係をつくるために

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑧〉

「医療費増加は高齢化のせい」は、誤解だった？

〈富士ゼロックスプラザ〉

日露の歴史的絵巻物の複製をプーチン大統領に贈呈——文化財の精巧な複製

●余録⑧

「バラックアウト」展で（東京・江東区）

●余録⑧

## 四月号 通巻三九六号◎特集Ⅱ多様性を生きる

\*表紙「人さまたま」

●インタビュ

谷口 雅

中村 裕

藤枝晃雄

柴田昌治

市川 衛

児玉房子

横尾智子

● グラビア  
はじめりをはじめること——多様性を生きる

● グラビア

世界の市場を歩く

ありのままを生きるとは

今、新大久保がおもしろい！

統合と拡散——多様性の歴史とその変遷

● グラビア

におのうみ

● グラフィックेशन・アベニュー

〔デザイン〕花森安治のスカートの謎

〔ストリート〕軍港ヨコスカ、光と陰のいま

〔ツーリズム〕オーストラリア観光の現在

● グラフィックेशन・アーカイブ

ドナルド・トランプの七〇年代

● ビジネス・クロスオーバー

女性リーダーが台頭するには

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑨〉

人工知能で、医療はどう変わるのか？

〈富士ゼロックスプラザ〉

高橋敏夫×武内涼トークショウ2017——だから時代小説はおもしろい

● 余録⑨

タイの食材が並ぶマーケットで（東京・新大久保）

今福龍太

小松義夫

安富 歩

善元幸夫

稲葉振一郎

長野ヒデ子

檜橋朝子

柏木 博

中川道夫

井出 明

粉川哲夫

大沢真知子

市川 衛

児玉房子

北見 隆

鈴木一誌

港 千尋

杉山光信

後藤康志

磯部 涼

飯田 鉄

五十嵐太郎

谷口 雅

光田ゆり

金井壽宏

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑩〉  
変わる「食物アレルギー」の常識

● 余録⑩

東京・永田町

市川 衛

児玉房子

荒井良二

河野哲也

藤原智美

平田俊子

しまおまほ

彦坂尚嘉

原美樹子

柏木 博

中川道夫

井出 明

光田ゆり

太田 肇

市川 衛

健康診断は意味がない？——医療の「効果」を確かめる難しさ

● 余録⑪

川崎市子ども夢パーク〈交流スペースごろり〉で（川崎市高津区）

児玉房子

組織と個人ともに再生させる新しい働き方——仕事の分化

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑪〉

健康診断は意味がない？——医療の「効果」を確かめる難しさ

● 余録⑪

川崎市子ども夢パーク〈交流スペースごろり〉で（川崎市高津区）

磯 良一

坂崎重盛

大石 始

畑中章宏

鈴木謙介

栗原 康

糸川耀史

大阪芸人ストーリー

● グラフィックेशन・アベニュー

〔建築〕巨大な模型の展覧会

五十嵐太郎

## 六月号 通巻三九七号 ● 特集Ⅱ 編集の力

＊表紙「航海日誌」

編集がはじまる場所

● インタビュー

新しい時代と、新しい編集をめぐって

社会学と「編集」について

メデイア・リテラシー育成の可能性と課題

“POP” AND “DANCE”——マルチネ・レコーズの編集力

● グラビア

草のオルガン

● グラフィックेशन・アベニュー

〔建築〕バルセロナの万博とオリンピックのレガシー

〔写真〕スナップショットを再確認する

● グラフィックेशन・アーカイブ

写真のユートピア——「グラフィックेशन」の一九七〇年代

● ビジネス・クロスオーバー

自分のリーダーシップ持論でフォロワーを動かす

## 八月号 通巻三九八号 ● 特集Ⅱ 子どもたちの世界

＊表紙「夏の子どもたち」

子どもは哲学している

● インタビュー

一人になる場所——子供部屋の理想と現実

子どもたちの詩

けいすけくんの「す」

子供の絵は芸術

● グラビア

ビニール・プール

● グラフィックेशन・アベニュー

〔デザイン〕クラフト・デザインの人気

〔ストリート〕那覇の真珠道をたどる

〔ツーリズム〕旅に遊び、旅に学ぶ

● グラフィックेशन・アーカイブ

石子順造と赤瀬川原平 前衛美術と印刷文化の接点に——「グラフィックेशन」の一九七〇年代

● ビジネス・クロスオーバー

組織と個人ともに再生させる新しい働き方——仕事の分化

〈メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑪〉

健康診断は意味がない？——医療の「効果」を確かめる難しさ

● 余録⑪

川崎市子ども夢パーク〈交流スペースごろり〉で（川崎市高津区）

児玉房子

磯 良一

坂崎重盛

大石 始

畑中章宏

鈴木謙介

栗原 康

糸川耀史

大阪芸人ストーリー

● グラフィックेशन・アベニュー

〔建築〕巨大な模型の展覧会

五十嵐太郎

# 2018

- 「写真」変化しつづける写真のことば
- グラフィケーション・アーカイブ
- 街や人のエネルギーにカメラを向けて
- ビジネス・クロスオーバー
- 自分の仕事を「生業（ナリワイ）」と呼んでみる
- 〈メディアカル・エッジ〉——医療の常識が変わる⑫
- 認知症の3分の1は防げる!?
- 余録⑫
- うごく七夕まつり（岩手・陸前高田）

## 十二月号 通巻四〇〇号◎特集Ⅱ都市の貌——東京は何処へ

- 表紙「City-Town」
- 東京が変わる
- インタビュー
- 持続可能な都市へ
- 真夜中の散歩へ

谷口 雅  
渡辺 眸  
伊藤洋志  
市川 衛  
児玉房子  
影山 徹  
なぎら健彦  
中島直人  
粉川哲夫

- 同潤会アパートのブランド力
- 都市のなかで道に迷うために
- グラフィア
- 日々の営み——中国を旅して
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」住宅の外観は植栽がポイントなのだ
- 「ストリート」香港、二十年後のいまは
- 「ツーリズム」都市の光と影を愉しむ
- グラフィケーション・アーカイブ
- 七〇年代と長新太と「グラフィケーション」と私と
- ビジネス・クロスオーバー
- 不便の効用
- 〈メディアカル・エッジ〉——医療の常識が変わる⑬
- 眠ると脳がよみがえる?——睡眠と脳の不思議な関係
- 余録⑬
- 東京・台東区谷中

大月敏雄  
高山 明  
稲宮康人  
柏木 博  
中川道夫  
井出 明  
土井章史  
川上浩司  
市川 衛  
児玉房子

## 二月号 通巻四〇一号◎特集Ⅱ他者を知る

- 表紙「ちゃんと見るちゃんと想う」
- 他者をめぐるアート・文学
- インタビュー
- 「空気」と「世間」
- 「ことば」から見た他者との対話
- 結婚は究極の異文化体験
- 翻訳革命がはじまった
- グラフィア
- バオバブ広がる神秘の島——ボツワナ・クブ島
- グラフィケーション・アベニュー
- 「建築」インテリア・デザインとしての展示空間
- 「写真」写真を読む
- グラフィケーション・アーカイブ
- PR誌の時代と雑誌の近未来
- ビジネス・クロスオーバー
- ユートピアは思考と経験の発酵から
- 〈メディアカル・エッジ〉——医療の常識が変わる⑭
- 風邪のうわさのウソホント——ビタミンC・うがい効果はあるの?
- 余録⑭

土橋とし子  
布施英利  
伊藤陽一  
庵 功雄  
鈴木裕之  
津野海太郎  
堀内 孝  
五十嵐太郎  
谷口 雅  
ばるばら  
黒崎輝男  
市川 衛

## 四月号 通巻四〇二号◎特集Ⅱ身体はどこへ向かうのか

- 表紙「舞う/手業」
- 人と機械の未来
- インタビュー
- 触覚から身体を読み解く
- 集合的身体による思考
- 手仕事と身体
- 生きていくアート、からだ
- グラフィア
- The Fourth Wall / 第四の壁
- グラフィケーション・アベニュー
- 「デザイン」まずはデザインのアークाइブズを
- 「ストリート」低山トレイルで古都鎌倉を眺める
- 「ツーリズム」情報化社会における旅と身体性
- グラフィケーション・アーカイブ
- 七〇年代の演劇状況
- ビジネス・クロスオーバー
- 若者は、なぜ定着しないのか
- 〈メディアカル・エッジ〉——医療の常識が変わる⑮

鷲神社（東京・千束）  
児玉房子  
やまもとちかひと  
佐倉 統  
仲谷正史  
安田 登  
塩野米松  
片山真理  
竹之内祐幸  
柏木 博  
中川道夫  
井出 明  
萩原朔美  
福島創太

血糖値「下げれば下げるほど良い」は誤解？  
余録⑮  
東京・原宿

市川 衛  
児玉房子

### 六月号 通巻四〇二号◎特集Ⅱそれぞれの居場所

＊表紙「はるかな旅」「落下」

そして、旅に出る

アジアで見つけた心のよりどころ

物語に自分を重ねて

絵はがき

その船にのって——島暮らしの愉しみ

私の居場所

●グラフィケーション・アベニュー

〔建築〕インテリアとしてのアート

〔写真〕撮影者の存在の変化

●グラフィケーション・アーカイブ

対抗文化のなかの「ほんやら洞」

●ビジネス・クロスオーバー

雑貨をめぐる小宇宙

＜メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑮＞

アルコールと脳の不思議な関係——お酒を飲むと記憶力が上がる？

●余録⑯

岩手・盛岡

市川 衛  
松井 剛  
甲斐扶佐義  
谷口 雅  
五十嵐太郎  
玉袋筋太郎  
平野公子  
石田 千  
清水眞砂子  
池内 紀  
岡上淑子

### 八月号 通巻四〇四号◎特集Ⅱ逃避の哲学——第三の道を探る

＊表紙「旅立ち／逃避」

社会からひきこもり、思考する——ハンナ・アレントが示唆したもの

●インタビュー

人はどこまで自由になれるのか

誰が家事を担うのか？

「自由なインターネット」から遠く離れて

快楽主義のススメ

●グラフィ

NAGA

●グラフィケーション・アベニュー

〔デザイン〕フリーダ・カロのコレットのデザイン

〔ストリート〕シナイ山、もういちど歩きたい場所

〔ツアーリズム〕デジタル社会とこれからの旅

●グラフィケーション・アーカイブ

一九七〇年代は、なぜ少女マンガの黄金期といわれるのか

●ビジネス・クロスオーバー

ヤマダトモコ

ビジネスにおける「美意識」の重要性  
＜メデイカル・エッジ——医療の常識が変わる⑮＞  
最新研究で判明！健康で幸せに生きるために「欠かせない」ものとは  
山口 周  
市川 衛  
児玉房子

●余録⑰  
東京・日比谷

### 十二月号 通巻四〇五号（終刊特別号）

◎交差する知と文化——「グラフィケーション」とその時代

＊表紙《触・体・191》（一九九二年）

●対談

現代は七〇年代から始まった

都市の誘惑

●グラフィ

水の断想——about the river of LIFE

銀の水の流れ——鈴木清の写真の魅力／写真の力

●コラム・私と「グラフィケーション」

暮らしの原点に視座を置いて

科学の過去・現在・未来

ポスト高度成長の時代

深夜の電話とは別に

●コラム・私と「グラフィケーション」

人間が好きだったから——職人仕事も雑誌づくりも

石碑に刻まれた希望のことば——「東北を歩く」最終章

●グラフィ

東京巡歩——2018年・秋

●対談

知と文化が交わるところ

●コラム・私と「グラフィケーション」

田中さん、ありがとう

「グラフィケーション」総目次1969-2018

【「グラフィケーション」別冊】

「複製時代の思想」（一九七一年四月）

＜表紙＞「ゼロックス・アート」

複製技術のあゆみ——言語系と物質系のはざまに

人間と複製

大衆文化とコピー

複製芸術とは何か

図版年表（複製技術の歴史的展開）

複製技術史年表（監修・吉田光邦）

海野 弘×黒川 創  
中川道夫  
鈴木 清  
伊藤俊治  
里見 実  
村上陽一郎  
中村達也  
粉川哲夫  
小関智弘  
結城登美雄  
児玉房子  
松山 巖×柏木 博  
下谷二助  
高松次郎  
吉田光邦  
安永寿延  
山本 明  
多田道太郎

「続・複製時代の思想」（一九七三年十一月）

〈表紙〉

政治と芸術における複製

複製時代の都市像

劇画よ、おまえもか——風化の中の大衆文化

木村恒久

津村 喬

多木浩二

上野昂志

現代色彩論——感覚のコピー序説

複製としての性

コピーの辺境——紙幣と郵便切手

大衆社会の神話

●座談会

複製文化と近代の終焉

鈴木 均

森 秀人

山本 明

木村恒久

北沢方邦×鎮目恭夫×針生一郎

発行：富士ゼロックス株式会社

制作：有限会社ル・マルス